

XA70 XA75

4Kビデオカメラ

Firmware ver. 1.0.1.0

はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生／編集

接続

保存

メニュー

その他

本機の特長

高画質4K記録システム

829万画素1.0型CMOSセンサーと 映像エンジン「DIGIC DV 6」を搭載

有効画素数約829万画素（3840 x 2160）の1.0型単板式CMOSイメージセンサーと映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 6」を搭載。防振機能や低照度での画質に優れ、さまざまな撮影ニーズに応えます。

XF-AVCとMP4のマルチフォーマットに対応

MPEG-4 AVC/H.264コーデックを、業界標準であるMXF (Material eXchange Format) フォーマットで記録するXF-AVC形式と、MP4フォーマットで記録するMP4形式に対応。ワークフローに応じて使い分けることができます。

高画質ワイドズームレンズ

コンパクト光学15倍ズームレンズを搭載。35mm換算でワイド25.5mm* からと多様な撮影シーンに応えます。

* 手ブレ補正が「ダイナミック」以外のとき。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ

業務用ハンドヘルドカメラとして、高性能を小型、軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。

ハンドルによるオーディオ仕様の拡張性

撮影シーンに合わせてスタイルが選べる着脱式ハンドルユニットを装着可能。装着することで、INPUT端子（マイクのバランス入力）やマイクホルダーなど、オーディオ仕様も拡張できます。

作品づくりに集中できる優れたマニュアル操作性フォーカスとズームを切り換えできるフォーカス／ズームリングを搭載。よく使う機能を割り当てることができるカスタムボタンとカスタムキー、カメラ本体に5個のアサインボタンと、画面のタッチ操作で行うタッチアサインボタンを搭載することで、操作性を向上させました。

夜間での撮影に威力を発揮する赤外撮影機能

スイッチの切り換えで素早い赤外撮影が可能。さらに、ハンドルユニットを取り付けることで、夜間の動物の生態撮影などに効果的な赤外ライトを使って撮影できます。

長時間撮影と安心バックアップ機能

MP4形式またはXF-AVC形式の4K動画をSDカードに記録可能。2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（同時記録）することができます。

液晶モニターとビューファインダー

静電容量方式タッチパネルの液晶モニターを搭載。クリアな画面表示と軽快な操作感覚を実現しています。また、ビューファインダーは、上方約45°までの角度調整ができますので、ローアングル時の操作性を向上させています。

タイムコード生成と重畳出力（□□ 86）

内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、SDI OUT端子（**X475**）／HDMI OUT端子に出力できます。また、出力信号にユーザービットを重畳することもできます。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な記録機能 (㊦ 52、102)
スロー & ファストモーション記録では、記録速度を変更することにより、最低0.4倍速のスローモーション撮影や最大1200倍速のファストモーション撮影*ができます。

ブレ記録では撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。

* 「解像度」と「フレームレート」の設定によります。

映像表現にあわせて、多彩な画づくりを実現する ルック設定 (㊦ 85)

設定するルックによって、シャープネス、コントラスト、色の濃さなどを調整して画質調整が可能です。「ニュートラル」では、業務機用の映像表現で自然な解像感に最適化した画質設定で、「Wide DR」では、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現で撮影できます。

高度に画質を調整するカスタムピクチャー (㊦ 114)

ガンマ、色空間、カラーマトリクスをプリセットから選ぶか任意に設定した後、詳細な画質調整ができます。ポストプロダクション処理を前提として、ダイナミックレンジを広くとるCanon Log 3ガンマを搭載。用途に応じて選択できます。

進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFによるAF機能 (㊦ 53)
常に自動調整するコンティニュアスAFと、手動で大きめに調整すると合焦付近は自動調整する「AFブーストMF」を搭載。不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。AF枠のサイズ・位置やAF速度／応答性の調整もできます。

また、横顔に近い状態でも、検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF機能*を搭載。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

デュアルピクセルフォーカスガイドを搭載 (㊦ 56)

デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認可能。4K撮影時の目視によるフォーカス調整を強力にアシストします。

汎用ワークフローに対応する ソフトウェア

XF-AVC動画は、XF Utilityで再生・管理可能。また、XF Pluginを使用すれば、ノンリニア編集システム*への取り込みも簡単です。また、リレー記録などにより分割して記録されたMP4動画は、ソフトウェアMP4 Join Toolを使って結合することができます。

* 取り込み可能なソフトウェアについては150ページをご覧ください。

使いやすさを向上させる さまざまな機能

- 残量の目安を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- GPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続すると、映像にGPS情報を付加することができます。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) に対応。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定は、SDカードに保存／読み出しでき、複数のXA70 / XA75と設定を共有可能 (㊦ 124)。
- UVCに対応。USBケーブルでパソコンに接続することで、Webカメラとして使用できます (㊦ 105)。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	7

はじめに

商品を確認する	10
各部の名称	11
本体の名称	11
ハンドルユニットの名称	16

準 備

電源を準備する	20
バッテリーを充電する	20
バッテリーを取り外す	21
バッテリーの残量を確認する	21
コンセントにつないで使う	22
カメラを準備する	23
ハンドルユニットを取り付ける	23
レンズフードを取り付ける	24
液晶モニターを使う	25
ビューファインダーを使う	26
グリップベルトを調節する	27
ストラップを取り付ける	27
カメラを操作する	28
電源を入れる／切る	28
カメラモードを切り換える	29
日付／時刻を合わせる	30
メニュー／FUNCメニューで設定を変える	31
メニューで設定を変える	31
FUNCメニューで設定を変える	33

カードを準備する	35
使用可能なSDカード	35
カードを入れる／出す	36
カードを初期化する	37
記録先を選ぶ	37
カードスロット記録方式を選ぶ (同時記録／リレー記録)	38
クリップを修復する	38

撮 影

動画や静止画を撮影する	42
撮影する	42
いま撮ったクリップを確認する (レックレビュー)	44
XF-AVC動画のクリップファイル名を設定する	45
画面の見かた	47
Canon Log 3使用時の映像を画面で確認する (ビューアシスト)	49
映像の信号形式を選ぶ	50
スロー & ファストモーション記録を行う	52
フォーカスを調整する	53
MF (マニュアルフォーカス) で調整する	53
AF ブースト MF で調整する	59
コンティニュアス AF で調整する	60
AF 枠の位置／サイズを変更する	60
顔を検出してフォーカスを合わせる (フェイスキャッチ&追尾)	62
フェイスオンリー AF	64
ズームを操作する	65
フォーカス／ズームリングで操作する	65
グリップズームで操作する	66
ハンドルズームで操作する	68
リモートコントローラー RC-V100 (別売) など で操作する	70
ズーム画面で操作する	70
デジタルテレコンを使う	71

手ブレ補正を使う	72
手ブレ補正を設定する	72
望遠撮影時の大きな手ブレを抑える (パワードIS)	72
ゲインリミットを設定する	73
撮影モードを選ぶ	74
選択可能な撮影モード	74
明るさを調整する	76
M (マニュアル露出) で調整する	76
オート (AE) で調整する	77
強制逆光補正	80
ゼブラパターンを表示する	81
NDフィルターを切り換える	82
色合いを調整する	83
好みの画質にする (ルック)	85
タイムコードを設定する	86
カウントアップ方式を選ぶ	86
ドロップ / ノンドロップフレームを切り換える	87
タイムコードや日付を映像上に表示して記録する	87
ユーザービットを設定する	88
任意の16進数を設定する	88
時刻または日付を設定する	88
音声を記録する	89
MP4動画の音声記録形式を選ぶ	90
記録音声と必要な設定	91
外部マイク / 外部ライン入力の本機に接続する	92
INPUT端子の音声を選択する	93
内蔵マイク / 外部マイク (MIC端子) を使う	94
録音レベルを調整する	94
外部マイク (INPUT端子) の入力感度を調整する	97
外部マイク (INPUT端子) のアッテネーターを使う	97
内蔵マイクの入力感度を選ぶ	97
内蔵マイクのアッテネーターを使う	98
内蔵マイクローカットを使う	98
外部マイクにアッテネーターを使う	98
MICローカットを使う	99

ヘッドホンを使う	100
ヘッドホンで音声を聞きながら撮影 / 再生する ...	100
再生中にヘッドホン音量を調整する	100
カラーバー / テストトーンを記録する	101
カラーバーを記録する	101
テストトーンを記録する	101
ブレ記録を行う	102
赤外線撮影 (INFRARED) を行う	103
RC-V100でリモート撮影する	104
Webカメラとして使用する	105
GPSレシーバー GP-E2を使う	106
GPSレシーバーを接続する	106
GPSを有効にする	106

カスタマイズ

よく使う機能を設定する	110
アサインボタンの機能を変更する	111
機能を変更する	112
アサインボタンを使う	113
カスタムピクチャーを使用する	114
カスタムピクチャーファイルを選ぶ	114
カスタムピクチャーファイルを編集する	115
カスタムピクチャーの現在の設定を表示する	117
カスタムピクチャーファイルを保存する	118
カスタムピクチャーの設定項目	119
設定データの保存と読み込み	124
設定データをカードに保存する	124
設定データをカードから読み込む	124

再生／編集

クリップや静止画を再生する	126
再生インデックス画面	126
クリップや静止画を再生する	127
再生時の画面表示	128
クリップの詳細情報を表示する	132
クリップを操作する	133
クリップや静止画を消去する	133
MP4クリップを切り取る	135
クリップや静止画をコピーする	136

接 続

出力信号形式	140
外部モニターを接続する	142
接続のしかた	142
XA75 SDI OUT端子を使用する	143
HDMI OUT端子を使用する	144
出力信号の走査方式を設定する	145
音声出力を選択する	146
○(ヘッドホン)端子やスピーカーの 出力チャンネルを選ぶ	146
HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ	147

撮影データの保存

クリップをパソコンに保存する	150
MP4クリップをパソコンに保存する	150
XF-AVCクリップをパソコンに保存する	151

メニュー

FUNCメニューの紹介	154
撮影時に使うFUNCメニュー	154
再生時に使うFUNCメニュー	155

メニューの紹介	156
📷 カメラ設定メニュー	156
▶ 再生設定メニュー	158
📁 記録設定メニュー	158
🎧 オーディオ設定メニュー	160
☑ 表示設定メニュー	161
🔧 システム設定メニュー	162

その他

トラブルシューティング	166
電源	166
撮影中	166
再生中	167
表示やランプ	167
画面や音	168
アクセサリー	169
他機	170
メッセージが出たら?	171
安全上のご注意	173
取り扱い上のご注意／日常のお手入れ	175
ビデオカメラ本体	175
バッテリー	176
カード	177
充電式内蔵電池	177
その他のご注意	177
ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）	178
アクセサリー紹介	179
主な仕様	181
XA70 / XA75	181
付属品	183
動画の記録可能時間の目安	183
バッテリーの充電時間の目安	184
バッテリーの使用時間の目安	184
索引	186

本書の読みかた

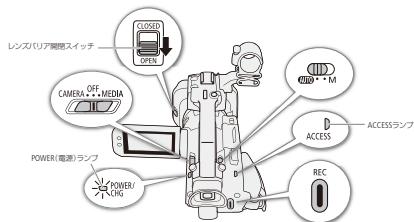
動画や静止画を撮影する

ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、89ページをご覧ください。

動画形式 MP4 XF-AVC カメラモード **VIDEO** M

■ 撮影する

ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できる**VIDEO**(オート)モードと、フォーカスや露出などの撮影設定を自分で設定して撮影できる**M**(マニュアル)モードがあり、用途に応じて切り換えることができます。



- 1 レンズ(リア)を開ける
① レンズ(リア)開閉スイッチを下げて、レンズ(リア)を開ける。
- 2 カメラモードを**VIDEO**または**M**にする (□ 29)
① POWER(電源)ランプが緑色に点灯。
- 3 電源スイッチを「CAMERA」にする
① POWER(電源)ランプが緑色に点灯。

42

電源スイッチの位置を示すマーク

CAMERA	MEDIA	CAMERAにする
CAMERA	MEDIA	MEDIAにする
CAMERA	MEDIA	CAMERAかMEDIAにする

動画形式やカメラモードを示すマーク

動画形式 **MP4 XF-AVC**

MP4形式とXF-AVC形式のどちらの動画に対応するか示すマーク。

カメラモード **AUTO** M

撮影時に選択するモード。

AUTO (オート)と**M** (マニュアル)がある。

コラムのマーク

ご注意 必ず守っていただきたいこと

MEMO 知っておいていただきたいこと

動画や静止画を撮影する

- 4 REC(記録開始/停止)ボタンを押す
● 撮影が始まり、画面に**REC**が表示される。ハンドルユニットを装着しているときは、タリールランプが点灯する。
● ハンドルユニットのRECボタンを押しても撮影開始できる。
● アサインタッチボタンに「REC」を割り当てて、撮影の開始/停止操作を行うこともできます。
- 5 撮影を停止するとき、もう一度REC(記録開始/停止)ボタンを押す
● 画面の**REC**が**STOP**に変わる。
● 1クリップの動画が記録され、撮影が停止する。
● ハンドルユニットのタリールランプは消灯する。
● 本書では、一部の撮影操作で記録された動画を「クリップ」と呼びます。また、XF-AVC形式のクリップを「XF-AVCクリップ」、MP4形式のクリップを「MP4クリップ」と呼びます。
- 6 レンズ(リア)を開けて、電源を切る
① レンズ(リア)開閉スイッチを上げて、レンズ(リア)を開ける。
② ACCESSランプが消えていることを確認する。
③ 電源スイッチをOFFにする。
④ 液晶モニターを画面に仕込んでから開ける。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

● 注意

● 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

撮影

43

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記



参考 ▶

画面

カード

カメラモード

メディアモード

参照ページを示す

参考になるページなどを示す

ビューファインダーの画面、または液晶モニターの画面のこと

SD/SDHC/SDXCメモリーカードのこと

動画撮影モードのこと

再生モードのこと

- 本書で使用しているイラストは、ハンドルユニットを取り付けた状態です。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

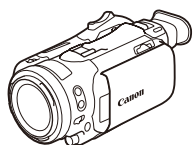


はじめに

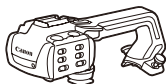
商品を確認する	10
各部の名称	11

商品を確認する

XA70 / XA75には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



ビデオカメラ本体



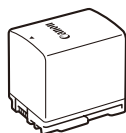
ハンドルユニット



マイクホルダー



USB電源アダプター
PD-E1



バッテリーパック
BP-820



ケーブルクランプ
(本体装着)



レンズキャップ



バリア付きレンズフード



クイックガイド

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

実際の撮影条件で事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(P.166)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影方法にご配慮ください

本製品の使用においては、プライバシー保護および肖像権等の権利侵害を防止する観点から、撮影方法に十分ご配慮ください。

ACCESS(アクセス)ランプについて

ACCESSランプ (P.14) が赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- カードカバーを開けない。
- カメラモード切り換えスイッチを切り換えない。
- メディアモードに切り換えない。
- 本体にUSBケーブルをつないでいるときは、USBケーブルを抜かない。

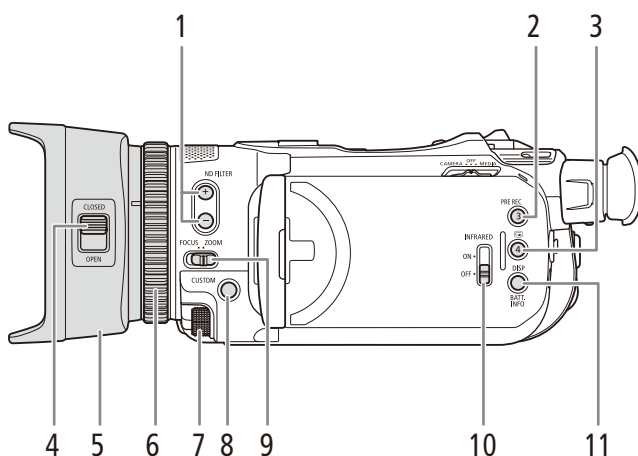
液晶モニターやビューファインダーの画面について

画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに常時点灯する画素や点灯しない画素が発生することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



1 **ND FILTER**(NDフィルター)切り換え+/-ボタン
▶▶ 82

2 **PRE REC**(プレREC)/アサイン3ボタン▶▶ 102、111

3 **LREC**(レックレビュー)/アサイン4ボタン▶▶ 44、111

4 レンズバリア開閉スイッチ▶▶ 42

5 レンズフード▶▶ 24

6 フォーカス/ズームリング▶▶ 53、65

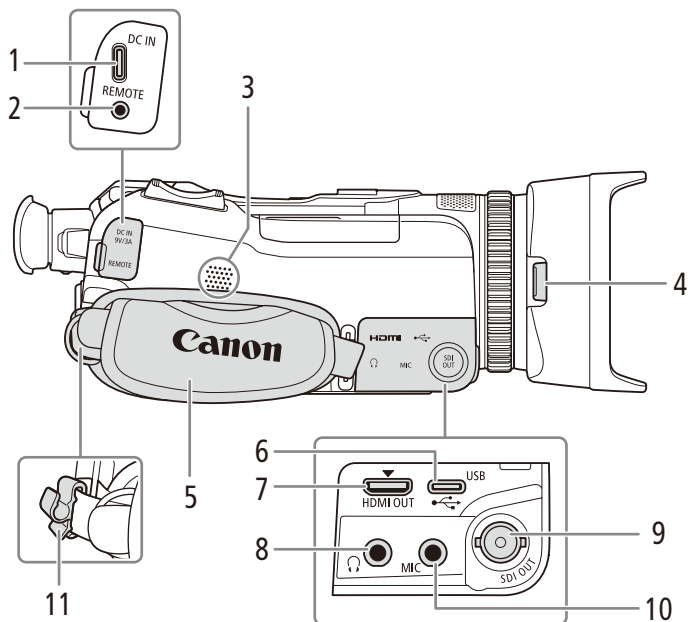
7 **CUSTOM**(カスタム)ダイヤル▶▶ 110

8 **CUSTOM**(カスタム)ボタン▶▶ 110

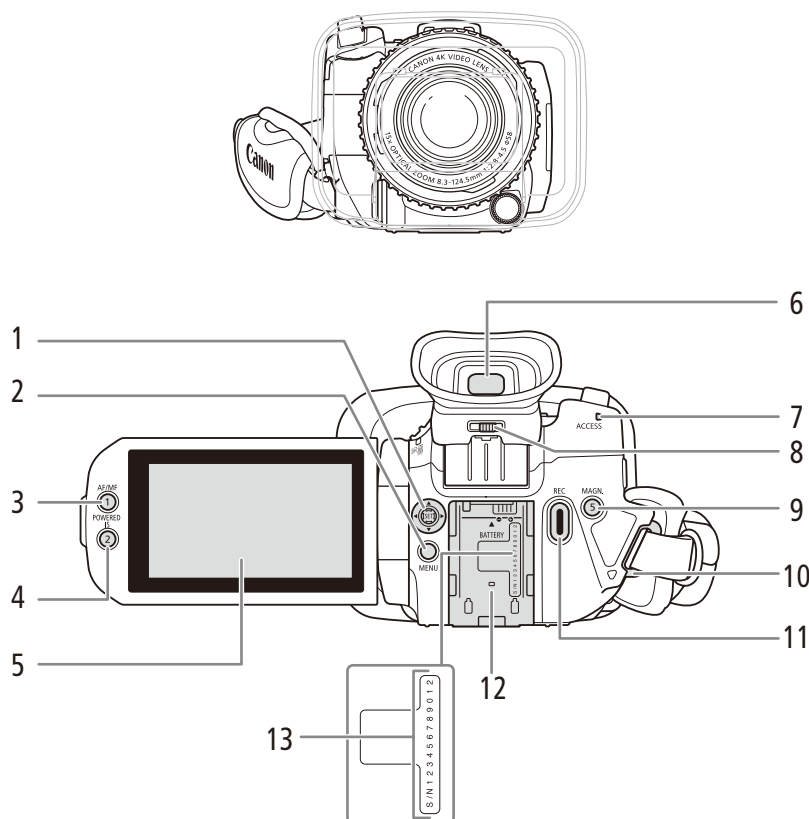
9 フォーカス/ズームリング切り換えスイッチ
▶▶ 53、65

10 **INFRARED**(赤外線撮影)切り換えスイッチ▶▶ 103

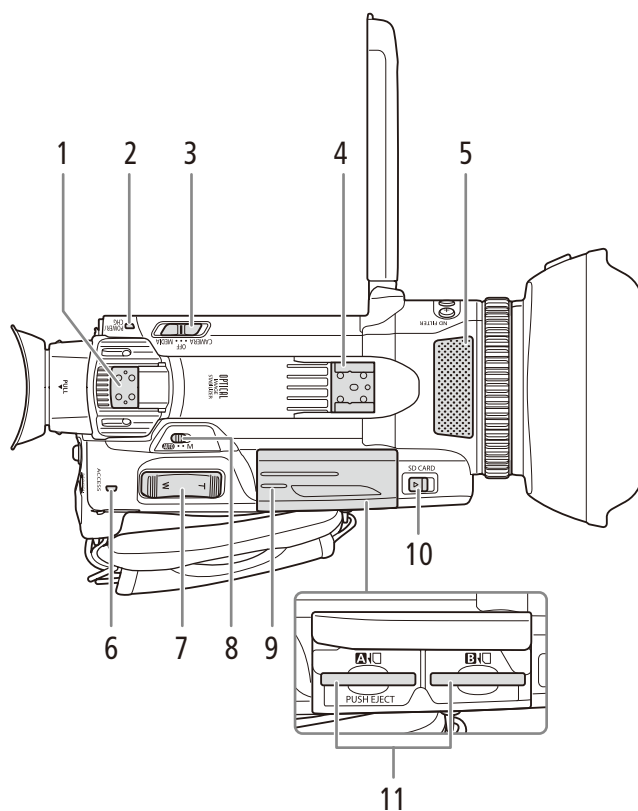
11 **DISP**(ディスプレイ) / **BATT. INFO**(バッテリー情報)ボタン▶▶ 49、21



- | | |
|--|------------------------------------|
| 1 DC IN端子 ▶▶ 20 | 6 USB端子 ▶▶ 106 |
| 2 REMOTE(リモート)端子 ▶▶ 104
● 別売/市販のリモコンを接続する | 7 HDMI OUT端子 ▶▶ 140、142 |
| 3 内蔵スピーカー ▶▶ 131 | 8 〇(ヘッドホン)端子 ▶▶ 100 |
| 4 レンズフード取り外しボタン ▶▶ 24 | 9 XA75 SDI OUT端子 ▶▶ 140、142 |
| 5 グリップベルト ▶▶ 27 | 10 MIC(マイク)端子 ▶▶ 89 |
| | 11 ケーブルクランプ ▶▶ 22 |

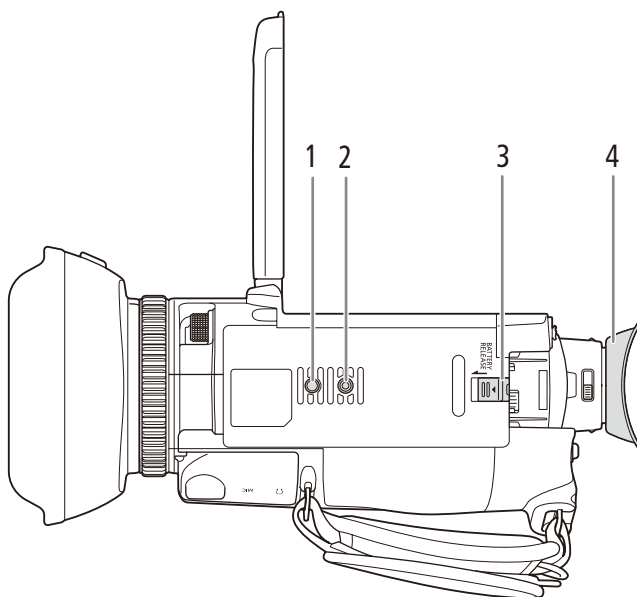


- | | |
|---|---|
| 1 ジョイスティック ▶▶ 31 | 8 視度調整レバー ▶▶ 26 |
| 2 MENU (メニュー)ボタン ▶▶ 31 | 9 MAGN. (拡大) /アサイン5ボタン ▶▶ 58、111 |
| 3 AF/MF 切り換え/アサイン1ボタン ▶▶ 53、111 | 10 ストラップ取り付け部 ▶▶ 27 |
| 4 POWERED IS (パワードIS) /アサイン2ボタン
▶▶ 72、111 | 11 REC (記録開始/停止)ボタン ▶▶ 42 |
| 5 液晶モニター (タッチパネル) ▶▶ 25 | 12 バッテリー装着部 ▶▶ 20 |
| 6 ビューファインダー ▶▶ 26 | 13 シリアル番号 (機番) |
| 7 ACCESS (アクセス)ランプ ▶▶ 36 | |



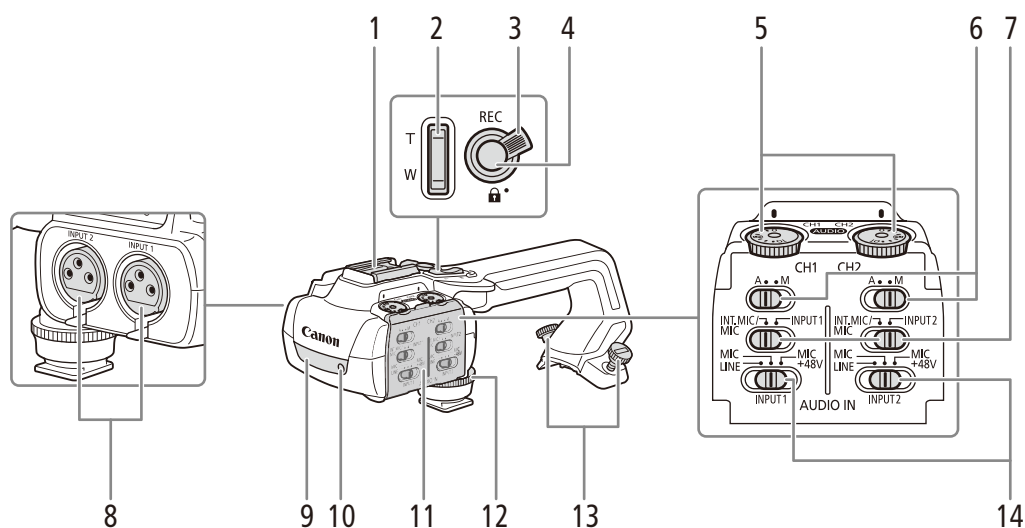
- 1 ハンドルユニット取り付け部 ▶▶ 23
- 2 **POWER**(電源)ランプ／**CHG**(充電)ランプ ▶▶ 20
- 3 電源スイッチ ▶▶ 28
- 4 コールドシュー／ハンドルユニット固定ネジ差し込み部* ▶▶ 23
* ハンドルユニットを取り付けるときに使用します。
- 5 内蔵マイク ▶▶ 89

- 6 **ACCESS**(アクセス)ランプ ▶▶ 36
- 7 グリップズーム ▶▶ 66
- 8 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ 29、42
- 9 カードスロットカバー ▶▶ 36
- 10 **SD CARD**(カードカバー開く)レバー ▶▶ 36
- 11 カードスロット **A** / **B** ▶▶ 36



- 1 三脚回転止め穴
- 2 三脚ねじ穴 ▶▶ 175
 - 取り付けネジの長さが6.3mm以下の三脚を取り付け可能。
- 3 **BATTERY RELEASE**(バッテリー取り外し)スイッチ ▶▶ 21
- 4 アイカップ ▶▶ 26

■ ハンドルユニットの名称



1 コールドシュー

● バッテリービデオライト (別売) などを取り付けます。

2 ハンドルズーム ▶▶ 68

3 ロックレバー ▶▶ 44

4 REC (記録開始/停止) ボタン ▶▶ 43

5 録音レベル調整つまみ (CH1/CH2) ▶▶ 89

6 録音レベル切り換えスイッチ (CH1/CH2) ▶▶ 89

7 AUDIO IN切り換えスイッチ (CH1/CH2) ▶▶ 89

8 INPUT 1/INPUT 2端子 ▶▶ 89

9 赤外ライト ▶▶ 103

10 タリールランプ ▶▶ 43

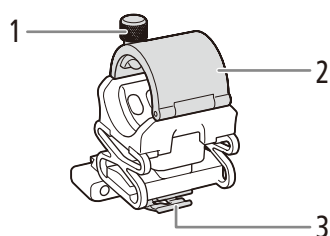
11 オーディオカバー ▶▶ 89

12 ハンドルユニット固定ネジ ▶▶ 23

13 ハンドルユニット取り付けネジ ▶▶ 23

14 INPUT 1/INPUT 2端子切り換えスイッチ ▶▶ 89

マイクホルダーの名称



- 1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 92
- 2 外部マイクホルダー ▶▶ 92
- 3 ケーブルクランプ ▶▶ 92

MEMO

準備

電源を準備する	20
カメラを準備する	23
カメラを操作する	28
日付／時刻を合わせる	30
メニュー／FUNCメニューで 設定を変える	31
カードを準備する	35

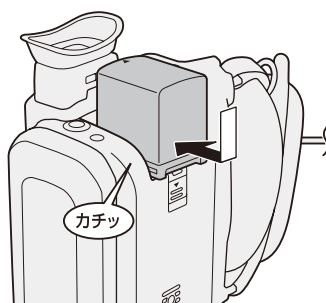
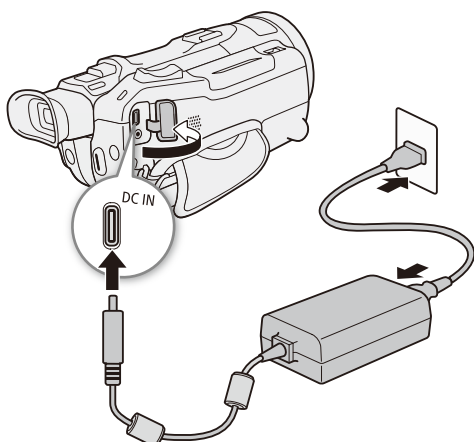
電源を準備する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、USB電源アダプター PD-E1(付属)、またはPD-E2(別売)をつないで使用できます。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

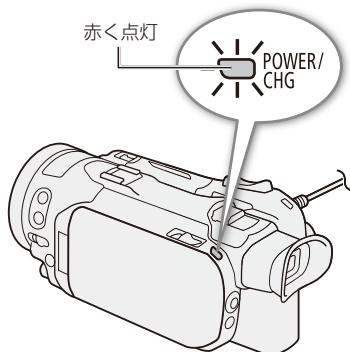
■ バッテリーを充電する

本機は、バッテリーパック BP-820(付属)、またはBP-828(別売)を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、分単位(目安)の残量を確認することができます。残量をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーをはじめて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

- 1 本機にUSB電源アダプターを、コンセントに電源コードをつなぐ
- 2 バッテリーを取り付ける

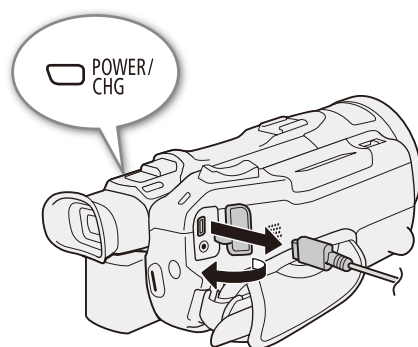


- 3 電源OFFで充電開始



- 点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(P.168)をご覧ください。

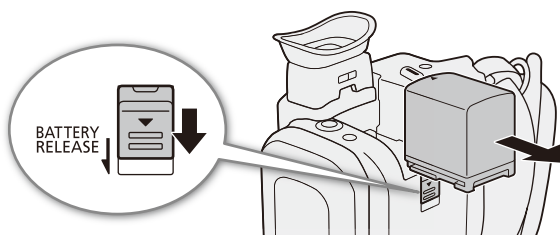
- 4 点灯→消灯で充電完了



- 本機からUSB電源アダプターを、コンセントから電源コードを抜く。

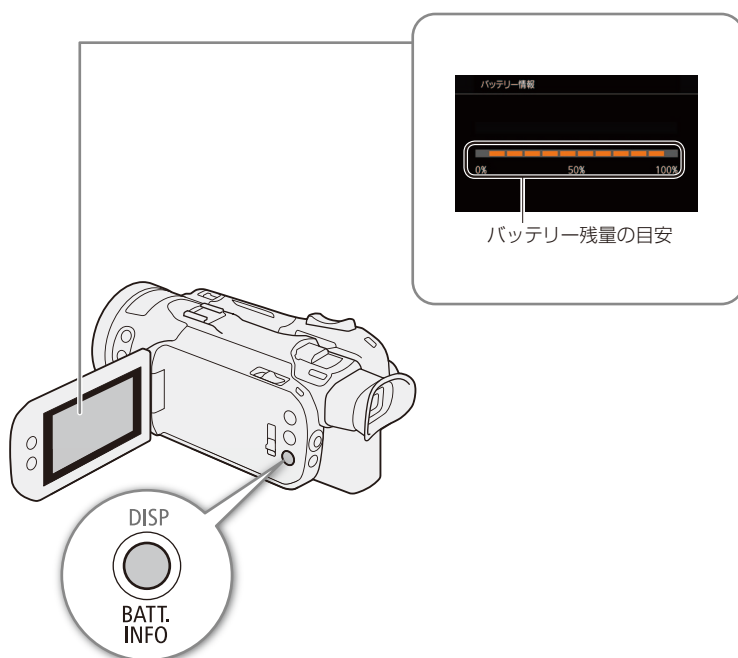
■ バッテリーを取り外す

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。



■ バッテリーの残量を確認する

電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量（目安）が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



■ コンセントにつないで使う

USB電源アダプターを使って、本機をコンセントにつないで使用できます。

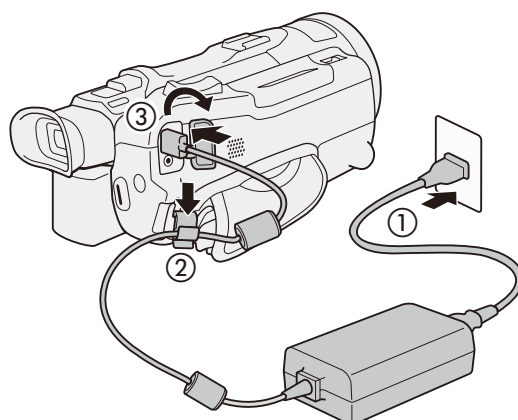
1 USB電源アダプターをコンセントにつなぐ (①)

2 コードをクランプにひっかける (②)

- 本機とケーブルクランプの間にフェライトコアがくるようにケーブルを取り付ける。

3 DCプラグをDC IN端子につなぐ (③)

- カメラを起動すると、画面にDC INが表示される。



ご注意

- USB電源アダプターに指定された製品以外を接続しないでください。
- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、POWER (電源) ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、USB電源アダプターを固定して使用しないでください。

MEMO

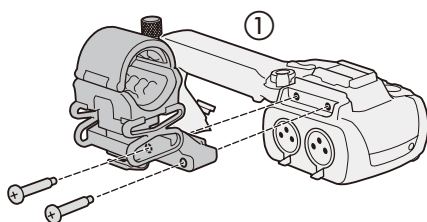
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約5℃～35℃(使用温度)の範囲外の場合は、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からDCプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG (充電) ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、USB電源アダプターを使って本機をコンセントにつないだままお使いください。
- USB電源アダプターにつないだまま撮影するときは、停電やコンセント抜けによって電源が切れることを防止するため、バッテリーを取り付けて使用することをおすすめします。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーの取り扱いについては176ページを、充電時間や使用時間については184ページをご覧ください。

カメラを準備する

ここでは付属のハンドルユニットとレンズフードの取り付け、ビューファインダーや液晶モニターの調整、グリップベルトやストラップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

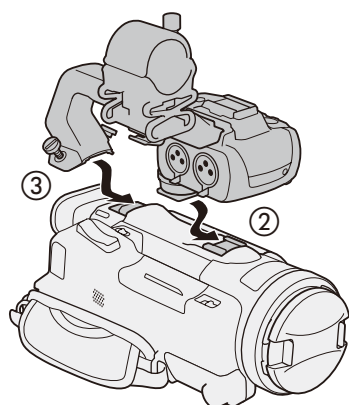
■ ハンドルユニットを取り付ける

INPUT端子 (□ 89)、赤外ライト (□ 103)、タリールンプ (□ 43)を使用するときは、ハンドルユニットを取り付けてください。

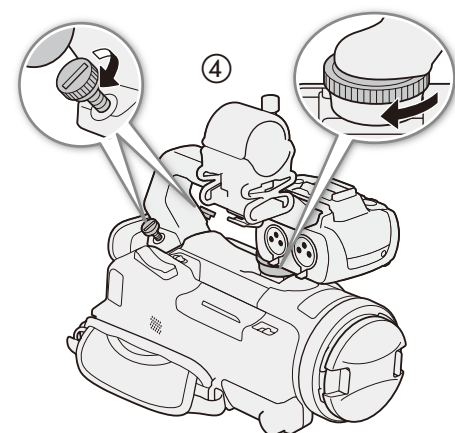


- 1 +のドライバー (市販) を使用して、付属の2本のネジでマイクホルダーをハンドルユニットに取り付ける (①)

- 2 電源を切って、POWER (電源) ランプが消えていることを確認する (□ 28)



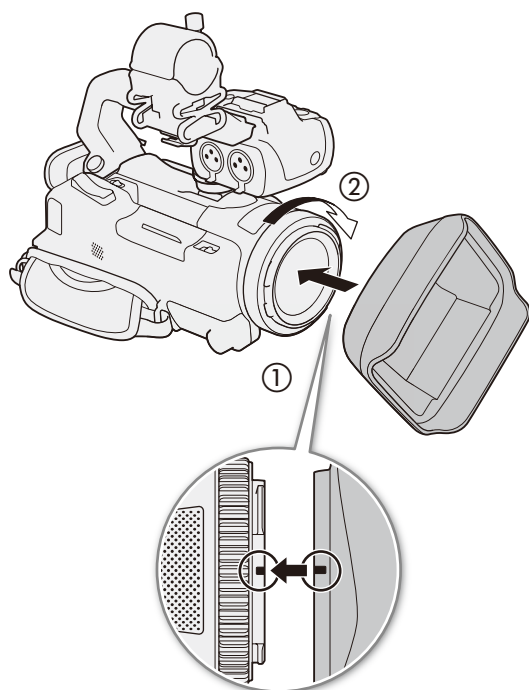
- 3 ハンドルユニットを後ろから前へスライドさせ、ハンドルユニット固定ネジ差し込み部 (②) に合わせる。次にハンドルユニット取り付け部 (③) に合わせる。



- 4 それぞれのネジを回してしっかり固定する (④)
 - ハンドルユニット取り付けネジは、コインなどでしっかり締めてください。

■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのバリアを閉じることで、レンズに指紋などの汚れがつきにくくなります。



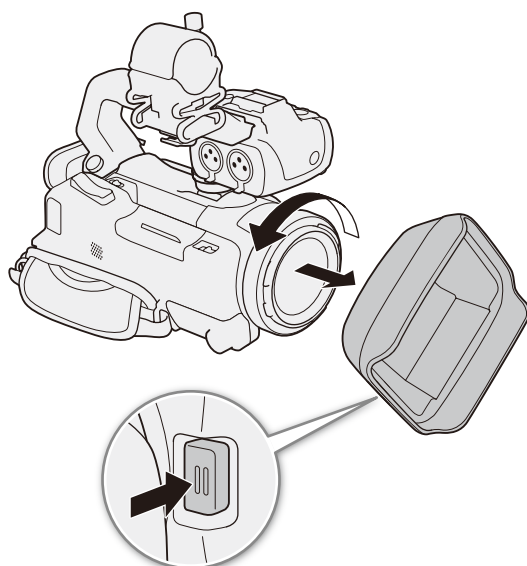
1 レンズキャップを取り外す

2 レンズ先端部にレンズフードをはめ込み、目印が真上に来るように取り付け (①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す (②)

- レンズフードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなります。

取り外すとき

- ① レンズフード取り外しボタンを押しながら、レンズフードを矢印の方向に回して取り外す。
- ② レンズキャップを取り付ける。

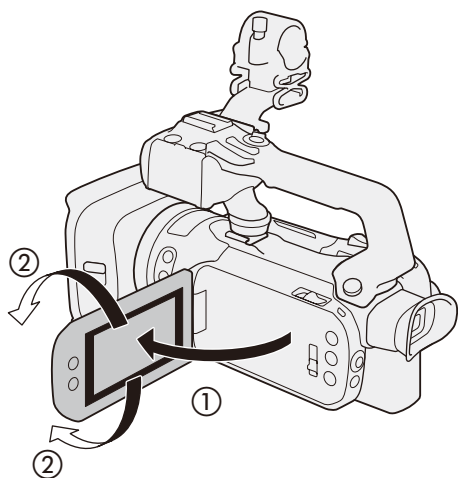


MEMO

レンズキャップについて

- レンズキャップはビデオカメラの保管や持ち運びの際にご使用ください。
- レンズキャップが付いていると、フードを取り付けることができません。レンズキャップを外してから、レンズフードを取り付けてください。

■ 液晶モニターを使う



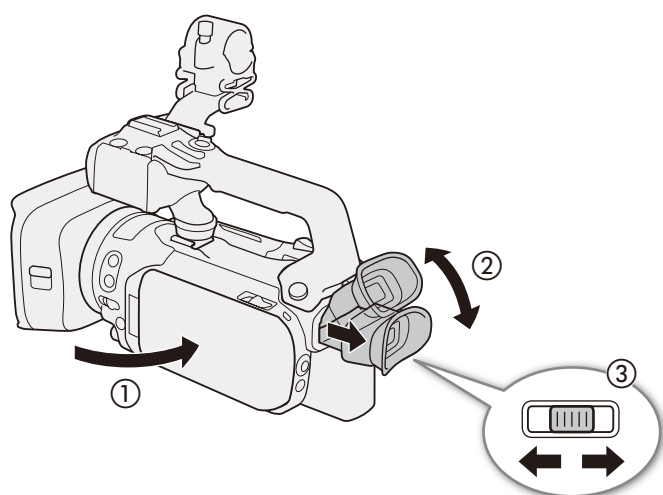
- 1 液晶モニターを手前に引き出し (①)、見やすい角度に調整する (②)

MEMO

- 画面の明るさは、メニューの 表示設定メニュー ▶ 「液晶明るさ調整」で、画面の輝度は、メニューの 表示設定メニュー ▶ 「液晶バックライト」(161)で調整できます。また、電源ONのときにDISPボタン (11)を2秒以上押して、「液晶バックライト」の輝度を切り換えることもできます。
- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 輝度を上げると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 液晶モニターの画面を相手に見せながら撮影するときなどは、 表示設定メニュー ▶ 「液晶対面ミラー」を「入」にすると、画面を左右に反転して表示させることができます。
- 液晶モニター／ビューファインダーの取り扱いについては175ページを、お手入れについては178ページをご覧ください。

■ ビューファインダーを使う

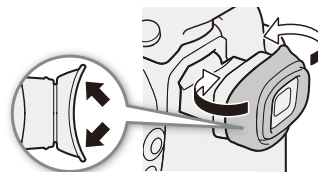
ビューファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



- 1 本機の電源を入れる (□ 28)
- 2 液晶モニターを閉じる (①)
- 3 ビューファインダーを引き出して、見やすい角度に調整する (②)
- 4 はっきり見えるように視度調整レバーを動かす (③)

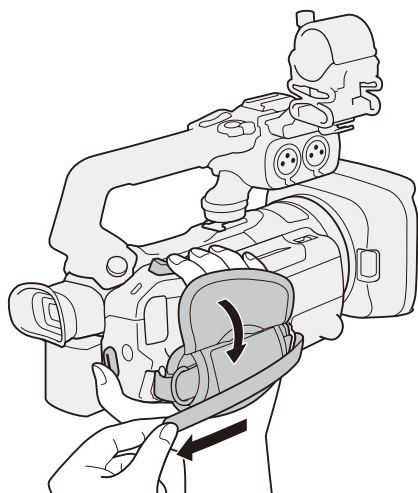
MEMO

- ビューファインダーと液晶モニターは同時に使用できません。ビューファインダーを使うときは、液晶モニターを閉じてからビューファインダーを引き出してください。
- ビューファインダーの明るさは、☒表示設定メニュー ▶ 「VF輝度」で調整できます。
- 必ずアイカップを装着した状態でご使用ください。眼鏡をかけている場合など、アイカップのベロ部が邪魔になるときは、図のように折り返してご使用ください。



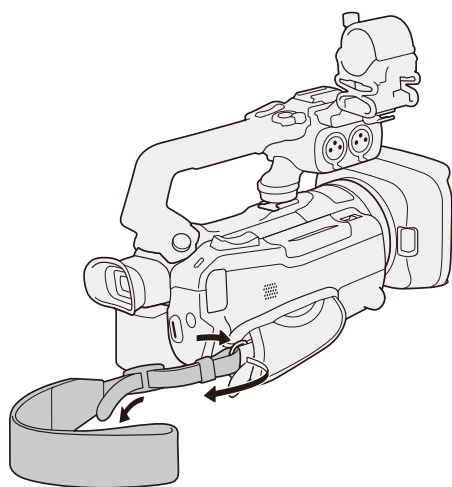
■ グリップベルトを調節する

親指がRECボタンに、人さし指がグリップズームに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

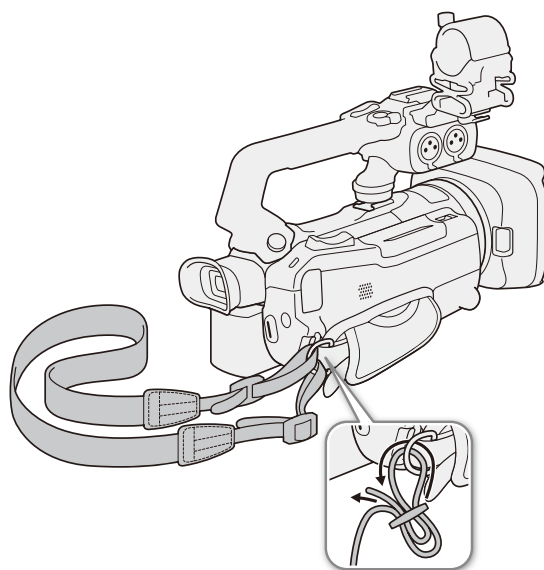


■ ストラップを取り付ける

リストストラップWS-20(別売)のとき



ショルダーストラップSS-600(別売)のとき

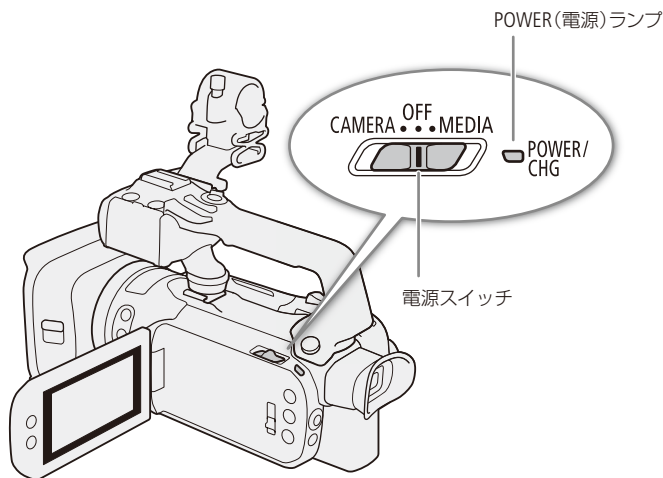


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。



カメラモードで起動するとき

電源スイッチをCAMERAにする



メディアモードで起動するとき

電源スイッチをMEDIAにする



電源を切るとき

電源スイッチをOFFにする



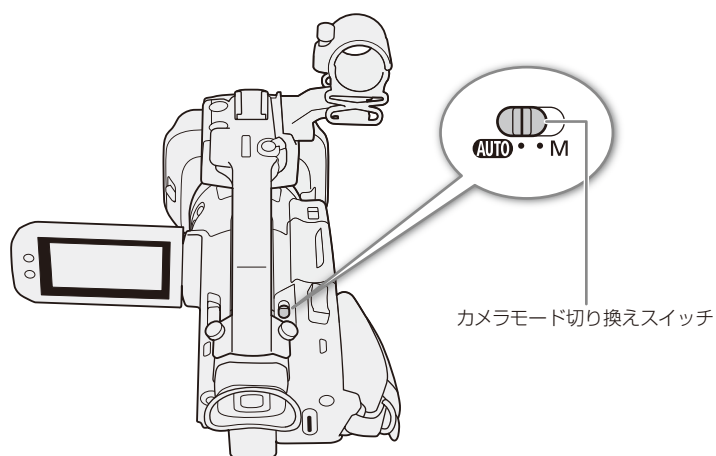
MEMO

電源を入れるとPOWER(電源)ランプが緑色に点灯します。

⚡システム設定メニュー ▶ 「POWER LED」を「切」にすると、POWER(電源)ランプを点灯しないようにすることができます (p.162)。

■ カメラモードを切り換える

カメラモード切り換えスイッチで撮影時のモードを切り換えます。



AUTO (オート)モード

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画を撮影できます (42)。



M (マニュアル)モード

ピント (フォーカス) や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影できます (42)。

日付／時刻を合わせる

CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておくで、現地時間で記録できます (162)。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M



1 電源を入れる (28)

- はじめて電源を入れると「日付/時刻」設定画面がでる。



2 日時を設定する

タッチパネルで操作するとき

- ① 項目 (年月日時分) をタッチし、▲/▼ をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。
 - ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。
 - ジョイスティックを上下左右に押して「OK」を選びSETを押す。

MEMO

地域とサマータイム、日時設定を変更するには

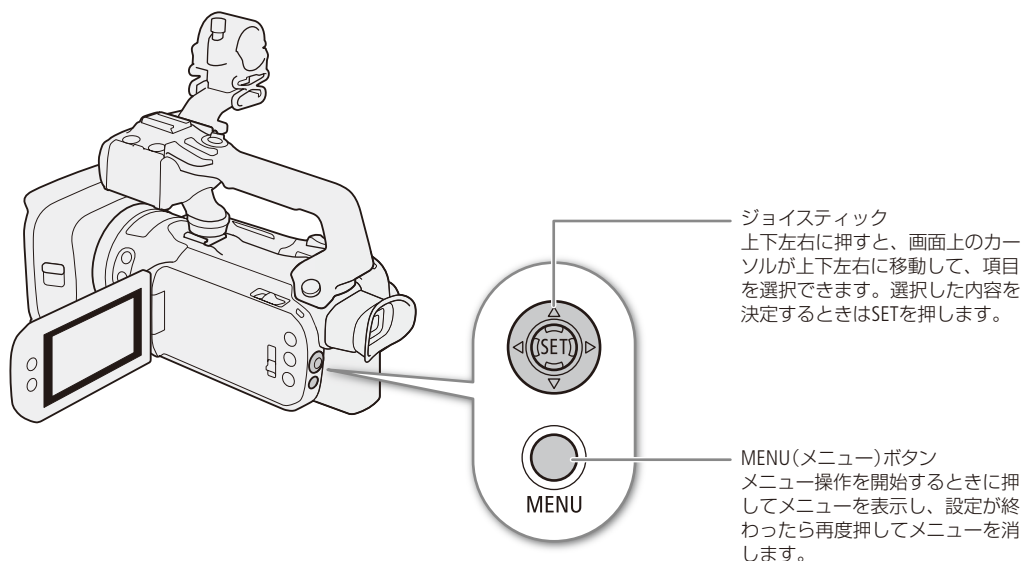
→ システム設定メニュー ▶ 「エリア/サマータイム」または「日付/時刻」 (162)。

- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください (177)。
- GPSレシーバー GP-E2 (別売) を使用すれば、GPSから得られる時刻情報を本機に自動設定することもできます (106)。

メニュー／FUNCメニューで設定を変える

CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー／FUNCメニューを操作するときの参考にしてください。メニュー／FUNCメニューの種類については「メニューの紹介」(156)または「FUNCメニューの紹介」(154)をご覧ください。



■ メニューで設定を変える

本機のさまざまな機能の設定を、メニューで変更できます。

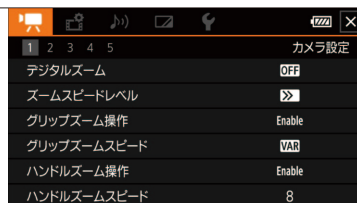
例 「フリッカー低減」を設定する



1 メニューを表示させる

MENU(メニュー)ボタン (31)を押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。





2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

- ① (カメラ設定) をタッチしたあと、左にドラッグして「3」のタブの画面にスクロールする。
- ② 「フリッカー低減」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを左右に押して (カメラ設定) を選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押してタブの番号にカーソルを移動させる。
- ③ ジョイスティックを左右に押して「3」のタブの画面を表示する。
- ④ ジョイスティックを上下に押して「フリッカー低減」を選び、SETを押す。

- 以降、この操作を次のように記載する。「～を選ぶ」は、タッチパネル操作では「タッチする」、ジョイスティック操作では「上下左右に押して対象を選びSETを押す」操作を示す。

例： 3 カメラ設定メニュー ▶ 「フリッカー低減」を選ぶ

- タブの番号はカメラモードとメディアモードで異なることがある。以降はカメラモードの番号で説明する。



3 設定内容を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

いずれかをタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、いずれかを選んでSETを押す。



4 MENU(メニュー)ボタンを押す

- をタッチするか、ジョイスティックを上下左右に押して を選んだあとSETを押しても、メニューを終了できる。
- をタッチするか、ジョイスティックで選択してSETを押すと、前の画面に戻る。

MEMO

- をタッチしたり、MENUボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

■ FUNCメニューで設定を変える

FUNCメニューでは、露出設定やホワイトバランス、フォーカスなど撮影時によく使う設定を変更できます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

FUNC

1 FUNCメニューを表示させる

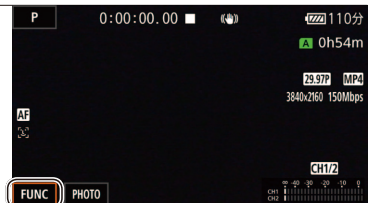
タッチパネルで操作するとき

FUNC をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して **FUNC** を選んで SETを押す。



2 画面の左側の項目を選ぶ

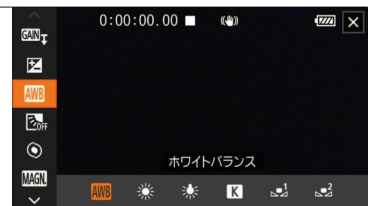
タッチパネルで操作するとき

いずれかをタッチする。

- 必要に応じて、画面の左側を上下にドラッグするか、**✓/△** をタッチして、項目を上下にスクロールする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押していずれかを選び、SETを押す。



3 画面の下側の設定内容を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

いずれかをタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを左右に押していずれかを選び、SETを押す。

×

4 FUNCメニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

× をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、**×** を選んで SETを押す。



- **5** をタッチするか、ジョイスティックで選択して SETを押すと、前の画面に戻る。

MEMO

機能によっては、項目や設定内容を選ぶと、メーターが表示されます。タッチパネルで操作するときは、左右にドラッグして値を調整します。ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整します。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカード*1 に記録します（下表）。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード*2 に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。

SDカードを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（[p.37](#)）。

*1 SDカードは、カスタムピクチャーファイルや設定データの保存にも使用します。

*2 以降、カードスロット **A** に入れるSDカードを「カードA」、カードスロット **B** に入れるSDカードを「カードB」と記載します。

使用可能なSDカード

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS  、CLASS 
UHSスピードクラス*1 *2	 、 

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2 解像度（[p.50](#)）が3840x2160のときやスロー&ファストモーション記録を行うときは、UHSスピードクラス3のSDカードをおすすめします。また、XF-AVC動画を記録するときは、SDスピードクラス10、UHSスピードクラス1、3のSDカードをおすすめします。

ご注意

- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

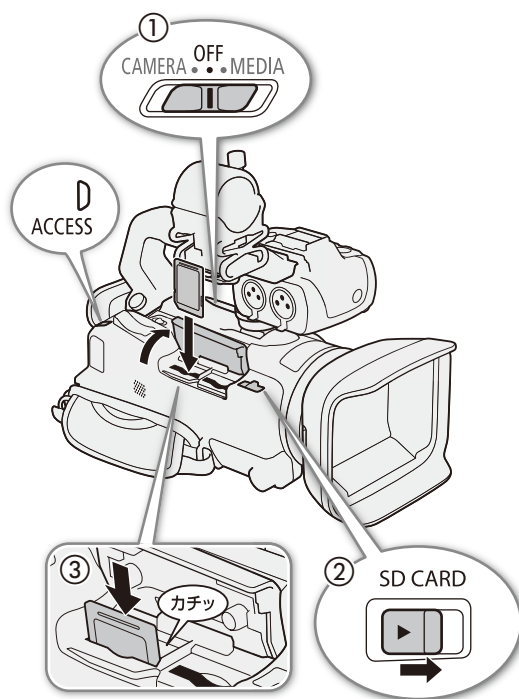
これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどをご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

MEMO

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

■ カードを入れる／出す



1 電源をOFFにする (①)

2 カードカバーを開ける (②)

- SD CARD (カードカバー開く) レバーをスライドする。

3 カードのラベル面をグリップベルト側にして、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる (③)

- カードスロット **A** と **B** の両方または、いずれかのみに入れることもできる。

カードを出すとき

- ① ACCESSランプが消灯していることを確認する。
- ② カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

カードアクセスランプの光りかた

点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	・ カードにアクセスしていない ・ カードが入っていない

☛ システム設定メニュー ▶ 「ACCESS LED」を「切」にすると、ACCESSランプを点灯しないようにすることができます (P.162)。

■ カードを初期化する

CAMERA MEDIA

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画／静止画などすべての情報を消すときに初期化します。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

1 初期化するカードを選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「初期化 [SD]」 ▶ 「[A] カードA」または「[B] カードB」を選ぶ。

画面例：カードAの場合



2 初期化を選ぶ

- ① 「初期化する」 ▶ 「はい」を選ぶ。
- ② 「OK」 ▶ ✕ を選ぶ。

ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- 初期化は、カードによっては数分かかることがあります。

■ 記録先を選ぶ

CAMERA MEDIA

動画や静止画の記録先を選びます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M



動画または静止画の記録先を選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「記録先」を選ぶ。
 - ② 「🎥 動画記録先」と「📷 静止画記録先」をそれぞれ「[A] カードA」または「[B] カードB」を選ぶ。
 - ③ ✕ を選ぶ。
- 「動画記録先」で選択した記録先のアイコンが画面に表示される。

■ カードスロット記録方式を選ぶ（同時記録／リレー記録） CAMERA MEDIA

2つのカードスロットにカードを入れると、2枚のカードに同時に映像を記録（同時記録）したり、記録先に指定したカードがいっぱいになったら、もう一方のカードに自動的に切り換えて記録（リレー記録）したりすることができます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード **AUTO** M



1 同時記録またはリレー記録を選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「同時記録／リレー記録」▶ いずれかを選ぶ。
- ② **X**を選ぶ。

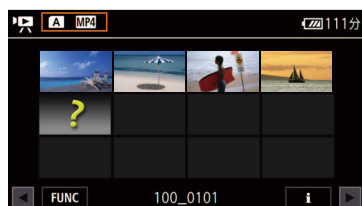
MEMO

- 同時記録中、一方のカードの空き容量がなくなると、両方のカードへの記録が停止します。なお、一方のカードに書き込みエラーが発生したときは、他方のカードへの記録を継続します。
- リレー記録で分割されたMP4クリップのファイルは、パソコンに取り込んだあと、ソフトウェアMP4 Join Tool (📖 150) を使用すれば、1つのファイルに結合できます。
- 「リレー記録」は、カードAからカードB、または、カードBからカードAの1回のみ記録可能です。
- 同時記録とリレー記録は、スロー & ファストモーション記録と同時に使用することはできません。

■ クリップを修復する CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、カードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。

1 クリップのインデックス画面を表示する (📖 126)



2 クリップを修復する

- ① **?**が表示されているサムネイルを選ぶ。
 - 「データの修復を試みますか？」が表示される。
- ② 「はい」を選ぶ。
 - 選んだクリップが修復される。
 - 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。
- ③ 「OK」を選ぶ。

MEMO

修復したクリップについて

- MP4動画の場合、インデックス画面では▶が表示される。
- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

MEMO

撮 影

動画や静止画を撮影する	42	好みの画質にする（ルック）	85
画面の見かた	47	タイムコードを設定する	86
映像の信号形式を選ぶ	50	ユーザービットを設定する	88
スロー & ファスト モーション記録を行う	52	音声を記録する	89
フォーカスを調整する	53	ヘッドホンを使う	100
ズームを操作する	65	カラーバー／テストトーンを 記録する	101
手ブレ補正を使う	72	プレ記録を行う	102
ゲインリミットを設定する	73	赤外撮影（INFRARED）を行う	103
撮影モードを選ぶ	74	RC-V100でリモート撮影する	104
明るさを調整する	76	WEBカメラとして使用する	105
NDフィルターを切り換える	82	GPSレシーバー GP-E2を使う ...	106
色合いを調整する	83		

動画や静止画を撮影する

CAMERA MEDIA

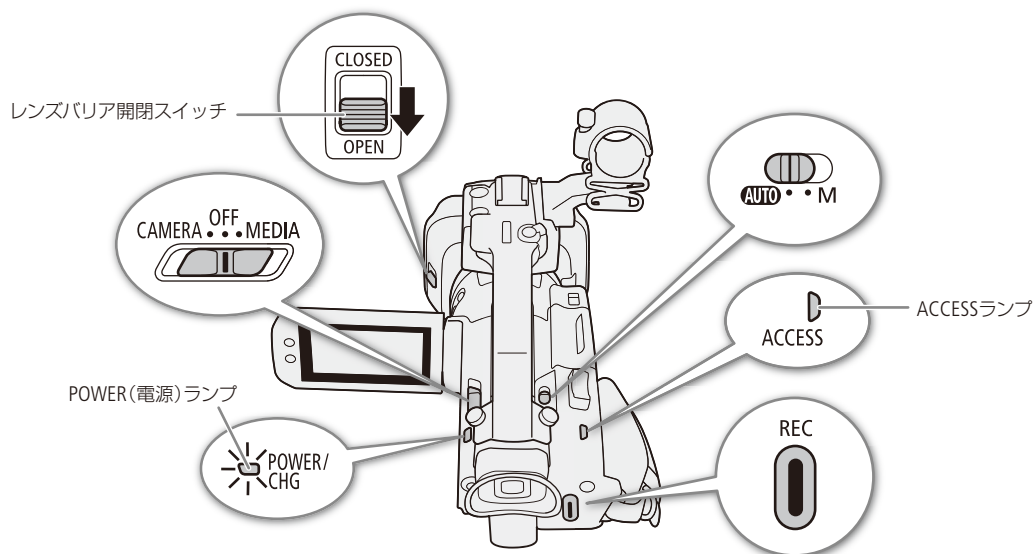
ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、89ページをご覧ください。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

■ 撮影する

ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できる **AUTO** (オート) モードと、フォーカスや露出などの撮影設定を自分で設定して撮影できる **M** (マニュアル) モードがあり、用途に応じて切り換えることができます。



1 レンズバリアを開ける

- ① レンズバリア開閉スイッチを下げ、レンズバリアを開ける。



2 カメラモードを **AUTO** または **M** にする (29)



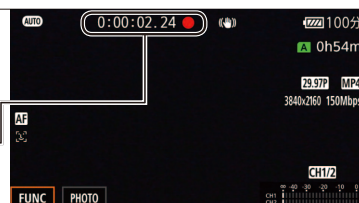
3 電源スイッチを「CAMERA」にする

- POWER (電源) ランプが緑色に点灯。



4 REC(記録開始/停止)ボタンを押す

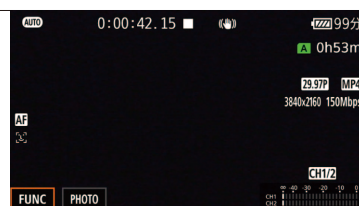
- 撮影が始まり、画面に●が表示される。ハンドルユニットを装着しているときは、タリーランプが点灯する。
- ハンドルユニットのRECボタンを押しても撮影開始できる。
- タッチアサインボタンに「REC」を割り当てて、撮影の開始/停止操作を行うこともできます。



5 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始/停止)ボタンを押す

- 画面の●が■に変わる。
- 1クリップ*の動画が記録され、撮影が停止する。ハンドルユニットのタリーランプは消灯する。

* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「クリップ」と呼びます。また、XF-AVC形式のクリップを「XF-AVCクリップ」、MP4形式のクリップを「MP4クリップ」と呼びます。



PHOTO

静止画を撮るとき 動画の撮影停止中にPHOTOを押す

- PHOTO(タッチアサインボタン)に割り当てる機能は変更できる(111)。
- 初期設定では「PHOTO Photo」が割り当てられている。
- 画面下部に緑色の○と、画面右上に、カメラアイコンと記録先のアイコンが表示される。記録先は、2 記録設定メニュー ▶ 「記録先」の「静止画記録先」で選んだカードとなる。



6 レンズバリアを閉じて、電源を切る

- ① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
- ② ACCESSランプが消えていることを確認する。
- ③ 電源スイッチをOFFにする。
- ④ 液晶モニターを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

ご注意

- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- ハンドルユニットのREC（記録開始／停止）ボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- カスタムピクチャーを設定してXF-AVC動画を撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「撮影時にクリップと一緒にカスタムピクチャーファイルを保存する」(☞ 118)をご覧ください。
- 1つのクリップには、6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください(☞ 26、161)。

分割して記録されるクリップについて

次の場合、撮影した映像は別々のクリップとして記録されます。

- 撮影中にリレー記録(☞ 38)が発生した。
- SDHCメモリーカードに記録時、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が約4GBに達した（本機での再生時は、連続して再生可能）。

MP4クリップをパソコンに取り込んだあと、ソフトウェアMP4 Join Toolを使うと、このように分割されたMP4クリップを1つのファイルに結合することができます(☞ 150)。

静止画について

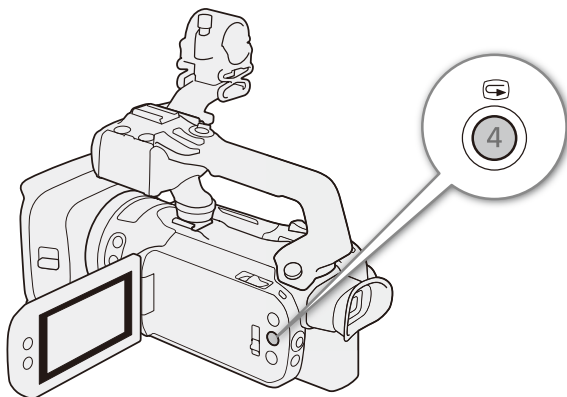
- 動画の撮影停止中に、静止画を記録できます。
- プレ記録中は、静止画を記録できません。

画面を閉じて撮影する

三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります(☞ 26、184)。

■ いま撮ったクリップを確認する（レックレビュー）

直前に撮ったクリップを再生して、録画状態をチェックすることができます。なお、レックレビュー中の音声は内蔵スピーカーからは出力されません。初期設定ではアサインボタン4(☞ 11)に割り当てられていますので、アサインボタン4を押して操作します。



1 撮影が終了したあと、🎞️（レックレビュー）ボタンを押す。

- 直前に撮ったクリップの最後の4秒間が再生される。

XF-AVC動画のクリップファイル名を設定する CAMERA MEDIA

本機内の記録メディアに記録されるXF-AVC動画のクリップファイルの名前を設定します。カメラや記録メディアごとに割り振る文字や、任意の文字列（5文字）を設定することができます。

クリップファイル名の構成

A 001 C001 - y y m m d d X X - C A N O N - 01

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

	項目	内容
①	カメラインデックス	A～Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001～999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号が自動的に振られ、初期値を指定できる。新しい記録メディア*に交換すると、初回の記録時に番号が1つ繰り上がる。 * 購入または初期化直後のカード。
③	クリップ番号	001～999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001～C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001～D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値（C001）にリセットしたりすることもできる。 クリップ番号の付けかたは、記録メディアを交換しても連番を振る「通し番号」と、記録メディアの交換後、初回の記録時に「001」にリセットする「オートリセット」の2方式がある。
④	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑤	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A～Z、0～9からなる2文字。
⑥	ユーザー定義	A～Z、0～9からなる5文字。
⑦	ストリーム番号	01～99の数字。記録先がSD / SDHCメモリーカードのときは、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が分割されると1つ繰り上がる。

設定する

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**



1 カメラインデックスを設定する

- ① 4 記録設定メニュー ▶ 「カメラインデックス」を選ぶ。
- ② ▲／▼をタッチして、A～Zのいずれかの文字を選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ。



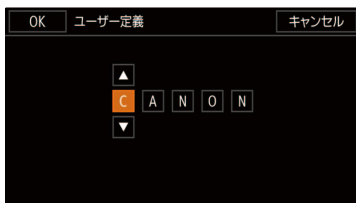
2 クリップ番号方式を選ぶ

- ① ④ 記録設定メニュー ▶ 「クリップ番号方式」を選ぶ。
- ② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ▶ ➡ を選ぶ。
 - 「通し番号」を選んだときは操作3でクリップ番号を設定する。



3 リール番号／クリップ番号を設定する

- ① ④ 記録設定メニュー ▶ 「リール番号」または「クリップ番号」を順に選ぶ。
 - 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- ② ▲／▼で数字を選ぶ。
 - 「リセット」を選ぶと、番号が「001」にリセットされる。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ ▶ 「OK」を選ぶ。



4 ユーザー定義を設定する

- ① ④ 記録設定メニュー ▶ 「ユーザー定義」を順に選ぶ。
- ② 操作3の②～③と同じ要領で、5文字の英数字を入力する ▶ 「OK」を選ぶ。

アイコン／表示	説明
	ピーキング (81)
	ゼブラ (81)
	GPS信号の受信状態* (106) 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E2接続時のみ。
	デジタルテレコン (71)
REC➡、STBY➡	記録コマンド (143)

画面中央

アイコン／表示	説明
 (黄色／白色)	AFブーストMF枠 (59)
 (白色)	コンティニュアスAF (60)
	顔検出枠 (62)
	タッチ追尾枠 (62)
	マーカー表示 (161)

画面右

アイコン／表示	説明
	動画の記録先、記録可能時間 (時、分)
	カード残量少
	カード残量なし
	カードなし
	リレー記録、記録可能時間 (時、分)
	ズームバー 水色/青色部分：デジタルズーム領域
	スロー&ファストモーション記録 (52)

アイコン／表示	説明
	フレームレート (50)
	動画形式 (50)
0000×0000	解像度 (50)
000Mbps	ビットレート (50)
	コンバージョンレンズ (157)
	表示文字記録 (159)
	マイクアッテネーター (98)
	INPUT1/2リミッター (96)
	モニターチャンネル (146)
	オーディオ形式 (90)
	拡大表示 (58)
yyyy.mm.dd HH:MM	映像に重畳して記録中の日時表示 (159)

画面下

アイコン／表示	説明
	FUNCボタン (154)
	タッチアサインボタン (111)
	露出バー (76)
	追尾 (62) 追尾を解除するときは をタッチする。
	レベルメーター (94)

MEMO

- DISP(ディスプレイ)ボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。

全表示 ▶ マーカーのみ表示*1 ▶ 全消去*2

*1 マーカー表示 ( 161) を有効にしているときのみ。

*2 撮影状態などを除くほとんどの画面表示が消去される。

■ Canon Log 3使用時の映像を画面で確認する（ビューアシスト）

Canon Log 3を使用すると、画面に表示される映像が全体的に暗くなります。Canon Log 3で撮影している映像を本機の画面で確認するときは、ビューアシストを使用すると、Wide DRガンマに近い色調で表示できます。ビューアシストは、各出力端子から出力される映像や、記録される映像には影響しません。

☒ 表示設定メニュー ▶ 「液晶／VF ビューアシスト」▶ 「入」を選ぶ

- 画面に **V Assist** が表示される。

映像の信号形式を選ぶ

CAMERA MEDIA

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、動画形式、解像度、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。また、カラーサンプリングはYCbCr 4:2:0 8 bitです。音声については「音声を記録する」(□ 89)をご覧ください。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**

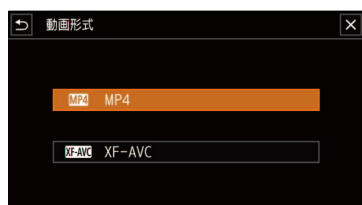
MP4動画の記録信号形式

MP4 解像度	フレームレート		
	59.94P	29.97P	23.98P
3840x2160 (150 Mbps)	—	●	●
1920x1080 (35 Mbps)	●	●	●
1920x1080 (17 Mbps)	●	●	●
1280x720 (8 Mbps)*	●	—	—

* 「フレームレート」は固定となり、変更することはできません。また「MP4オーディオ形式」(□ 90)は「AAC 16bit 2CH」となります。

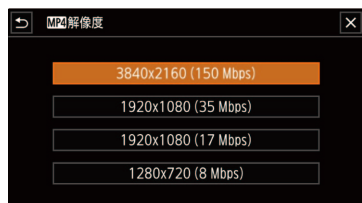
XF-AVC動画の記録信号形式

XF-AVC 解像度	フレームレート			
	59.94P	59.94i	29.97P	23.98P
3840x2160 (160 Mbps)	—	—	●	●
1920x1080 (45 Mbps)	●	●	●	●



1 動画形式を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「動画形式」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ➡ を選ぶ。



2 解像度を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「MP4 解像度」または「XF-AVC 解像度」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ➡ を選ぶ。



3 フレームレートを選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「MP4 フレームレート」または「XF-AVC フレームレート」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ✕ を選ぶ。

MEMO

- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR (Variable BitRate) 方式を採用しているためです。
- 記録可能時間の目安については183ページをご覧ください。

スロー & ファストモーション記録を行う

CAMERA MEDIA

動きのある映像をスローで記録したり、自然観察など時間の経過に伴う変化を間欠的に記録（ファスト記録）したりすることができます。設定出来る記録速度は解像度とフレームレートの設定によって異なります。なお、記録中、音声は記録されません。

MP4形式の記録速度

解像度	フレームレート	記録速度
3840x2160 (150 Mbps)	29.97P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
	23.98P	x0.8
1920x1080 (35 Mbps) 1920x1080 (17 Mbps)	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
	29.97P	x0.5
	23.98P	x0.4、x0.8
1280x720 (8 Mbps)	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200

XF-AVC形式の記録速度

解像度	フレームレート	記録速度	再生ビットレート
3840x2160 (160 Mbps)	29.97P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200	160 Mbps
	23.98P	x0.8	150 Mbps
1920x1080 (45 Mbps)	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200	45 Mbps
	29.97P	x0.5	45 Mbps
	23.98P	x0.4、x0.8	45 Mbps

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M



1 記録速度を選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー > 「Slow & Fastモーション」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ > **X**を選ぶ。
 - 「OFF」を選ぶと、Slow & Fastモーション記録モードが終了する。

MEMO

- 同時記録、リレー記録、プレ記録、カラーバーと同時を使用することはできません。
- スロー & ファストモーション記録モード中は、SDI OUT端子（**XA75**）またはHDMI OUT端子から記録コマンドを出力しません。

スロー & ファストモーション記録中のタイムコード

- 「Rec Run」または「Regen.」で記録される。
 - 「Free Run」の状態ですロー & ファストモーション記録モードにすると、強制的に「Rec Run」に設定される。
 - 「Slow & Fastモーション」を「切」にすると、元のカウントアップ方式に戻る。
 - タイムコードは、SDI OUT端子（**XA75**）またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。
- スロー記録時、1回の撮影操作で記録できる時間は、再生時間における約6時間です。それを越えると自動的に停止します。ファスト記録のときは、停止しません。
例) 記録速度が「x0.5」の場合、記録時間は3時間（再生時間は6時間）。

フォーカスを調整する

CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、次の3種類があります。マニュアルフォーカスで調整中は、デュアルピクセルフォーカスガイドやピーキング（輪郭強調）表示、拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピンポイントを合わせやすくなります。

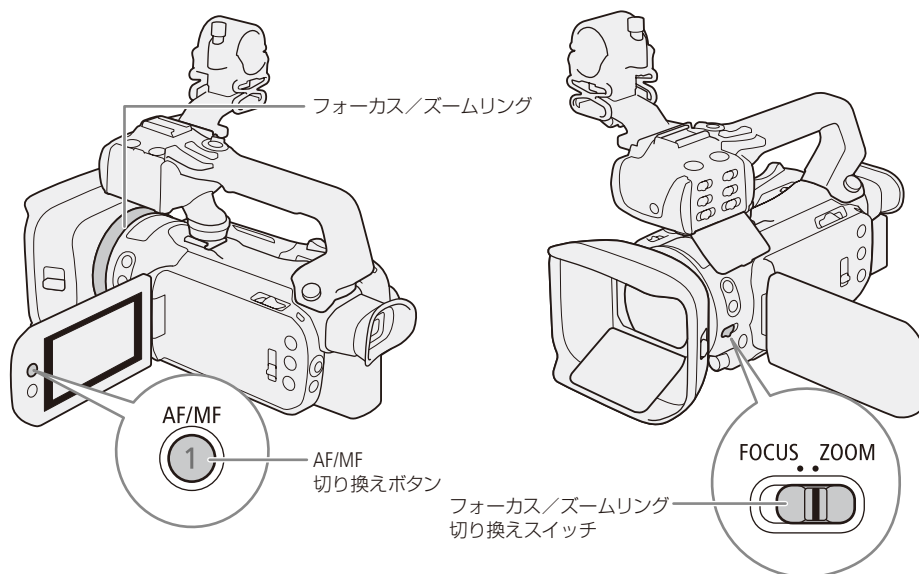
マニュアルフォーカス：フォーカス／ズームリングを回して手動でフォーカス調整を行います。

AFブーストMF：大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整する。

コンティニュアスAF：フォーカスを常に自動調整する。

MF(マニュアルフォーカス)で調整する

フォーカス／ズームリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカス／ズームリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカス／ズームリングの操作方向、敏感度をメニューで設定することができます（P 157）。画面上の被写体をタッチしてフォーカスを自動調整した後で、手動で微調整することもできます。



動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO* M

* フォーカス／ズームリングによる調整のみ可能。

FOCUS ZOOM



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする

AF/MF



2 フォーカス／ズームリングだけで調整するとき AF/MF切り換えボタンを押す

- マニュアルフォーカスに切り換わると、画面にMFが表示される（操作6へ）。

FUNC

画面の被写体をタッチしてフォーカス調整するとき FUNC を選ぶ

	3 フォーカスを選ぶ ● (フォーカス)を選ぶ。 ● フォーカス調整画面が出る。	
	4 画面上の被写体をタッチする ① 画面の枠内の、ピントを合わせたい被写体をタッチする。 ● タッチした場所にピントが点滅してピントが自動で調整された後、マニュアルフォーカスになる。 ● ピントを合わせたときの被写体までの距離が表示される。 オートフォーカスに戻るとき Aを選ぶ。	
	5 ×をタッチする	
	6 フォーカス／ズームリングを回して、フォーカスを調整する ● 操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。	

MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

フォーカスプリセットを使う

マニュアルフォーカスのときはフォーカス位置をプリセットでき、プリセットしたフォーカス位置にフォーカスを合わせることができます。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**

フォーカス位置をプリセットする

FUNC



1 FUNCメニューでマニュアルフォーカスにする

- 「MF (マニュアルフォーカス) で調整する」の操作1 ～ 4を行う。
- ピントを合わせたときの被写体までの距離が枠内とフォーカスプリセットボタンに表示される。

2 フォーカスプリセットボタンをタッチする

- フォーカスプリセットボタンの指標がオレンジに変わり、被写体までの距離が保持される。
- もう一度フォーカスプリセットボタンをタッチすると設定が解除される。



3 必要に応じてフォーカスを調整する

- 調整後の被写体までの距離が枠内に表示される

プリセットしたフォーカス位置に戻る

PRESET

1 PRESETをタッチする

- フォーカスがプリセットした位置に調整され、固定される。
- フォーカスやズームの調整中、PRESETは灰色になりタッチできない。

プリセット位置をキャンセルするとき
フォーカスプリセットボタンをタッチする。



MEMO

- 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置はキャンセルされます。
- カメラ設定メニュー ➤ 「フォーカスP.スピード」で、プリセットした位置にフォーカスが移動するときの速さを選べます (156)。

フォーカスアシスト機能を使う

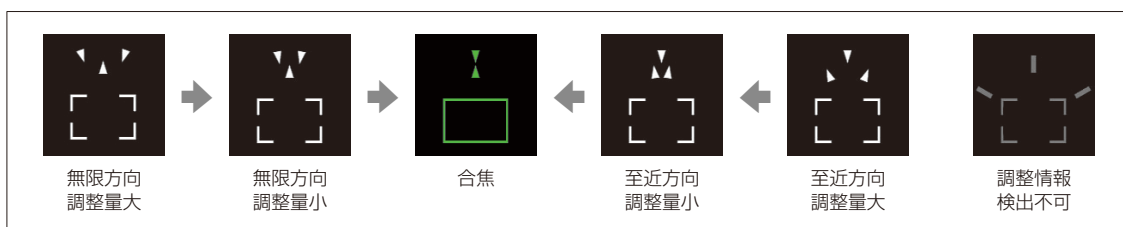
フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピン트가合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

デュアルピクセルフォーカスガイド

メニューの「フォーカスガイド」を「入」にすると、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します（[図 156](#)）。ガイド枠の意味（調整方向、調整量）は次のとおりです。「フェイスキャッチ&追尾」（[図 62](#)）と併用すると、ガイド枠は主な被写体と判断した顔の目の付近に表示されます。



フォーカスガイド枠を移動する

フォーカスを合わせたい部分にフォーカスガイド枠（[図 56](#)）を移動します。



1 フォーカスガイド枠を移動する

- ① 画面をタッチする。
 - ガイド枠が移動する。

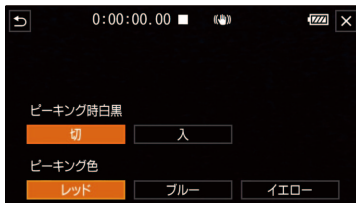
MEMO

- 緑のフォーカスガイド枠は、合焦範囲を示しています。
- オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定 (61) では、ガイドが正しく表示されないことがあります。

デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき

- AFブーストMF、またはコンティニュアスAFの調整中。
 - カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」で「Tele TL-U58」または「Wide WA-U58」を設定しているとき。
 - デジタルズーム (71) を設定していて、ズーム位置がデジタルズーム領域のとき。
 - 撮影モードを「打上げ花火」に設定しているとき。
 - 「カラーバー」を設定しているとき。
 - 赤外撮影 (103) を設定しているとき。
- デュアルピクセルフォーカスガイドを「フェイスキャッチ&追尾」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目
の位置からずれることがあります。
 - アサインボタンに「フォーカスガイド」を割り当てると、アサインボタンを押して「フォーカスガイド」の入／切を切り
換えられます (111) 。

ピーキングを使う



1 ピーキング色を選ぶ

- ① **FUNC** ▶ **FOCUS** (フォーカス) ▶ **PEAK** を選ぶ。
- ② いずれかのピーキング色を選ぶ ▶ **色** を選ぶ。



2 ピーキングを表示する

- ① **PEAK** をタッチする。
 - ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。
 - 「ピーキング時白黒」が「入」のときは、画面の映像が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。

ピーキングを使わないとき

もう一度 **PEAK** をタッチする。

- ② **×** を選ぶ。

拡大表示を使う

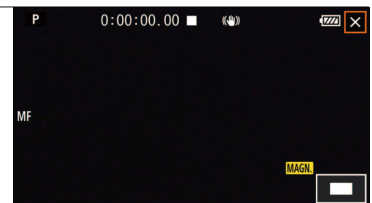
MAGN.



1 MAGN.(拡大)ボタンを押す

FUNC ▶ **MAGN** (拡大表示) ▶ 「実行」でも設定できる。

- 画面に **MAGN.** が表示され、画面の中心部が2倍*に拡大される。
* 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。



2 必要に応じて拡大位置を移動させる

画面をドラッグ、またはジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。

- **MAGN.** ボタンを押すか、**×** を選ぶと拡大表示が解除される。

MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- カラーバー表示中は拡大表示できません。
- アサインボタンに「拡大表示」を割り当てると、アサインボタンを押して「拡大表示」をON / OFFできます (111)。
- 拡大表示は動画の撮影開始時に解除されますが、撮影中でもON / OFFすることができます。

■ AFブーストMFで調整する

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくときAFで自動調整します。4K動画を撮影するとき、ピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

	1	フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする	
	2	AF/MF切り換えボタンを押してAFにする ● 画面にAFが表示される。	
	3	「AF枠サイズ」を「大」または「小」にする (60)	
	4	AFモードを「AFブーストMF」に設定する ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を選ぶ。 ② 「BOOST AFブーストMF」▶ ✕を選ぶ。 ● フォーカス位置が手動調整領域内のときは、画面に黄色の枠 (AFブーストMF枠) が表示される。 ● 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する (60)。	
	5	フォーカス／ズームリングを回して、調整する ● フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自動的にピント合わせを行う。 ● フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。	

■ コンティニユアスAFで調整する

AF枠 (60) がオートの場合は、画面中央部にある被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。オート以外に設定しているときは、表示されているAF枠内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO* M

* AFモードは「連続」固定となるため、操作は不要。



1 AF/MF切り換えボタンを押してAFにする

- 画面にAFが表示される。

2 「AF枠サイズ」を「大」または「小」にする (60)



3 AFモードを「連続」に設定する

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を選ぶ。
- ② 「CONT 連続」 ▶ Xを選ぶ。



MEMO

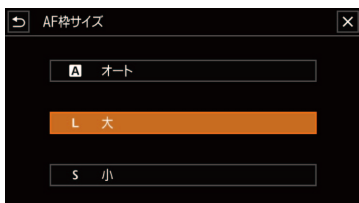
- 「AF枠サイズ」を「大」または「小」にすると、画面に白い枠 (コンティニユアスAF枠) が表示されます (60)。

■ AF枠の位置／サイズを変更する

オートフォーカスで調整するときに、画面に表示されるAF枠の位置・サイズを変更することができます。AF枠サイズを「大」または「小」に設定しているときは、画面をタッチしてAF枠の位置を変更します。AF枠の大きさはメニューで変更します。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「AF枠サイズ」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ Xを選ぶ。
 - A** オート：画面中央部にある被写体にピントが合うように自動的にAF枠を設定する。画面に枠は表示されない。
 - L** 大、**S** 小：画面の80%の範囲内で任意の位置にAF枠を設定できる。被写体の大きさによって、大または小を設定する。

MEMO

- AF枠が「オート」のときは、AFブーストMFは使用できません。
- カメラモードがAUTOのとき、AFモードは「連続」、AF枠サイズは「オート」固定となります。

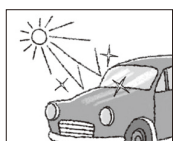
オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

- カメラ設定メニュー ▶ 「AFスピード」でオートフォーカスの調整速度を選べます (156)。
- カメラ設定メニュー ▶ 「AFレスポンス」でオートフォーカスの応答性を選べます (156)。
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます (被写体が小さく撮影されるため)。このときは、撮影モードの「Av (絞り優先AE)」または「M (マニュアル露出)」で、NDフィルターを使用して絞りを調整してください (82)。

AFモードが設定できないとき

- カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」を「TL-U58」または「WA-U58」に設定しているとき。
- 赤外撮影を設定しているとき
- フレームレートが「29.97P」または「23.98P」の場合、「59.94P」のときよりもフォーカスが合うまでに若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見ることがあります。
- オートフォーカス中でもフォーカス／ズームリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。
- 撮影モードが「打上げ花火」に設定されている場合、ピントは∞ (無限遠) で固定となります。

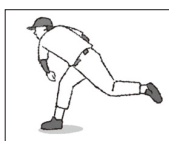
自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



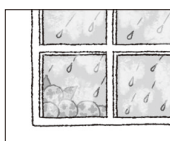
強い光が反射



画面の中央に明暗の差がない



動きが速い



水滴が付いている
ガラス越しの撮影



夜景



繰り返し模様

- カスタムピクチャー (119) やルック (85) で、ガンマをCanon Log 3またはWide DRに設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

■ 顔を検出してフォーカスを合わせる（フェイスキャッチ&追尾）

人物の顔を検出して自動的にピントや明るさ*を調整します。複数の顔を検出した場合、メインの被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。

オートフォーカスのときは、人物以外にもペットなどの動いている被写体にも自動でピントを合わせることができます。被写体を選ぶときはタッチパネルで操作してください。カメラモードが **AUTO**（オート）のときは、「フェイスキャッチ&追尾」は「入」に固定されます。

* 撮影モードが「スノー」、「ビーチ」、「スポットライト」、「夕焼け」のときは明るさを調整しません。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**



1 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

- ① 2カメラ設定メニュー ▶ 「フェイスキャッチ&追尾」を選ぶ。
- ② **ON** (入) を選ぶ。

解除するとき

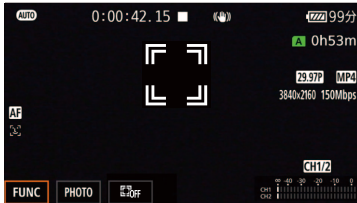
OFF (切) を選ぶ。

- ③ **X** を選ぶ。



2 カメラを人物に向ける

- 検出したすべての顔に枠が表示される。複数の顔が検出されたときは主な被写体と判断した顔の枠に◀と▶が付く。また、主な被写体の枠は、オートフォーカスのときは白色で、マニュアルフォーカスのときは灰色で表示される。



3 特定の人物または人物以外を選ぶ

特定のの人を選ぶとき

特定の人物をタッチする。

- タッチした人物の顔に2重枠が出る（オートフォーカス時は白い2重枠、マニュアルフォーカス時はグレーの2重枠）。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

人物以外を選ぶとき（オートフォーカス時のみ）

AF枠サイズが「オート」のときは、被写体をタッチする。

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

AF枠サイズが「大」または「小」のときは、『』をタッチして追尾選択画面を表示し、被写体をタッチする。

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「」をタッチする。

4 ピントを合わせる

マニュアルフォーカス時、「フォーカスガイド」を「入」に設定すると、主な被写体と判断した顔に対してフォーカスガイドが表示されるので、ピントを調整する。

- オートフォーカス時は自動でピントを調整する。

フェイスオンリー AF

オートフォーカスのときに、人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。顔が検出されないときはマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当て、アサインボタンを押して「フェイスオンリー AF」のON/OFFを切り換えます（111）。「フェイスオンリー AF」を「ON」にすると  が表示されます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「OFF」にしてください。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。
* メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒以上。
- 被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度63ページの「人物以外を選ぶとき」を操作してください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- 撮影モードを （夜景）、（ローライト）、（打上げ花火）に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満*にしているとき。
* メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで60倍を超えて拡大しているとき。
- 赤外線撮影がONのとき。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体が画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

フェイスオンリー AFが解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチ、INFRARED切り換えスイッチを操作したとき。
- 「フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合」の条件を満たしたとき。
- AF / MFを切り換えたとき。
- 「フェイスオンリー AF」を割り当てたアサインボタン／タッチアサインボタンがなくなったとき。

ズームを操作する

CAMERA MEDIA

ズームは、フォーカス／ズームリング、グリップズーム、ハンドルズーム*¹、画面上のズームボタン、またはリモコンで操作します。光学ズームで15倍まで拡大でき、デジタルズーム*²を使うと600倍まで拡大できます (156)。

*¹ ハンドルユニット装着時のみ。

*² デジタルズームは **AUTO** (オート) モードやメニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-U58」を設定しているときは使えません。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**

撮
影

■ フォーカス／ズームリングで操作する

FOCUS ZOOM



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをZOOMにする



2 フォーカス／ズームリングを回して調整する

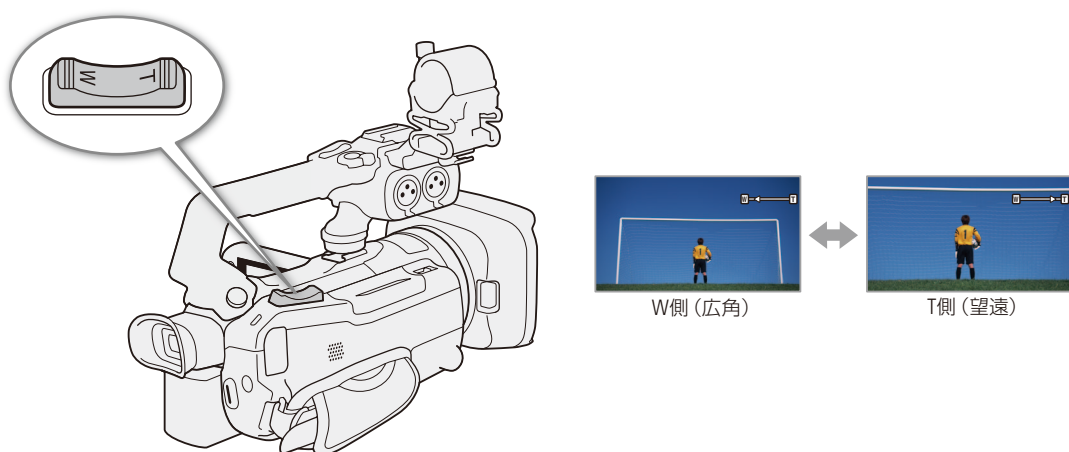
- ズームスピードは、フォーカス／ズームリングをゆっくり回すと低速になり、早く回すと高速になります。
- ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバーが画面に表示されます。

MEMO

- フォーカス／ズームリングの有効／無効や操作方向をメニューで変更することができます (157)。
- フォーカス／ズームリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカス／ズームリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

■ グリップズームで操作する

広角にするときは**W**(ワイド)側を押し、望遠にするときは**T**(テレ)側を押します。



グリップズームレバーのズームスピードを設定する

グリップズームの押しかた (操作量) に応じてズーム速度が変わる「**VAR** (可変速)」と、一定の速度でズームする「**CONST** (固定速)」とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。

ズームスピードにかかわる設定と、ワイド端→テレ端のズーム移動にかかる時間

グリップズーム スピードの設定	CONSTの速度設定 (16段階)	ズームスピードレベル		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR(可変速)	ズームの押しかたによって可変	約4.2秒～4分38秒	約2.6秒～2分	約1.5秒*～1分
CONST(固定速)	速度1(最低速)	約4分38秒	約2分	約1分
	速度16(最高速)	約4.2秒	約2.6秒	約1.5秒*

* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。



1 ズームスピードレベルを選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「ズームスピードレベル」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ 右の矢印を選ぶ。



2 VAR(可変速)または CONST(固定速)を選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズームスピード」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。



3 CONST(固定速)を選んだとき ズームの速度を設定する

- ① ◀または▶を押して設定する
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

4 Xを選ぶ

MEMO

- 「ズームスピードレベル」を「ハイ」にすると、レンズの動作音が記録されることがあります。
- 1 カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズーム操作」で、グリップズームレバーを無効にすることもできます。

撮影停止中のズームスピードを速くする（ハイスピードズーム）

撮影停止中のグリップズームのズームスピードレベルを強制的に「ハイ」にします。「グリップズームスピード」が「**VAR**（可変速）」のときに使用できます。撮影中は「ズームスピードレベル」の設定が有効になります。



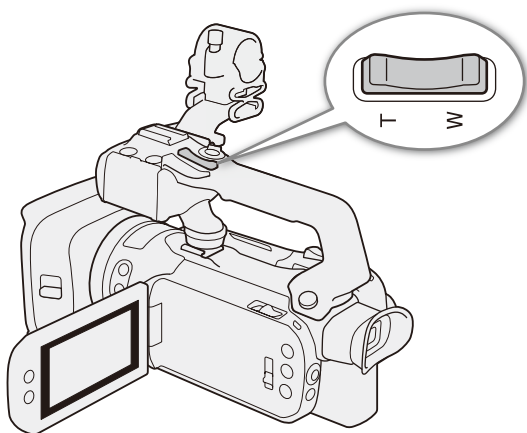
- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「ハイスピードズーム」を選ぶ。
- ② 「**ON**（入）」 ▶ **X**を選ぶ。

MEMO

- プレ記録（ 102）をONに設定していると、「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。
- 「ズームスピードレベル」を「ハイ」に設定しているときは、撮影停止中でもズーム速度は変わりません。

■ ハンドルズームで操作する

広角にするときは**W**（ワイド側）を押し、望遠にするときは**T**（テレ側）を押します。ハンドルズームを使用するときは、あらかじめハンドルユニットを取り付けてください（ 23）。



ハンドルズームのズームスピードを設定する

ズームのしかたは一定の速度でズームする固定速です。ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。

ズームスピードにかかわる設定と、ワイド端→テレ端のズーム移動にかかる時間

ハンドルズームスピード (16段階)	ズームスピードレベル		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1(最低速)	約4分38秒	約2分	約1分
速度16(最高速)	約4.2秒	約2.6秒	約1.5秒*

* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。

1 ズームスピードレベルを設定する (📖 67)



2 ズームの速度を設定する

- ① 📷カメラ設定メニュー ➤ 「ハンドルズームスピード」を選ぶ。
- ② ◀または▶を押して、ズームの速度を設定する。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- ③ ✕を選ぶ。

MEMO

- 📷カメラ設定メニュー ➤ 「ハンドルズーム操作」で、ハンドルズームレバーを無効にすることもできます。

■ リモートコントローラー RC-V100(別売)などで操作する

REMOTE(リモート)端子(104)に接続したリモートコントローラーRC-V100／市販のリモコンを使ってズームを調整します。ズームスピードは使用するリモコンによって異なります。

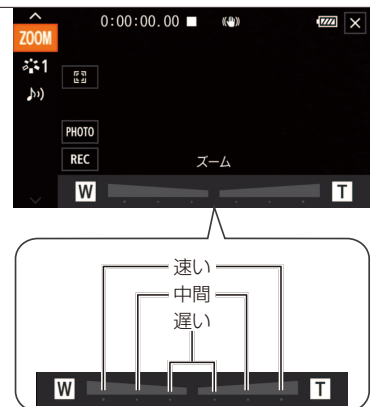
使用するリモコン	ズームの動作
リモートコントローラー RC-V100	RC-V100のZOOM(ズーム)ダイヤルを中央から右に回すとテレ側、中央から左に回すとワイド側にズームする(初期状態)。 ダイヤル操作の中央からの回転角度が大きいほど高速になる。
市販のリモコンなど	リモコンの説明書をご覧ください。 リモコンに可変速ズーム機能がないときは固定速。可変速ズーム機能があるときはリモコンの設定に従う。

■ ズーム画面で操作する



1 ズームを選ぶ

- ① **FUNC** ▶ 「ZOOM」(ズーム)を選ぶ。
 - ズーム画面が出る。
- ② 画面下部の**W**側または**T**側のバー上を押して、ズーム操作をする。
 - ズームのスピードは、押す場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。
- ③ **X**を選ぶ。



■ デジタルテレコンを使う

デジタルテレコンを使うと、デジタル処理によって焦点距離を約2倍にして、映像を拡大して撮影できます。

動画形式 **MP4 XF-AVC** カメラモード **AUTO M**



1 デジタルテレコンを選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「デジタルズーム」を選ぶ。
- ② 「 デジタルテレコン」▶ を選ぶ。



2 デジタルテレコンを有効にする

- ① **FUNC** ▶ ZOOM(ズーム)を選ぶ。
- ② (デジタルテレコン)を選ぶ。
 - 画面の中央が約2倍に拡大される。

解除するとき

もう一度 を選ぶ。

- ③ を選ぶ。

MEMO

- 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
- 撮影中や、メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-U58」を選択しているときは設定できません。
- 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。
- 解像度を3840×2160とそれ以外で切り換えると、「デジタルズーム」の設定が解除されます。

手ブレ補正を使う

CAMERA MEDIA

手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の2種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときは、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

- 🚫切 : 三脚を使って撮影するときなど、手ブレ補正を使用しないとき。
- 👉スタンダード : 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
- 👉ダイナミック : 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

手ブレ補正を設定する

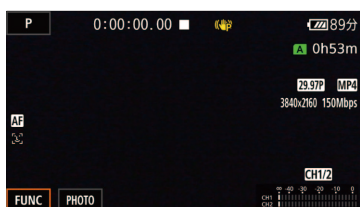


1 手ブレ補正を選ぶ

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「手ブレ補正」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。
- ③ ✕を選ぶ。

望遠撮影時の大きな手ブレを抑える（パワードIS）

パワードISを使うと、静止して望遠撮影するときの大きな手ブレを抑えることができます。補正効果は、ズームを望遠側にすると大きくなります。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向きません。初期設定では、アサインボタン2 (13) に「POWERED IS」が割り当てられていますので、パワードISを使うときは、このボタンを押して操作します。



1 手ブレ補正を選ぶ

- ① POWERED ISボタンを押し続ける。
 - 押している間、画面に👉が出る。

MEMO

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、POWERED ISボタン (13) の操作によりパワードISは有効になります。
- POWERED ISボタンの操作のしかたは、4 カメラ設定メニュー ▶ 「パワードISボタン」で選べます (157)。
- パワードISは、電源スイッチを操作するとOFFになります。

「ダイナミック」について

- 手ブレ補正を「ダイナミック」以外にしていると、撮影画角が異なる。
- 大きな手ブレを補正すると、画像の周辺の画質が劣化（ゴースト、ひずみ、暗くなるなど）することがある。

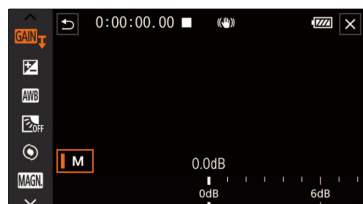
ゲインリミットを設定する

CAMERA MEDIA

露出を自動調整に設定して暗い被写体を撮影すると、被写体を明るく撮影するために自動でゲインが上がります。このゲインの上限 (AGC*リミット)を設定することにより、ノイズの上昇を抑えた撮影ができたり、暗い雰囲気を残したままの撮影ができたりします。撮影モード (74) が、**P**、**Av**、**Tv**のときに使用できます。

* Auto Gain Control

動画形式 MP4 XF-AVC カメラモード AUTO M



1 AGCリミットを選ぶ

[FUNC] > [GAIN] (AGCリミット) > **M**を選ぶ。

- メーターが表示される。

AGCリミットを解除するとき

もう一度**M**を選ぶ。

2 ゲインの上限を選ぶ

- ① メーターを左右にドラッグしてゲインの上限を選ぶ。
 - 値は、0.0dB ~ 38.0dBの範囲で設定できる。
 - ルック (85) が「Wide DR」のとき、またはカスタムピクチャー (114) のガンマがWide DRかCanon Log 3のときは、下限値が9.0dBに設定される。
 - 数値を小さくする程、ゲインの上限が低くなる。
- ② **X**を選ぶ。
 - [GAIN] と設定値 (dB) が画面に表示される。

MEMO

AGCリミットが使用できない場合

- AEロック中のとき (79)。
- 赤外撮影がONのとき (103)。
- システム設定メニュー > 「CUSTOMダイヤル&ボタン」に [GAIN] (AGCリミット) を割り当てると、CUSTOMボタンでAGCリミットのON / OFFを変更でき、CUSTOM (カスタム) ダイヤルでAGCリミット値を調整できます (110)。

撮影モードを選ぶ

CAMERA MEDIA

カメラモードが**M**(マニュアル)モード(□ 29)のときは、露出の制御方法(撮影モード)を選択できます。選んだ撮影モードに応じて、絞り、シャッタースピード、ゲインそれぞれの動作方法(オートまたはマニュアル)が決まります。いずれかがオートのときは、明るさが適正になるように露出が自動的に調整されます。露出の調整のしかたは撮影モードによって異なり、スポーツやビーチ、夕焼けなど、撮影するシーンに応じた撮影モードが用意されています。赤外線撮影(□ 103)がONのときは使用できません。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M



1 撮影モードの選択画面を出す

- ① P(撮影モード)を選ぶ。



2 撮影モードを選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ Xを選ぶ。

選択可能な撮影モード

基本となる撮影モード

これらの撮影モードの詳細については、「明るさを調整する」(□ 76)をご覧ください。

撮影モード	内容	□
P (プログラムAE)	絞り、シャッタースピード、ゲインがすべてオート調整	77
Tv (シャッター優先AE)	シャッタースピードがマニュアル調整。 絞りとゲインがオート調整	77
Av (絞り優先AE)	絞りがマニュアル調整。 シャッタースピードとゲインがオート調整	77
M (マニュアル露出)	絞り、シャッタースピード、ゲインがすべてマニュアル調整	76

オート エクスポージャー タイム バリュース アパーチャ バリュース
AEはAuto Exposure(自動露出)、TvはTime value(時間量)、AvはAperture value(開口量)の略です。

撮影するシーンに合わせた調整を行う撮影モード

👤 ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



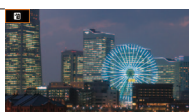
🏃 スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



🌃 夜景

夜景をきれいに撮る。



❄️ スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



🏖️ ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



🌅 夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



💡 ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



🎯 スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



🎆 打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。



MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
 - 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
 - 画面に白い点などが出る場合があります。
 - 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（📖 53）。
- 「ローライト」や「打上げ花火」を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

明るさを調整する

CAMERA MEDIA

絞り、シャッタースピード、ゲインをすべてオートで調整するか、一部をマニュアルで調整するか、すべてマニュアルで調整するかを、撮影モードで選択できます。撮影環境や被写体に応じて、露出調整が可能です。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

M(マニュアル露出)で調整する

撮影モードを「マニュアル露出」にすると、絞り、シャッタースピード、ゲインを手動で調整できます。

設定可能な値

調整項目	設定値
絞り*1	F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.5、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11
シャッタースピード*2	1/6*3、1/8、1/9、1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000
ゲイン	0.0dB*4 ～ 39.0dB(1dB刻み)

*1 設定可能な値はズーム位置によって異なる(ワイド端:F2.8～F11、テレ端:F4.5～F11) また、画面上は目安の絞り値が表示される。

*2 スロー&ファストモーション記録の場合、設定できる値は記録速度によって変わる。

*3 「フレームレート」が「23.98P」時のみ。

*4 「ルック」が「Wide DR」のとき、またはカスタムピクチャーのガンマがBT.709 Wide DRかCanon Log 3のときは、下限値が9.0dBに設定されます。



- ① 撮影モードを**M**(マニュアル露出)に設定する(74)。
- ② **FUNC** ▶ **IRIS** (絞り)、**SHTR** (シャッタースピード)、**GAIN** (ゲイン)のいずれかを選ぶ。
 - メーターが出る。
- ③ メーターを左右にドラッグして値を調整する。
 - からゼブラパターンを表示することもできる(81)。
- ④ 必要に応じて、②～③を繰り返して他の調整値を設定する。
- ⑤ **X**を選ぶ。

MEMO

- CUSTOMダイヤル&ボタンに「**EXP** (IRIS / SHTR / GAIN)」を割り当てると、CUSTOM(カスタム)ボタンで調整項目(絞り、シャッタースピード、ゲイン)を切り換え、CUSTOM(カスタム)ダイヤルで選んだ項目の数値を調整できます(110)。

露出バー



撮影モードが**M**(マニュアル露出)のときは、画面に露出バー*が表示され、現在の露出位置を指標で確認できます。

* 1/2段の刻み幅で-2段～+2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

一時的にオートで絞りを調整する（プッシュオートアイリス）

「プッシュオートアイリス」を割り当てたアサインボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

1 アサインボタンに「プッシュオートアイリス」を割り当てる（□ 111）

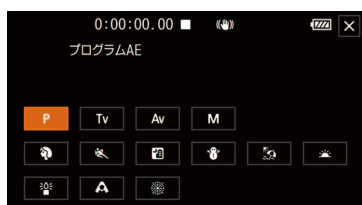
2 アサインボタンを押し続ける

- ボタンを押し続けている間、適正露出になるように絞りが自動的に調整される。画面の絞り値の左に **A** が表示され、調整にともなって画面の絞り値が更新される。
- ボタンを離すと絞りの自動調整が終了し、絞り値が固定される。絞り値の左の **A** は消える。

■ オート（AE）で調整する

P（プログラムAE）で調整する

明るさが適正になるように、絞り、シャッタースピード、ゲインを常にオートで調整します。



- ① 撮影モードを **P**（プログラムAE）に設定する（□ 74）。

Tv（シャッター優先AE）で調整する

シャッタースピードをマニュアルで調整し、絞りとゲインはオートで調整します。シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。



- ① 撮影モードを **Tv**（シャッター優先AE）に設定する（□ 74）。
- ② **[FUNC]** ▶ **SHTR**（シャッタースピード）を選ぶ。
 - メーターが出る。
- ③ メーターを左右にドラッグしてシャッタースピードを調整する。
 - 参考 ▶ 「**M**（マニュアル露出）で調整する」（□ 76）の「設定可能な値」
 - **[ZOOM]** からゼブラパターンを表示することもできる（□ 81）。
- ④ **[X]** を選ぶ。

Av (絞り優先AE)で調整する

絞りをマニュアルで調整し、シャッタースピードとゲインはオートで調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。



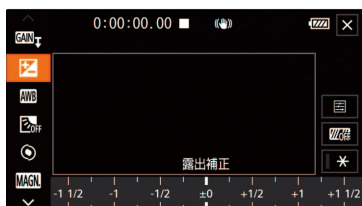
- ① 撮影モードを **Av** (絞り優先AE) に設定する (74)。
- ② **FUNC** ▶ **IRIS** (絞り) を選ぶ。
 - メーターが出る。
- ③ メーターを左右にドラッグして絞りを調整する。
参考 ▶ **M** (マニュアル露出) で調整する (76) の「設定可能な値」
 - 画面からゼブラパターンを表示することもできる (81)。
- ④ **X** を選ぶ。

MEMO

- CUSTOMダイヤル&ボタンに「**EXP** (IRIS / SHTR / GAIN)」を割り当てると、CUSTOM (カスタム) ダイヤルでシャッタースピードまたは絞りを調整できます (110)。
- 被写体の明るさによっては、適正な露出に調整できず、画面上のシャッタースピードや絞り値が点滅することがあります。そのときは、シャッタースピードや絞り値を調整してください。

タッチした被写体に露出を合わせる (タッチ露出)

画面上でタッチした被写体に自動的に露出を合わせます。画面の中の明るい部分 (ハイライト) にタッチして、その部分の出力輝度レベルが100%になるように自動調整することもできます (ハイライトAE)。調整後は露出を固定します。撮影モード (74) が **M** (マニュアル露出) と Ȧ (打上げ花火) のときは使用できません。



1 タッチ露出のタイプを選ぶ

- ① **FUNC** ▶ **☑** (露出補正) ▶ **☑** を選ぶ。
- ② 「ノーマル」または「ハイライト」を選ぶ ▶ **☑** を選ぶ。

2 露出を調整する

- ① 画面上の露出を合わせたい被写体をタッチする。
 - タッチした場所に $\star$ が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
 - 画面の枠内に ± 0 (露出補正值)と $\star$ (AEロック)が出て、 $\star$ ボタンがONになる。
- ② 必要に応じて、メーターを左右にドラッグして、さらに補正する。
 - 露出固定時は、 ± 3 段、1/4段刻みで補正できる。

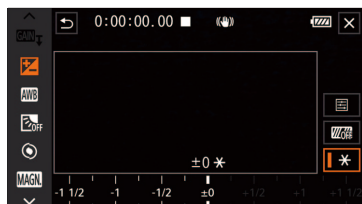
露出の固定を解除するとき

$\star$ ボタンを押す。

- ③ $\times$ を選ぶ。
 - 画面に露出補正值と $\star$ が出る。

露出を固定する (AEロック)

オート (AE) で露出調整を行っているときに、現在の露出で固定します。撮影モード (74) が **M** (マニュアル露出) と $\star$ (打上げ花火) のときは使用できません。



1 露出を固定する

- ① **FUNC** > $\star$ (露出補正) > $\star$ (AEロック) を選ぶ。
 - 露出が現在の設定で固定される。
 - 画面の枠内に ± 0 (露出補正值)と $\star$ (AEロック)が出て、 $\star$ ボタンがONになる。

露出の固定を解除するとき

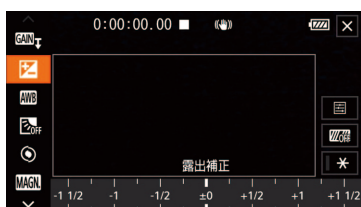
再度、 $\star$ ボタンを押す。

2 必要に応じて、露出を調整する

- ① メーターを左右にドラッグして補正する。
 - 露出固定時は、 ± 3 段、1/4段刻みで補正できる。
 - 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
- ② $\times$ を選ぶ。
 - 画面に露出補正值と $\star$ が出る。

AE時の露出を補正する

自動的に決められる露出を意図的に補正して、明るめや暗めに撮影できます。撮影モード(74)が**P**、**Tv**または**Av**のときに使用できます。



- ① **FUNC** ▶ (露出補正)を選ぶ。
- ② 露出が固定されているとき を押してAEロックを解除する。
- ③ メーターを左右にドラッグして値を選ぶ。
 - 画面の枠内に「AE」と露出補正值が出る。
 - AE中は、±2段、1/4段刻みで補正できる。
- ④ を選ぶ。
 - 画面に「AE」と露出補正值が出る。

MEMO

- 赤外撮影がONの場合、露出補正は行えません。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに「 (露出補正)」を割り当てると、CUSTOM (カスタム) ボタンでAEロックのON / OFFを、CUSTOM(カスタム)ダイヤルで露出値を調整できます(110)。

露出の固定が解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチ、INFRARED切り換えスイッチを操作したとき。
- 撮影モードを変更したとき。
- 解像度、フレームレート、ルックを変更したとき。
- カスタムピクチャーの有効／無効やGamma/Color Spaceを切り換えたとき。

強制逆光補正

逆光の被写体を撮影するとき、逆光補正を使うと、映像全体、特に暗い部分を明るく撮影することができます。



- ① **FUNC** ▶ (強制逆光補正)を選ぶ。
- ② を選ぶ ▶ を選ぶ。
 - 逆光に適した露出調整を行う。

MEMO

- カメラ設定メニュー ▶ 「自動逆光補正」で、自動的に逆光を検出して補正することもできます (156)。「ルック」が「ニュートラル」または「Wide DR」のときや、カスタムピクチャーが有効のときは設定できません。
- 「ルック」が「Wide DR」でかつAEロック中のときは、強制逆光補正の入/切を切り換えることはできません。
- アサインボタンに「強制逆光補正」を割り当てると、アサインボタンを押して「強制逆光補正」の入/切を切り換えられます (111)。

強制逆光補正が使用できない場合

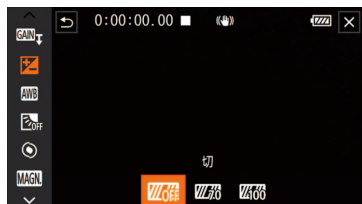
- 撮影モードが (打上げ花火) のとき。
- ルックが「Wide DR」か、またはカスタムピクチャーのガンマがWide DR、Canon Log 3、EOS Std.のときに、次の設定にしたとき。
 - 撮影モードを **M** (マニュアル露出) にするか、露出を固定した。
- 赤外線撮影がONのとき。

強制逆光補正が解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチ、INFRARED切り換えスイッチを操作したとき。
- 撮影モードを変更したとき。
- フレームレート、動画形式、ルックを変更したとき。
- カスタムピクチャーの有効／無効やGamma/Color Spaceを切り換えたとき。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。



- ① **FUNC** ▶ IRIS (絞り)、SHTR (シャッタースピード)、**GAIN** (ゲイン)、**露出補正** (露出補正) のいずれかを選ぶ。
- ② **ZEBRA** を選ぶ。
- ③ いずれかを選ぶ ▶ **70%** または **100%** を選ぶ。
 - 映像上の露出オーバーの部分にゼブラパターンが表示される。

MEMO

- ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。
- アサインボタンに「ゼブラ 70%」または「ゼブラ 100%」を割り当てると、アサインボタンを押して、それぞれのゼブラとOFFを切り換えられます (111)。

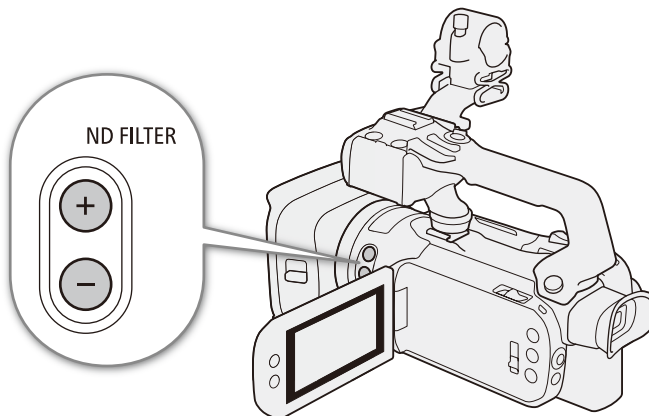
NDフィルターを切り換える

CAMERA

MEDIA

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは3段階から選択できます。

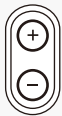
* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。



動画形式 MP4 XF-AVC

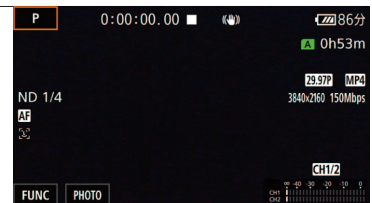
カメラモード AUTO M

ND FILTER



1 NDフィルターを切り換える

- ① ND FILTER (NDフィルター) 切り換え+ボタンを押す。
 - +ボタンを押すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（-ボタンは逆順）。
OFF → 1/4 → 1/16 → 1/64 → OFF
- ② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。
 - 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。



MEMO

NDフィルターの警告表示について

次のときは、NDフィルターの設定が適切でないため、画面のND表示*が点滅します。

- ゲインが上昇している。
- アイリスが絞り込み過ぎている。

NDフィルターを切り換えて点滅しない状態にすると、上の状況を緩和できます。

* リモートコントローラー RC-V100(別売)の装着時は、RC-V100のNDフィルターランプが点滅します。

- シーンによっては、NDフィルターを入/切すると、わずかに発色が変わることがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です (□ 83)。

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能（本機のND FILTER切り換え+ボタンと同じ動作）。
- RC-V100のNDフィルターランプは、1/4、1/16、1/64選択時はランプの1、2、3がそれぞれ点灯し、切のときはOFFが点灯します。

色合いを調整する

CAMERA MEDIA

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。ホワイトバランスの調整方法は次の5種類があります。撮影モード (74) が **P**、**Tv**、**Av**、**M** のときに調整できます。

AWB オート	通常は AWB (オート)* を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
K 色温度	2000K ~ 15000K の範囲で色温度を設定する。
セット1 セット2	実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

* オート ホワイト バランス
AWBはAuto White Balanceの略です。

撮
影

動画形式 **MP4 XF-AVC** カメラモード **AUTO M**



1 調整方法を選ぶ

- ① **FUNC** > **AWB** (ホワイトバランス) を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。
 - 撮影する環境に合わせて目的の調整方法を選ぶ。



2 **K** (色温度) を選んだとき 色温度を調整する

- ① を選ぶ > メーターを左右にドラッグして調整する。



3 (セット1) または (セット2) を選んだとき 基準白色を取り込む

- ① グレーカードや白い無地の被写体を画面の枠内に写す。
- ② (白取り込み) を押す。
 - 枠内に が点滅 → 消灯に変わったら調整完了。
 - 調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

4 を選ぶ

MEMO

- (セット1) または (セット2) を選んで調整するとき
 - デジタルズームのズーム領域で調整しないでください。
 - 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
 - 光源によっては、ごくまれに が速い点滅 → 点灯に変わらない (速い点滅から遅い点滅に変わる) ことがあります。その場合は、被写体の明るさを変えて、再度ホワイトバランスセットの調整を行ってください。
 - アサインボタンに「WB白取り込み」を割り当てると、アサインボタンを押して基準白色の取り込みを開始できます (111)。

AWB (オート) でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば、 (セット1) または  (セット2) で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
 - クローズアップ撮影。
 - 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
 - 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。
- 赤外撮影がONのときは使用できません。
 - 良く使う調整方法を  カメラ設定メニュー ▶ 「優先WB登録」で設定しておけば、「優先WB」を割り当てたアサインボタンを押して、切り換えることができます。

好みの画質にする（ルック）

CAMERA MEDIA

ルックの設定や、色の濃さ、シャープネス、コントラストを調整して撮影することができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに設定できます。

カスタムピクチャーを使用して、画質の調整を本格的に行うこともできます（[Q 114](#)）。

選択可能なルック

★1 スタンダード	動画の基準画質設定です
★2 ニュートラル	業務機用の映像表現で自然な解像感に最適化した画質設定です
★3 Wide DR	広いラチチュードを持つガンマとガンマに合わせた色再現です
★4 モノクロ	白黒になります

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

1 カスタムピクチャーを無効にする

- ① **5**カメラ設定メニュー ▶ **CP**機能 ▶ **OFF**（切）を選ぶ。

2 ルックを選んで調整する

- ① **FUNC** ▶ ★1（ルック）を選ぶ。
 ② いずれかのルックを選ぶ。
 ● **田**を選ぶと、詳細設定が可能。いずれかの項目の「+」または「-」を押して調整する。



設定項目	設定値	内容
シャープネス	0 ～ 7	輪郭強調の強さを調整する。 0：控えめ 7：強め
コントラスト*1	-4 ～ +4	明暗差を調整する。 -4：明暗差・弱 +4：明暗差・強
色の濃さ*2	-4 ～ +4	色の濃さを調整する。 -4：薄い +4：濃い

*1 Wide DRのときは設定できません。

*2 モノクロのときは設定できません。

3 ×を選ぶ

MEMO

- 「Wide DR」設定時、最低感度は9dBのため、晴れた日の屋外などでは適正な露出に制御出来ず、被写体が明るく撮影されることがあります。
- 赤外線撮影がONのときと、カスタムピクチャーが有効のときは使用できません。

タイムコードを設定する

CAMERA MEDIA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、SDI OUT端子（**XA75**）やHDMI OUT端子に出力できます。HDMI OUT端子へのタイムコード出力は、メニューで入／切できます（ 158）。ドロップフレームとノンドロップフレームを選択することもできます。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**

■ カウントアップ方式を選ぶ

タイムコードモード	タイムコードラン	内容
Preset (プリセット)	Rec Run(レックラン)	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。カードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run(フリーラン)	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen. (リジェネ)	—	タイムコードは記録時に歩進する。カードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。カードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。



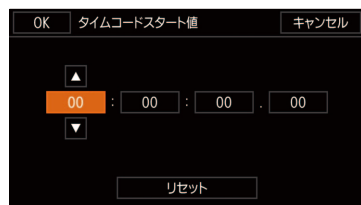
1 タイムコードモードを選ぶ

- ①  記録設定メニュー ▶ 「タイムコードモード」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶  を選ぶ。
 - 「Regen.」を選んだときは、**×**を選んで終了する。



2 「Preset」を選んだ場合 タイムコードランを選ぶ

- ①  記録設定メニュー ▶ 「タイムコードラン」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶  を選ぶ。



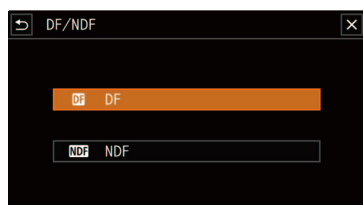
3 タイムコードスタート値を設定する

- ①  記録設定メニュー ▶ 「タイムコードスタート値」を選ぶ。
 - 初期値の設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- ② ▲/▼を押して数値を選ぶ。
 - 「リセット」を押すと、1つ前の画面に戻り、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「OK」を押す。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

4 **×**を選ぶ

■ ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えられます。なお、「フレームレート」が「23.98P」のときはNDFに固定され、メニューでDFまたはNDFを選ぶことはできません。



1 DFまたはNDFを選ぶ

- ① ④ 記録設定メニュー ▶ 「DF/NDF」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。

DFのとき 00:00:00.00

NDFのとき 00:00:00:00

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、「フレームレート」が「23.98P」のときは0～23、それ以外は0～29となります。
- スロー＆ファストモーション記録モードのときは「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- スロー＆ファストモーション記録モードのときは、SDI OUT端子 (**XA75**) またはHDMI OUT端子にタイムコードを出力できません。
- 内蔵の充電式電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

■ タイムコードや日付を映像上に表示して記録する

タイムコードや日付、時刻を映像上に重畳して記録します。表示位置を指定できます (④ 159)。映像に重畳して記録中の日付と時刻を画面に表示することもできます。

- ① 映像に重畳する項目を選ぶ。
 - ④ 記録設定メニュー ▶ 「表示文字記録」 ▶ いずれかを選ぶ。
- ② 映像に重畳する位置を選ぶ。
 - ④ 記録設定メニュー ▶ 「表示文字記録位置」 ▶ いずれかを選ぶ。
 - 設定されると **OSD REC** が表示される。
- ③ 必要に応じて、映像に重畳して記録中の日付と時刻を画面に表示する。
 - ④ 記録設定メニュー ▶ 「記録日時表示」 ▶ 「ON (入)」を選ぶ。

MEMO

- 映像のノイズが増加することがあります。
- 記録される静止画には影響しません。
- カスタムピクチャーを有効にしているときは、**CP** カスタムピクチャー ▶ 「Noise Reduction」 ▶ 「Frame Correlation」は設定できません。
- スロー＆ファストモーション記録モードのときは使用できません。
- メディアモードでは使用できません。

ユーザービットを設定する

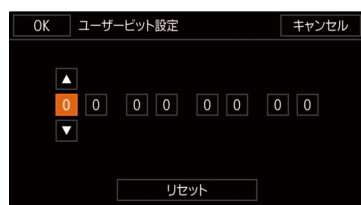
CAMERA MEDIA

8桁の16進数 (0～9、A～Fの英数字) をユーザービットとして設定し、SDI OUT端子 (XA75) やHDMI OUT端子に出力できます。XF-AVC動画の場合は、映像と一緒に記録できます。ユーザービットには撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付 (年月日) をユーザービットとして出力することもできます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

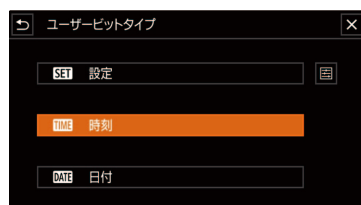
■ 任意の16進数を設定する



1 16進数を設定する

- ① 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービットタイプ」 ▶ 「SET 設定」 ▶ [目] を選ぶ。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- ② 変更したい桁を押したあと、▲/▼を押して数値を選ぶ。
 - 「リセット」を押すと、1つ前の画面に戻り、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ③ ②の操作を繰り返して、残りの桁の数値を選ぶ ▶ 「OK」 ▶ ✕ を選ぶ。

■ 時刻または日付を設定する



1 「時刻」または「日付」を選ぶ

- ① 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービットタイプ」を選ぶ。
- ② 「TIME 時刻」または「DATE 日付」を選ぶ ▶ ✕ を選ぶ。

MP4動画の音声記録形式を選ぶ

音声の記録形式を、リニアPCM記録方式（4ch、16ビット）とAAC記録方式（2ch、16ビット）から選択できます。解像度（ 50）が「1280x720 (8 Mbps)」のときは、AAC記録方式のみのため、音声記録形式は選択できません。

動画形式 **MP4** XF-AVC

カメラモード **AUTO** M



- ①  1 記録設定メニュー ▶ 「**MP4** オーディオ形式」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

MEMO

- 汎用性を優先するときはAAC記録方式を、音質を優先するときはリニアPCM記録方式を使用してください。

■ 記録音声と必要な設定

CH1 ～ CH4の各チャンネルに記録される入力音声は、ハンドルユニット装着の有無、メニュー設定、AUDIO IN切り換えスイッチ、MIC(マイク)端子への外部マイクの接続有無から決まります。

ハンドル ユニットの 装着	MIC端子の 接続	AUDIO IN切り換え スイッチ		メニュー設定		入力音声と記録音声			
		CH1	CH2	「CH2入力」 *2	「CH3/CH4 入力」 *1*3	CH1	CH2	CH3*1	CH4*1
有	—	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 2	INPUT端子	INPUT 1端子	INPUT 2端子	INPUT 1端子	INPUT 2端子
	—	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 1	INPUT端子	INPUT 1端子	INPUT 1端子	INPUT 1端子	INPUT 2端子
	有	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 2	内蔵マイク/ MIC端子	INPUT 1端子	INPUT 2端子	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)
	有	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 1	内蔵マイク/ MIC端子	INPUT 1端子	INPUT 1端子	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)
	有	INPUT 1	INT.MIC/ MIC	—	—	INPUT 1端子	MIC端子 (モノラル)	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)
	有	INT.MIC/ MIC	INPUT 2	—	—	MIC端子 (モノラル)	INPUT 2端子	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)
	無	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 2	内蔵マイク/ MIC端子	INPUT 1端子	INPUT 2端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	無	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 1	内蔵マイク/ MIC端子	INPUT 1端子	INPUT 1端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	無	INPUT 1	INT.MIC/ MIC	—	—	INPUT 1端子	内蔵マイク (モノラル)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	無	INT.MIC/ MIC	INPUT 2	—	—	内蔵マイク (モノラル)	INPUT 2端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	有	INT.MIC/ MIC	INT.MIC/ MIC	—	—	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	無	INT.MIC/ MIC	INT.MIC/ MIC	—	—	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
無	有	—	—	—	—	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	無	—	—	—	—	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)

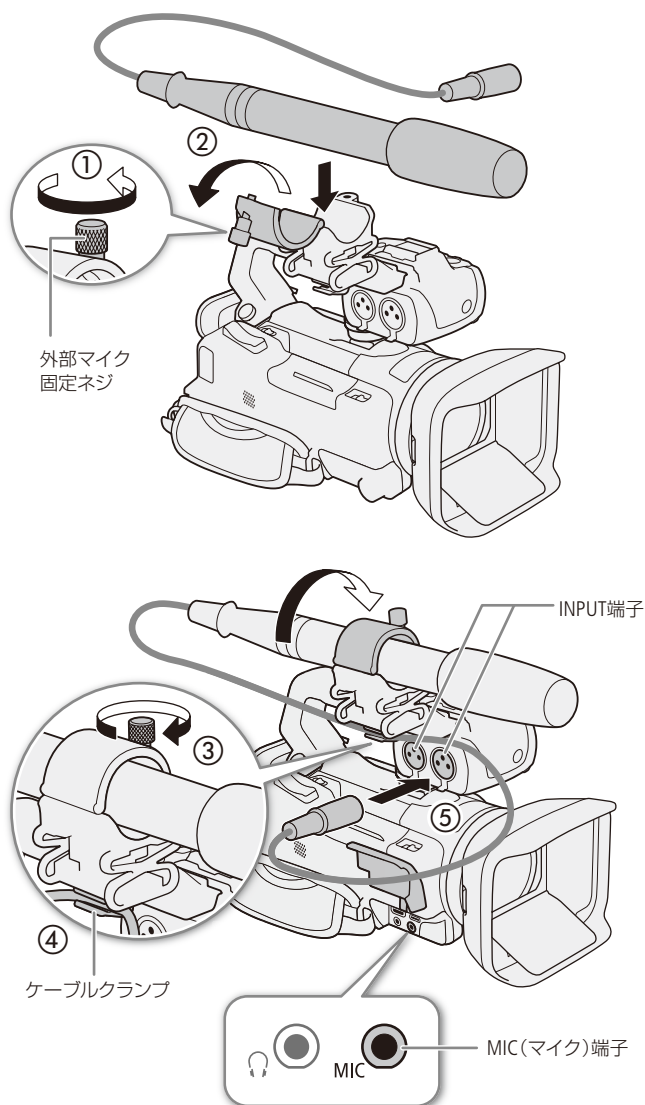
*1 MP4動画では  記録設定メニュー ▶ 「MP4オーディオ形式」が「LPCM 16bit 4CH」のときのみ (□ 90)。

*2  オーディオ設定メニュー ▶ 「CH2入力」の設定 (□ 93)。

*3  オーディオ設定メニュー ▶ 「CH3/CH4入力」の設定 (□ 94)。

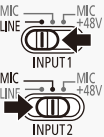
■ 外部マイク／外部ライン入力を本機に接続する

INPUT端子にはXLRコネクターの外部マイク／外部ライン入力機器を、MIC(マイク)端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクを接続できます。マイクホルダーやINPUT端子を使用するときは、ハンドルユニットを取り付けてください(☞ 23)。



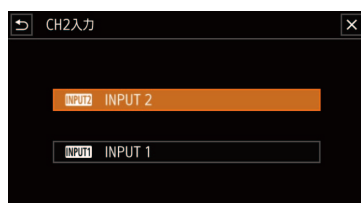
INPUT端子の音声を選択する

INPUT端子は、2つのチャンネルの音声入力をそれぞれ個別に選択できます。

	1 AUDIO IN切り換えスイッチをINPUT1 / INPUT2に切り換える
	2 INPUT端子切り換えスイッチのINPUT1 / INPUT2をLINE (ライン) またはMIC (マイク) にする ● ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC +48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするとときはマイクを接続してから行い、OFFにするとときは接続したまま行う。
	3 オーディオカバーを閉じる

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH2に録音する入力音声をINPUT1端子とINPUT2端子から選択できます。CH1にINPUT1端子の音声を記録し、CH2にINPUT1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。



- ① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「CH2入力」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。
 - INPUT2** INPUT2 : INPUT1 / INPUT2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
 - INPUT1** INPUT1 : INPUT1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT2端子の音声は録音されない。

CH3/CH4に記録する入力音声を選ぶ

4チャンネルの音声を記録するときは、CH3とCH4の入力音声を設定します。「記録音声と必要な設定」(91)を参考にし
て設定してください。



① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「CH3/CH4入力」を選ぶ。

② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

INPUT INPUT端子：INPUT端子の入力をCH3 / CH4として録音する。

INT/MIC 内蔵マイク / MIC端子：内蔵マイクまたはMIC端子の入力をCH3 / CH4として録音する。

内蔵マイク／外部マイク (MIC端子)を使う



1 ハンドルユニットを装着しているとき AUDIO IN切り換えスイッチをINT.MIC/MIC
に切り換える

2 外部マイクを使うとき MIC端子に外部マイクを接続する
● MIC端子にマイクを接続すると、内蔵マイクからMIC端子へ自動的に切り換わる。

3 オーディオカバーを閉じる

録音レベルを調整する

ハンドルユニットやFUNCメニューを使用して録音レベルを調整します。

オートで調整する



1 録音レベル切り換えスイッチをA(オート)にする
● 設定したチャンネルの録音レベルがオートになり、自動的に調整される。
● ハンドルユニットを取り付けていないときは、FUNCメニューで調整する (96)。

2 オーディオカバーを閉じる

INPUT端子またはMIC端子のCH1とCH2、CH3とCH4の録音レベル調整を連動／独立させる

INPUT 1/INPUT 2端子が同じ音声入力（外部ラインまたは外部マイク）に設定されている場合、INPUT1とINPUT2のレベル調整を連動させることができます。♪オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1/2 ALCリンク」(□ 160)で設定します。また、MIC端子からの音声入力設定されている場合、MIC端子の（L）と（R）のレベルを独立して調整することができます。♪オーディオ設定メニュー ▶ 「MIC ALCリンク」(□ 160)で設定します。

「INPUT 1/2 ALCリンク」「MIC ALCリンク」を「連動」に設定すると、INPUT端子（MIC端子）から入力される音声CH1/CH2に設定されているときは、CH1の録音レベル切り換えスイッチと録音レベル調整つまみでCH1/CH2の2チャンネルをまとめて調整できます。

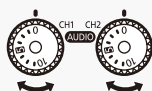
INPUT端子（MIC端子）から入力される音声CH3/CH4に設定されているときは、FUNCメニュー内でCH3/CH4の2チャンネルをまとめて調整できます（□ 96）。

マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は $-\infty \sim +18$ dBの範囲で行うことができます。ハンドルユニットを取り付けていないときは、FUNCメニューで調整します（□ 96）。



1 録音レベル切り換えスイッチをM(マニュアル)にする



2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみの $0(-\infty) \sim 5(0\text{dB}) \sim 10(+18\text{dB})$ の範囲で録音レベルを調整する。
- レベルメーターの表示が -18dB （ -20dB のひとつ右隣）より右が時々点灯する状態を目安に調整する。

3 オーディオカバーを閉じる

FUNCメニューで録音レベルを調整する

4チャンネルの音声を記録する場合、CH3 / CH4の録音レベルはFUNCメニューで調整します。ハンドルユニットを取り付けていないときは、CH1とCH2の録音レベルもFUNCメニューで設定します。



1 録音レベルを選ぶ

- ① **[FUNC]** ▶ **🎧** (オーディオ)を選ぶ。

2 必要に応じて調整するチャンネルを選ぶ

3 🎧A (オート)または🎧M (マニュアル)を選ぶ

- 🎧A (オート)を選んだときは操作5へ進む。
- 🎧M (マニュアル)を選んだときは、調整用の◀▶が表示される。

4 録音レベルを調整する

- ▶/▶を押して調整する。
- レベルメーターの表示が-18dB (-20dBのひとつ右隣)より右が時々点灯する状態を目安に調整する。

5 ✕を選ぶ

MEMO

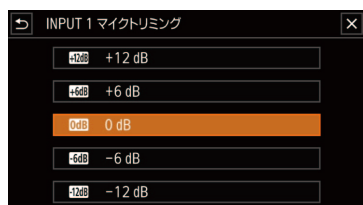
- 🎧オーディオ設定メニューの「CH2スイッチ&ダイヤル アサイン」(📖 160)を「CH3」にすると、録音レベル切り換えスイッチCH2と録音レベル調整つまみCH2でCH3を調整できます。
- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、INPUT端子に接続した機器ではメニューで「INPUT1 (2) マイクアッテネーター」を「入」にしてください (📖 97)。
- 録音レベルを調整したり、「INPUT1 (2) マイクアッテネーター」を「入」に設定したりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします (📖 100)。

音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。設定は、🎧オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1/2 リミッター」(📖 160)で行います。録音レベルをマニュアルで調整するとき、入力信号がひずみはじめるレベルになると自動的に信号レベルを制限してひずみを低減します。CH1 ~ CH4のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。

■ 外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

INPUT 1またはINPUT2の入力感度を調整します。INPUT1 / INPUT2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに、使用できます。



- ① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT1 マイクトリミング」または「INPUT2 マイクトリミング」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

■ 外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う

INPUT 1またはINPUT2の信号に対し、アッテネーター (20dB) を使用します。INPUT1 / INPUT2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに、使用できます。



- ① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT1 マイクアッテネーター」または「INPUT2 マイクアッテネーター」を選ぶ。
- ② 「**ON** 入」を選ぶ ▶ **X**を選ぶ。

■ 内蔵マイクの入力感度を選ぶ

内蔵マイク使用時、収録する音に合わせて感度を調整します。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイク感度」を選ぶ。
 - ② いずれかを選ぶ ▶ **X**を選ぶ。
- NORM** ノーマル 通常のレベルの音を録音するとき。
- HIGH** ハイ より大きな音量 (+6 dB) で録音するとき。

■ 内蔵マイクのアッテネーターを使う

内蔵マイク使用時、大音量の音声が生ずないように、内蔵マイクの信号に対しアッテネーター（20 dB）を使用します。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクアッテネーター」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **×**を選ぶ。

- ON 入** 常にアッテネーターが働き、音の強弱をより忠実に記録できる。
- OFF 切** 常にアッテネーターは働かない。

■ 内蔵マイクローカットを使う

内蔵マイク使用時、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクローカット」を選ぶ。
- ② 「**ON 入**」を選ぶ ▶ **×**を選ぶ。

■ 外部マイクにアッテネーターを使う

外部マイク使用時、MIC端子の信号に対し大音量の音声が生ずないように、アッテネーター（20 dB）を使用します。



- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「MICアッテネーター」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **×**を選ぶ。

- ON 入** 常にアッテネーターが働き、音の強弱をより忠実に記録できる。
- OFF 切** 常にアッテネーターは働かない。

■ MICローカットを使う

外部マイク使用時、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。



- ① 🎵3 オーディオ設定メニュー ▶ 「MICローカット」を選ぶ。
- ② 「ON 入」を選ぶ ▶ ✕を選ぶ。

ヘッドホンを使う

CAMERA MEDIA

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

ヘッドホンを○(ヘッドホン)端子に接続して、撮影／再生時の音声をヘッドホンでモニターできます(146)。



- ① 3 オーディオ設定メニュー ▶ 「ヘッドホン音量」を選ぶ。
- ② ○または○を押して調整する。
 - メーターを左右にドラッグしても調整できる。
- ③ Xを選ぶ。
 - 調整した位置で音量が固定される。

再生中にヘッドホン音量を調整する

CAMERA MEDIA



1 再生中 音量を調整する

- ① 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
- ② ○/○を選ぶ。
- ③ ヘッドホン音量の○または○を押して音量を調整する。

ご注意

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA

MEDIA

テレビや外部モニターの色や明るさの調整用に、カラーバーを出力／記録することができます。また同時に1kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**

	カラーバー	1 kHzテストトーン
HDMI OUT端子	●	●
XA75 SDI OUT端子	●	●
Ω(ヘッドホン)端子	—	●

撮
影

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠とARIB準拠のいずれかを選べます。



- ① ⑤ 記録設定メニュー ▶ 「カラーバー」を選ぶ。
- ② 「SMPTE」または「ARIB」を選ぶ。
 - 画面にカラーバーが表示される。
- ③ ✕を選ぶ。
 - RECボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。

MEMO

- 記録中に「SMPTE」と「ARIB」を変更することはできません。
- スロー & ファストモーション記録と同時に使用することはできません。
- カスタムピクチャーのガンマが Canon Log 3 のときは使用できません。

■ テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて、「-12dB」、「-18dB」、「-20dB」から選べます。



- ① ⑤ 記録設定メニュー ▶ 「1 kHz トーン」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ✕を選ぶ。
 - 選択したレベルのテストトーンが出力される。
 - RECボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

プレ記録を行う

CAMERA MEDIA

プレ記録モード (PRE REC) では、RECボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。初期設定では、アサインボタン3 (□ 11、111) に「PRE REC」が割り当てられていますので、PRE RECを使うときは、このボタンを押して操作します。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

PRE REC

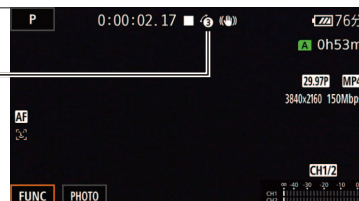


1 PRE RECボタンを押す

- ① 画面に  が出る。

解除するとき

もう一度PRE RECボタンを押す。



REC



2 REC(記録開始/停止)ボタンを押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

MEMO

- プレ記録の設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。
- スロー & ファストモーション記録と同時に使用することはできません。

プレ記録が解除される場合

- 電源スイッチ、カメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
- メニューを表示したとき。
- 撮影モード (□ 74)、ロック (□ 85) の設定を変更したとき。
- カードカバーを開けたとき。カードの空き容量がなくなったとき。

プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run(フリーラン)で記録される。
- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに設定される。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

赤外撮影 (INFRARED)を行う

CAMERA MEDIA

Infrared(赤外撮影)モードを使うと、通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも明るく撮影できます。また、ハンドルユニット装着時は、赤外ライトを使って、より明るく撮影できます。なお、赤外撮影色(高輝度部分色)は、白または緑から選択できます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

	1 INFRARED(赤外撮影)切り換えスイッチをONにする ● Infraredモードになり、画面に「IR」とONが表示される。	
	2 赤外撮影色を選ぶ ① 5 カメラ設定メニュー ▶ 「赤外撮影色」を選ぶ。 ② いずれかを選ぶ。	
	3 必要に応じて赤外ライトを点灯する ① 右矢印を選ぶ。 ② 5 カメラ設定メニュー ▶ 「赤外ライト」 ▶ 「ON 入」を選ぶ。	
	4 Xを選ぶ ● 赤外ライトが点灯し、画面にONが表示される(消灯時はOFF)。	

撮
影

ご注意

- 使用方法によっては、プライバシーおよび肖像権等の侵害ならびに法令違反となる行為に該当する場合があります。

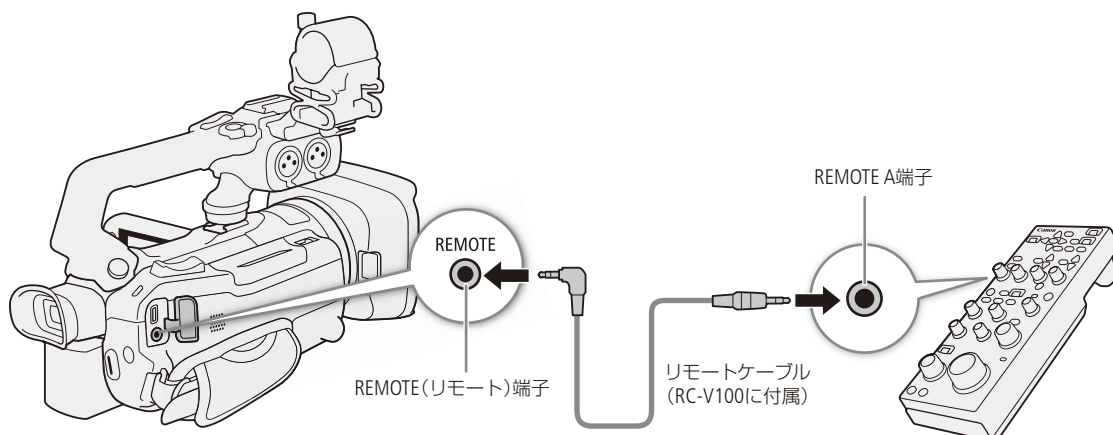
MEMO

Infraredモード中の設定

- 絞りは開放に固定、NDフィルターは回避状態で固定、シャッタースピードとゲインはオートになる。
- 露出補正はオート、AGCリミット、自動逆光補正、強制逆光補正、フェイスキャッチ&追尾はOFFに固定。
- フォーカスはInfraredモード移行時にAF*になり、AFモードは「連続」固定。距離表示は灰色表示となる。
* AF / MFの切り換えは可能。
- ホワイトバランスは赤外撮影用設定に固定。
- 撮影モード、ロックは設定不可。
- アサインボタンに「赤外ライト」を割り当てると、アサインボタンを押して「赤外ライト」の入／切を切り換えられます(111)。
- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。
- 赤外撮影時は近赤外光の感度を大幅にアップしているため、赤外撮影に切り換えるときには、強い光や熱源をレンズに向けないでください。強い光や熱源が被写体内にある状態で赤外撮影に切り換えるときは、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。

RC-V100でリモート撮影する CAMERA MEDIA

本機のREMOTE端子 (□ 12)にリモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、リモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッタースピードなどのカメラ設定ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**



1 電源スイッチをOFFにして、RC-V100を本機につなぐ



2 電源スイッチをCAMERAにする



3 RC-V100を有効にする

- ① システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」を選ぶ。
- ③ 「RC-V100 RC-V100 (REMOTE A)」 ▶ **X**を選ぶ。



MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

■ SHUTTER SELECTボタン

■ AGCボタン

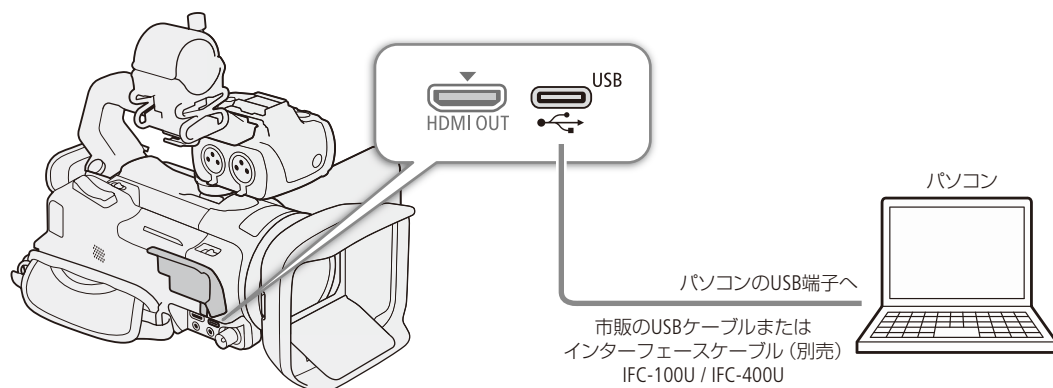
■ CANCELボタン

■ AUTO IRISボタン

Webカメラとして使用する

CAMERA MEDIA

本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、対応するアプリケーションのWebカメラとして使用できます。Webカメラとして使用するときは、動画のみ記録できます。対応OSや動作確認済みアプリケーションについては、キヤノンのホームページをご覧ください。パソコンやUSBケーブルの詳細については、それぞれの説明書をご覧ください。



映像の出力信号形式

記録信号形式		出力信号形式		映像フォーマット
動画形式	解像度	解像度	フレームレート	
XF-AVC	3840×2160	1920×1080	最大30 fps	Motion JPEG
MP4	1920×1080			
MP4	1280×720	1280×720		

- ① 映像の信号形式を選ぶ (📖 50)。
- ② 🗑️ システム設定メニュー ▶ 「USBモード」 ▶ 「映像出力(UVC)」を選ぶ。
- ③ 本機とパソコンをケーブルでつなぐ。
- ④ パソコン：対応アプリケーションを起動する。
 - 映像がアプリケーション上に表示される。
- ⑤ 接続を終了するときは、本機からUSBケーブルを抜く。

MEMO

- 音声は出力されません。
- 静止画記録と同時には使用できません。

GPSレシーバー GP-E2を使う

CAMERA MEDIA

本機のUSB端子（ 12）にGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続して撮影すると、MP4動画／XF-AVC動画のクリップまたは静止画にGPSから取得した位置情報（経度、緯度、標高。以下「GPS情報」）を記録できます。MP4動画または静止画には協定世界時（UTC）も記録されます。XF-AVC動画の場合、GPS情報はクリップのメタデータに記録され、Canon XF Utility（ 151）で検索に使用することもできます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます（ 132）。

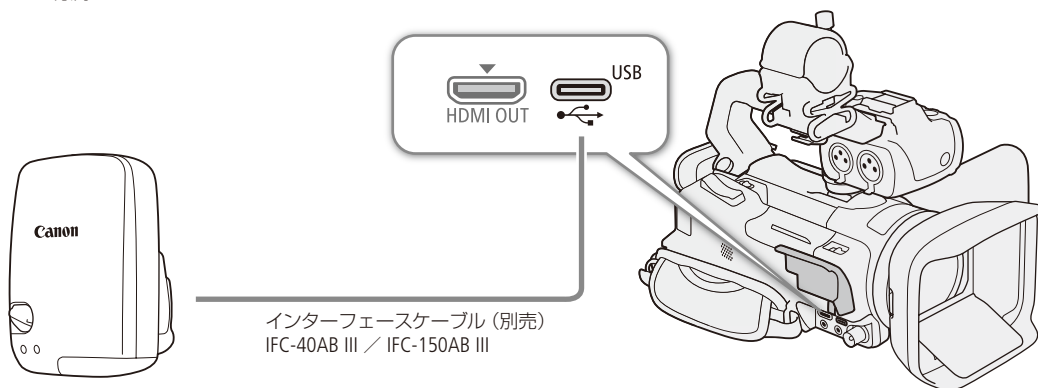
動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

■ GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、接続ケーブルを使って本機のUSB端子に接続します。撮影時は、携帯用ケース*に入れ、本機のグリップベルトまたは腰に取り付けて使用することをお勧めします。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。

* GP-E2に付属しています。



■ GPSを有効にする

- ①  システム設定メニュー ▶ 「USBモード」 ▶ 「GP-E2」を選ぶ。
- ②  GP-E2 電源を入れる。
 - GPS機能が有効になる。画面にが点滅表示されGPS衛星を探索する。
 - 衛星を捕捉するとが点灯し、以降に記録するクリップ／静止画にGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



- ①  システム設定メニュー ▶ 「GPS自動時刻設定」を選ぶ。
- ② 「ON 自動更新」 ▶  を選ぶ。
 - 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
 - GPS自動時刻設定が有効のときは システム設定メニュー ▶ 「日付/時刻」を変更できません。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- 動画撮影中は、時刻設定を行いません。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。
- SDI OUT端子 (**XA75**) またはHDMI OUT端子に接続したケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。GPS情報に影響することがあります。
- GPSレシーバーは、電池を交換したり、電源を長時間切ったりすると、GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
 - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
 - 「位置情報の更新間隔」
 - 「電子コンパス」(方位情報)

4 カスタマイズ

よく使う機能を設定する 110

アサインボタンの
機能を変更する 111

カスタムピクチャーを使用する ... 114

設定データの保存と読み込み 124

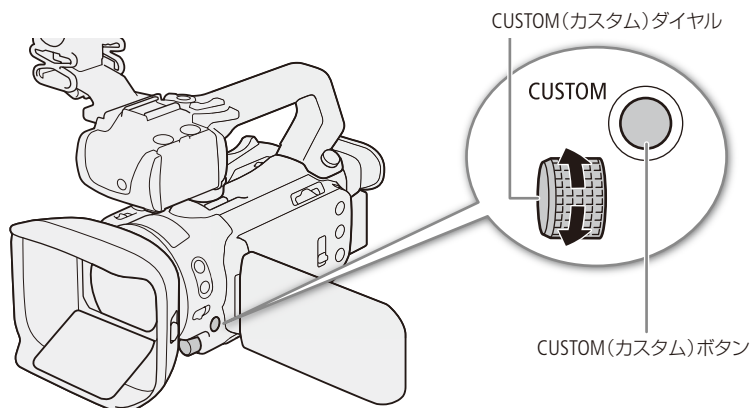
よく使う機能を設定する CAMERA MEDIA

CUSTOMダイヤル&ボタン

CUSTOM (カスタム) ボタンとCUSTOM (カスタム) ダイアルに良く使う機能を割り当てておくと、CUSTOM ボタンとCUSTOMダイヤルを操作して、割り当てた機能の調整を行うことができます。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**



割り当て可能な機能と操作

機能	CUSTOMボタン	CUSTOMダイヤル
EXP IRIS / SHTR / GAIN	撮影モードが M の場合： 絞り値、シャッタースピード、ゲインを切り換える。	撮影モードが Tv または Av の場合： シャッタースピード／絞り値を調整する。 撮影モードが M の場合： CUSTOMボタンで選んだ項目の値を調整する。
GAIN AGCリミット	AGCリミットのON/OFFを切り換える。	AGCリミットがONのとき、AGCリミット値を調整する。
☒ 露出補正	AEロックのON/OFFを切り換える。	露出補正值を調整する。

CUSTOM



1 長押しする

- ① CUSTOMボタンを長押しする（約1秒）。

CUSTOM



2 機能を選ぶ

- ① CUSTOMダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。
- ② CUSTOMボタンを押す。



設定した機能を解除するとき

- ①で**OFF**を選択する。

CUSTOM



3 機能を調整する

- CUSTOMボタンとCUSTOMダイヤルを操作して、操作2で割り当てた機能を調整する。
- CUSTOMダイヤルの調整対象になっている値は、画面上ではオレンジ色で表示される。

MEMO

- システム設定メニュー ▶ 「CUSTOMダイヤル&ボタン」で機能を割り当てることもできます。

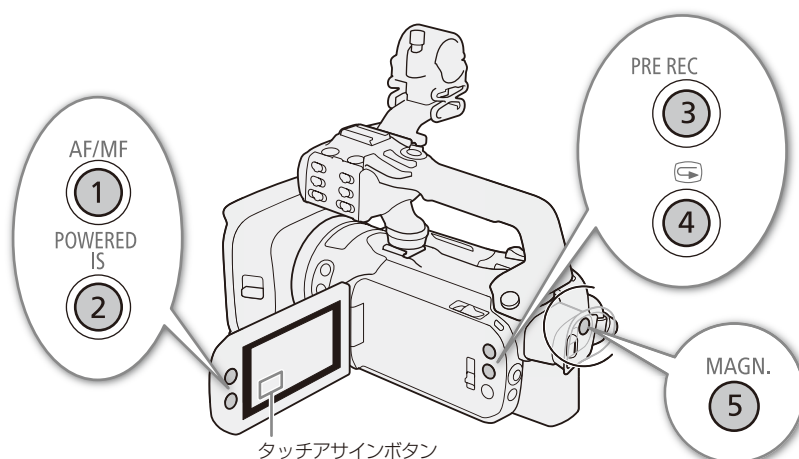
アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA

カメラ本体に5個のアサインボタンと、画面のタッチ操作で行うタッチアサインボタンがあり、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M



アサインボタンの番号やボタン名、初期設定は次のとおりです。

ボタン名	初期設定
アサインボタン1	AF/MF AF/MF
アサインボタン2	POWERD IS パワードIS
アサインボタン3	PRE REC プレREC
アサインボタン4	RECRVIEW レックレビュー
アサインボタン5	MAGN. 拡大表示
タッチアサインボタン	PHOTO Photo

アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

機能名	内容
2.0x デジタルテレコン	デジタルテレコンのON / OFFを切り換える。メニューの「デジタルズーム」(P.156)で「デジタルテレコン」を選択時のみ使用可能。
AF/MF AF/MF	AF(オートフォーカス)とMF(マニュアルフォーカス)を切り換える。
AF AF枠サイズ	AF枠サイズの設定を順に切り換える。
FACE フェイスオンリー AF	フェイスオンリー AFのON / OFFを切り換える。
MAGN. 拡大表示	拡大表示のON / OFFを切り換える。
PEAK ピーキング	ピーキングのON / OFFを切り換える。
AUTO IRIS プッシュオートアイリス*1	プッシュオートアイリスを実行する。
70% ゼブラ70%	ゼブラ70% / OFFを切り換える。
100% ゼブラ100%	ゼブラ100% / OFFを切り換える。
FOCUS フォーカスガイド	フォーカスガイドのON / OFFを切り換える。
AS 強制逆光補正	強制逆光補正のON / OFFを切り換える。
POWERD IS パワードIS	パワードISのON / OFFを切り換える。

機能名	内容
WB ホワイトバランス	ホワイトバランスの調整方法を順に切り換える。
WB白取り込み*1	ホワイトバランスの基準白色の取り込みを実行する。
★WB 優先WB	優先ホワイトバランスのON / OFFを切り換える。 長押しすると優先WB登録画面を表示する（アサインボタンのみ）。
赤外ライト*2	Infraredモードのときに、赤外ライトのON / OFFを切り換える。
プレ REC	プレ記録のON / OFFを切り換える。
S&F Slow & Fastモーション	Slow & Fastモーション画面を表示する。
REC REVIEW レックレビュー	直前に撮ったクリップを再生する。
PHOTO Photo	静止画を記録する。
CH/CH モニターチャンネル	⌚（ヘッドホン）端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。 押すたびに出力チャンネルが切り換わる。
マーカー	「マーカー表示」で設定しているマーカーのON / OFFを切り換える。
MENU メニュー	メニューを表示／消去する。
CP Custom Picture	カスタムピクチャーの詳細設定画面を表示する。
REC REC*3	撮影を開始／停止する。
OFF 切	機能割り当てなし。

*1 アサインボタンのみに割り当て可能。

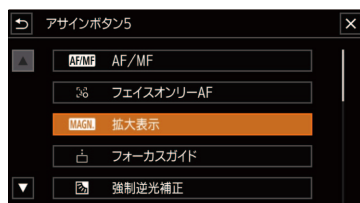
*2 使用するときには、ハンドルユニットを取り付けてください（□ 23）。

*3 タッチアサインボタンのみに割り当て可能。

機能を変更する CAMERA MEDIA

アサインボタンに割り当てる機能はカメラモードで変更できます。

例：アサインボタン5に「強制逆光補正」を割り当てる場合



1 機能を割り当てる

- ① MENUボタンを押しながらアサインボタン5を押す。
 - アサインボタン5に割り当てる機能選択画面が表示される。
- ② 「 強制逆光補正」を選ぶ ▶ を選ぶ。

MEMO

- システム設定メニュー ▶ 「アサインボタン1」～「アサインボタン5」または「タッチアサインボタン」で機能を変更できます（□ 162）。

■ アサインボタンを使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。なお、「**CH/CH** モニターチャンネル」と「**MENU** メニュー」は、メディアモードでも使用できます。

カスタムピクチャーを使用する

CAMERA MEDIA

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定してXF-AVC形式で撮影すると、カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存できます(□ 118)。カスタムピクチャーファイルは、本機とカードにそれぞれ6セット保存でき、本機とカードとの間で相互にコピーできます。

撮影モード(□ 74)が**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

動画形式 **MP4 XF-AVC**

カメラモード **AUTO M**

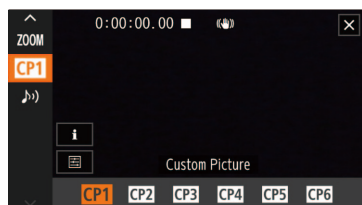
カスタムピクチャーファイルを選ぶ

カスタムピクチャーを有効にしたあと、使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。



1 カスタムピクチャーを有効にする

- ① **5** カメラ設定メニュー ▶ 「**CP 機能**」 ▶ 「**ON** 入」を選ぶ。
- ② **X**を選ぶ。



2 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

- ① **FUNC** ▶ **CP1**を選ぶ。
- ② いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
 - 本機が、選んだカスタムピクチャーファイルの設定に調整される。

プリセットされたカスタムピクチャーについて

初期状態では、C1～C6に次の組み合わせのプリセットが用意されています。C1からC4のカスタムピクチャーファイルは、プロテクトされているため、設定を変更するときはプロテクトの解除が必要です。

	Gamma/Color Space (ガンマ／色空間)	Color Matrix (カラーマトリクス)	特長
C1 : Normal	BT.709 Normal / BT.709	Video	TVモニターで見るときに適した設定。
C2 : Wide DR	BT.709 Wide DR / BT.709	Video	TVモニターで見るときに適した設定。広いダイナミックレンジを実現。
C3 : LOG3	Canon Log 3 / BT.709	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 3ガンマを使用。
C4 : EOS Std.	EOS Std. / BT.709	EOS Std.	レンズ交換式カメラEOSのピクチャースタイル「スタンダード」相当。Normalに比べてコントラストが高い。
C5 : USER05 C6 : USER06	BT.709 Normal / BT.709	Video	TVモニターで見るときに適した設定。

MEMO

- カードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機にコピーしてください (118)。
- 赤外撮影 (103) がONのときは使用できません。

Canon Log 3を使用する

- ポストプロダクション処理を前提とするガンマで、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現できます。
- 撮影したクリップをポストプロダクション処理する際、LUT (ルックアップテーブル) *を適用できます。
* 最新のLUTデータについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

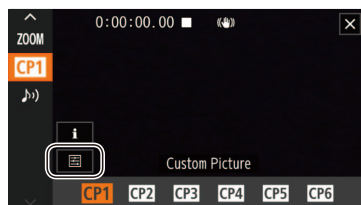
リモートコントローラー RC-V100 (別売)を使うとき

- リモートコントローラー RC-V100のCUSTOM PICT.ボタンを押して、カスタムピクチャーの詳細設定画面を表示することもできます。
- プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

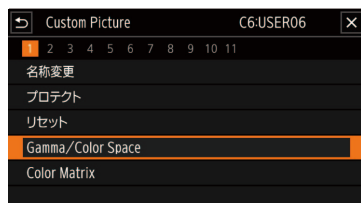
カスタムピクチャーファイルを編集する

選択中のカスタムピクチャーファイルに、画質の調整、名称変更、プロテクト、リセットを行うことができます。プロテクトされたカスタムピクチャーファイルを編集するときは、先にプロテクトを解除してください。

画質を調整する



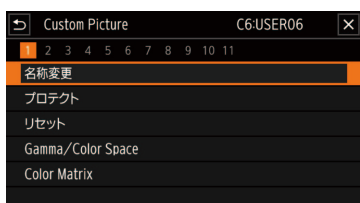
1 [] を選ぶ



2 画質を調整する

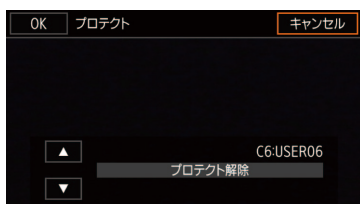
- ① 調整項目を選ぶ。
参考 ▶ カスタムピクチャーの設定項目 (119)
- ② 値を調整する。

カスタムピクチャーファイルの名前を変更する



- ①  「名称変更」を選ぶ。
- ② 8文字の英数字・記号で名前を入力 ▶ 「OK」を選ぶ。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(117)

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする



- ①  「プロテクト」を選ぶ。
- ② 「プロテクト」または「プロテクト解除」を選ぶ。
 - プロテクトすると、カスタムピクチャーファイル名に  が表示される。

カスタムピクチャーファイルをリセットする

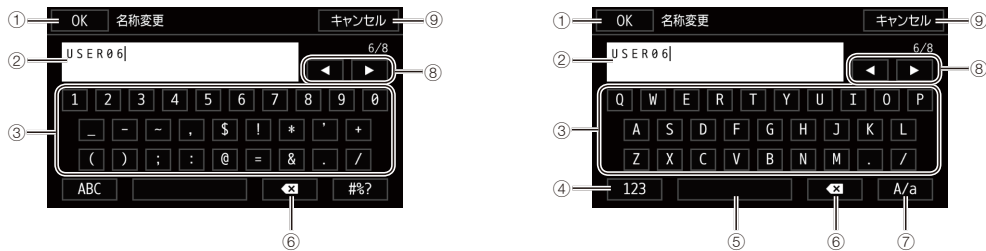
カスタムピクチャーファイルの設定を、選んだ初期設定に初期化します。



- ①  「リセット」を選ぶ。
- ② いずれかの初期設定 ▶ 「OK」を選ぶ。

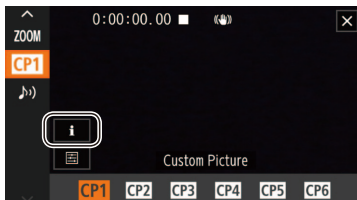
文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。キーボードを操作するときは、タッチパネルで操作してください。



①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力エリア
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	< X	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #%? / * & +	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀ ▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

カスタムピクチャーの現在の設定を表示する



- ① **i**を選ぶ。
● 設定が全4ページで表示される。
- ② ▲／▼を押してページを切り換える。
- ③ **5**を選ぶ。

■ カスタムピクチャーファイルを保存する

カスタムピクチャーファイルをコピーする

本機とスロットBのカードとの間で、カスタムピクチャーファイルを相互にコピーすることができます。

選択中のカスタムピクチャーファイルをカードにコピーする

選択中のカスタムピクチャーファイルをカードに保存します。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができます。



- ① **CP** > 「**CP** ファイル保存 **B**」 > 「保存」を選ぶ。
- ② カード内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルまたは「新規ファイル」*を選ぶ。
* カード内のカスタムピクチャーファイルが6セット未満のときは、「新規ファイル」が表示される。
- ③ 「OK」を選ぶ。
 - 選択中のカスタムピクチャーファイルがカードにコピーされる。
 - 「新規ファイル」を選んだときは、自動的に最後に追加される。

MEMO

- 保存したカスタムピクチャーファイルは、本機と同じ機種のみで使用できます。

選択中のカスタムピクチャーファイルをカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える

選択中のカスタムピクチャーファイルをカードのカスタムピクチャーファイルで上書きします。



- ① **CP** > 「**CP** ファイル保存 **B**」 > 「読み込み」を選ぶ。
- ② カード内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ。
 - 選択中のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。

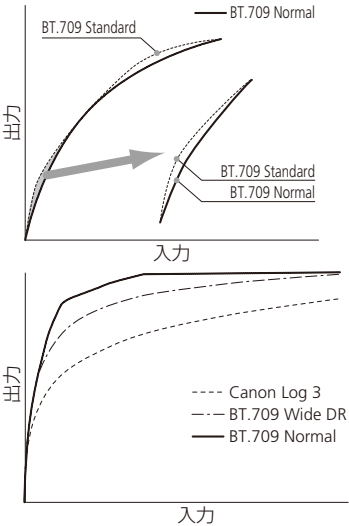
撮影時にクリップと一緒にカスタムピクチャーファイルを保存する

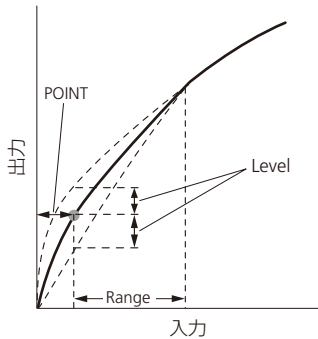
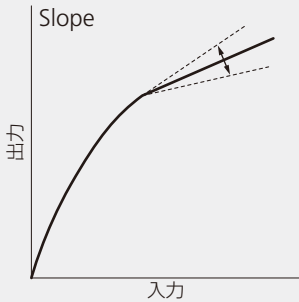
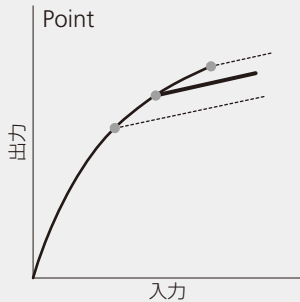
画質調整の設定を行ったあと、XF-AVC形式で撮影すると、カスタムピクチャーファイルがクリップと一緒に保存されます。

記録設定メニュー > 「**CP** ファイル付加」 > 「**ON** 入」を選ぶ

■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字で記載しています。

設定項目	設定値／内容
Gamma/Color Space 	Canon Log 3 / BT.709、BT.709 Wide DR / BT.709、BT.709 Normal / BT.709、BT.709 Standard / BT.709、EOS Std. / BT.709 ガンマと色空間の組み合わせを選択する。 ガンマ Canon Log 3：ポストプロダクション処理を前提としたガンマ。 BT.709 Wide DR：広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。 BT.709 Normal：TVモニターで見るとき。 BT.709 Standard： TVモニターで見るとき。Normalに対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 EOS Std.： レンズ交換式カメラEOSのピクチャースタイル「スタンダード」相当のガンマ。 Normalに比べてコントラストが高い。 色空間 BT.709：ITU-R BT.709規格に準拠した標準的な色空間。
Color Matrix	Neutral、Production Camera、EOS Std.、Video Neutral：忠実な色再現。 Production Camera：映画制作作用の色再現。 EOS Std.： レンズ交換式カメラEOSのピクチャースタイル「スタンダード」相当の色再現。 Video：TV放送に適したコントラストのある色再現。
Black	
Master Pedestal	-50 ~ +50 (±0) 黒のレベルを調整する。値を高くするほど暗部が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。「Gamma/Color Space」のGammaにCanon Log 3を選択時は、無効。
Master Black Red、Master Black Green、Master Black Blue	-50 ~ +50 (±0) 黒の色かぶりをRGB個別に補正する。「Gamma/Color Space」のGammaにCanon Log 3を選択時は、無効。

設定項目	設定値／内容
Black Gamma	
Level	-50 ~ +50 (±0)
Range、Point	-20 ~ +50 (±0)
	低輝度部のガンマを補正する。各値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。「Gamma/Color Space」のGammaにBT.709 Normal、BT.709 StandardまたはEOS Std.を選択時のみ有効。 Level：基準ガンマからの高さ Range：Pointからの幅 Point：頂点の位置
Low Key Saturation	
Activate	On、Off
Level	-50 ~ +50 (±0)
	低輝度領域の色の濃い／薄いを調整する。 Activate：Onにすると、ローキーサチュレーションによる調整を有効にする。 Level：低輝度領域の色の濃さ、薄さを設定する。
Knee	
Activate	On、Off
Automatic	On、Off
Slope	-35 ~ +50 (±0)
Point	50 ~ 109 (95)
Saturation	-10 ~ +10 (±0)
	高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。「Gamma/Color Space」のGammaにBT.709 NormalまたはBT.709 Standardを選択時のみ有効。 Activate：Onにすると、ニーの調整を有効にする。 Automatic：Onにすると、ニーの自動調整を有効にする。 Slope：ニーの傾き。 Point：ニーポイント。 Saturation：高輝度部における色の濃さ・薄さ。
	

設定項目	設定値／内容
Sharpness	
Level	-10 ~ +50 (±0) 輪郭強調のレベルを調整する。
Detail Frequency	-8 ~ +8 (±0) 輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。
Coring Level	-30 ~ +50 (±0) コアリングのレベル。大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。
Limit	-50 ~ +50 (±0) 輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
Noise Reduction	
Automatic	On、Off Onにすると、ノイズを自動的に除去する。
Spatial Filter	Off、1 ~ 12 画像全体がソフトフォーカスをかけたようになりノイズを除去。Off以外に設定すると、残像は発生しないが、画面全体がソフトに表現される。
Frame Correlation	Off、1 ~ 3 前の画像（フィールド）と現在の画像を比較してノイズ成分を除去。Off以外に設定すると、解像感は落ちないが、動いている被写体では残像が出ることがある。
Color Matrix Tuning	
Gain	-50 ~ +50 (±0)
Phase	-18 ~ +18 (±0)
R-G、R-B、G-R、G-B、B-R、B-G	-50 ~ +50 (±0) 映像の色調を微調整する。 Gain：色の濃さを調整する。 Phase：色相を調整する。 R-G：シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。 R-B：シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。 G-R：マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。 G-B：マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。 B-R：イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。 B-G：イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
White Balance	
R Gain、B Gain	-50 ~ +50 (±0) ホワイトバランスのシフト量を赤色の濃淡（R Gain）と青色の濃淡（B Gain）で調整する。

設定項目	設定値／内容
Color Correction	
Select Area	Off、Area A、Area B、Area A&B
Area A Setting Phase	0 ～ 31 (0)
Area B Setting Phase	
Area A Setting Chroma	0 ～ 31 (16)
Area B Setting Chroma	
Area A Setting Area	
Area B Setting Area	
Area A Setting Y Level	
Area B Setting Y Level	
Area A Revision Level	－50 ～ +50 (±0)
Area B Revision Level	
Area A Revision Phase	－18 ～ +18 (±0)
Area B Revision Phase	
特定の範囲の色調を補正する。調整中、設定した範囲の色調部分を検出すると、設定した範囲以外の色を画面や映像出力端子の出力映像上に無彩色で表示する（Area A(B) Revision LevelまたはArea A(B) Revision Phaseの調整中を除く）。 Select Area：補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定でき、補正はいずれかまたは両方を選択できる。 Area A(B) Setting Phase：AエリアまたはBエリアの色相を設定する。 Area A(B) Setting Chroma：AエリアまたはBエリアの彩度を設定する。 Area A(B) Setting Area：AエリアまたはBエリアの色相の幅を設定する。 Area A(B) Setting Y Level：AエリアまたはBエリアの輝度レベルを設定する。 Area A (B) Revision Level：AエリアまたはBエリアにおける、色の濃さの補正量を設定する。 Area A (B) Revision Phase：AエリアまたはBエリアにおける、色相の補正量を設定する。	
Other Functions	
Over 100%	Through、Press、Clip 100%を超える信号の出力のしかたを設定する。「Gamma/Color Space」のGammaにCanon Log 3またはEOS Std.を選択時は、無効。 Through：信号をそのまま出力する。 Press：108%までの信号全体を100%に圧縮する。 Clip：白レベルを100%でクリップする。

MEMO

- 設定値を変えたとき、メニューの設定によっては、画質調整の効果が得られないことがあります。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続して、カスタムピクチャーを有効（ 114）にすると、次の項目をRC-V100から調整できます。
 - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
 - Black GammaのLevel
 - KneeのAutomatic*、Slope*、Point*
 - SharpnessのLevel
 - White BalanceのR Gain / B Gain
 - * KneeのActivateがOnのときのみ。

設定データの保存と読み込み

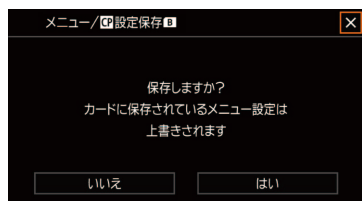
CAMERA MEDIA

FUNCメニューやメニュー、カスタムピクチャーで行った各種の設定情報（設定データ）をSDカードに保存できます。設定データは、必要に応じて読み込んで再利用できます。複数のビデオカメラXA70 / XA75を同じ設定にするとときに便利です。設定データの保存や読み込みは、カードBのみ行えます。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

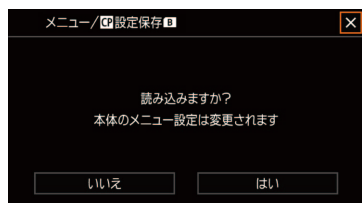
設定データをカードに保存する



- ① カードスロット [B] に保存先となるカードを入れる。
- ② 3 システム設定メニュー ▶ 「メニュー / [G] 設定保存 [B]」を選ぶ。
- ③ 「保存」 ▶ 「はい」を選ぶ。
 - 現在の設定データが、カードBに保存される。
- ④ 「OK」 ▶ を選ぶ。

設定データをカードから読み込む

カードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① カードスロット [B] に読み込み元となるカードを入れる。
- ② 3 システム設定メニュー ▶ 「メニュー / [G] 設定保存 [B]」を選ぶ。
- ③ 「読み込み」 ▶ 「はい」を選ぶ。
 - カードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は閉じます）。

MEMO

- 設定データを読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。

5

再生／編集

クリップや静止画を再生する 126

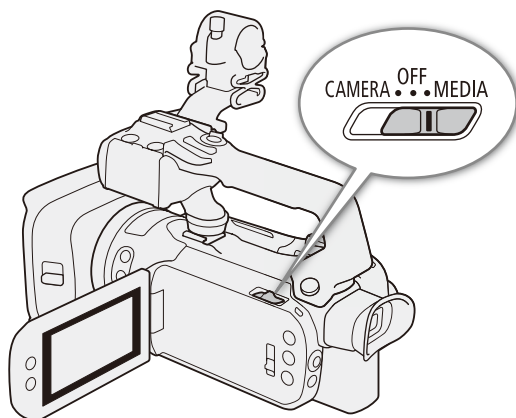
クリップを操作する..... 133

クリップや静止画を再生する

CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）や静止画の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」をご覧ください（[139](#)）。

動画形式 MP4 XF-AVC



再生インデックス画面

電源スイッチをMEDIAにすると、本機が再生モードで起動し、カードに記録されているクリップや静止画のサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。

1 電源スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。

2 インデックス画面で見たいクリップを探す



インデックス画面を切り換えるとき



- ① **[A MP4]** をタッチする
- ② カード (**[A]** / **[B]**) と再生するデータ (**[MP4 動画]**、**[Xf-AVC 動画]**、**[静止画]**) の組み合わせをタッチする。

クリップや静止画を再生する

インデックス画面で選んだクリップや静止画を、各種操作ボタンを使って再生します。

動画を再生する

1 クリップをタッチする

- 再生が始まる。
- タッチしたクリップの再生が終わると、インデックス画面の最後のクリップまで自動的に再生される。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

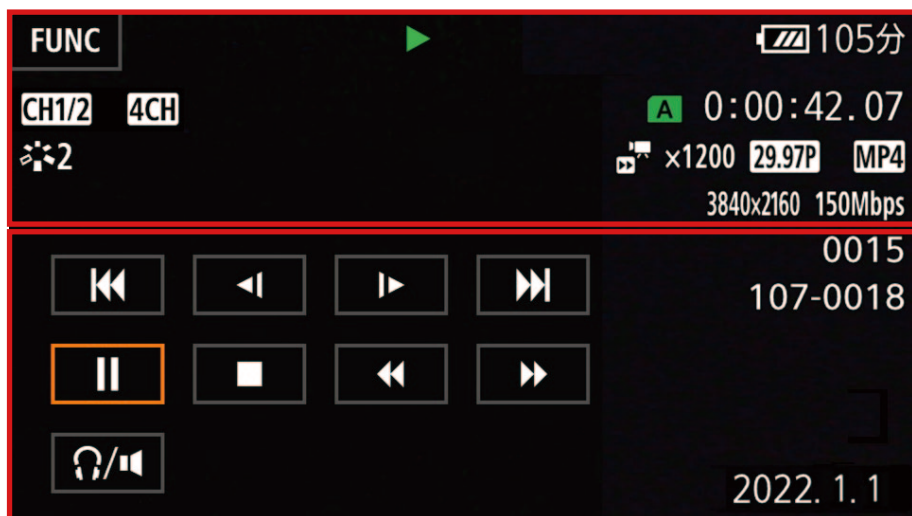
静止画を再生する

1 静止画をタッチする

- 静止画が再生される。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える。もう一度タッチすると消える。

再生時の画面表示

動画再生時の画面表示



画面上部

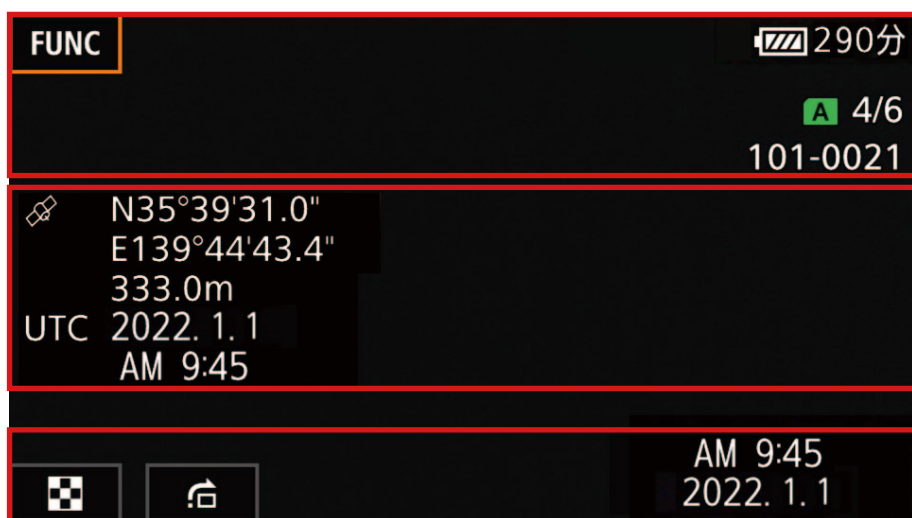
アイコン／表示	説明
FUNC	FUNCボタン (154)
▶、⏸、◀/▶、▶▶、◀◀、◀◀/▶▶	再生状況 ▶：再生、⏸：再生一時停止、◀/▶：逆スロー再生／スロー再生、▶▶：早送り、◀◀：早戻し、◀◀/▶▶：コマ戻し／コマ送り
	バッテリー残量の目安
DC IN	DC IN端子から給電中
CH1/2 、 CH1/1 、 CH2/2 、 CH1+2/1+2 、 CH3/4 、 CH3/3 、 CH4/4 、 CH3+4/3+4 、 CH1/3 、 CH2/4 、 CH1+3/2+4	モニターチャンネル (146)
4CH	オーディオ記録形式 (90)
✱2、✱3、✱4	ルック (85)
CP	カスタムピクチャー (114)
A 、 B	再生中のカード
00:00:00.00、00:00:00:00	タイムコード (86)
x0.0 x0000	スロー & ファストモーション記録 (52)

アイコン／表示	説明
59.94P、29.97P、23.98P、59.94i	フレームレート (50)
MP4、XF-AVC	動画形式 (50)
0000×0000	解像度 (50)
000Mbps	ビットレート (50)

画面下部

アイコン／表示	説明
⏮、⏭、⏸、■、⏪、⏩、▶、◀、▶、⏮、⏭	操作ボタン ⏮：前へスキップ、⏭：次へスキップ、▶：再生、⏸：再生一時停止、 ■：再生停止、⏪：早戻し、⏩：早送り、◀：逆スロー再生、 ▶：スロー再生、⏮：コマ戻し、⏭：コマ送り
000000	クリップ番号
000-0000	ファイル番号 (159)
🔊/🔊	ヘッドホン音量／スピーカー音量 (100、160)
AM / PM 00:00 yyyy.mm.dd F00 1/00000	データコード表示 (158)

静止画再生時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明
、	再生中のカード
000000/000000	表示枚数／全枚数

画面中央

アイコン／表示	説明
緯度、経度、高度、日付、時刻	GPS情報（別売のGP-E2を装着して撮影した場合）

画面下部

アイコン／表示	説明
	操作ボタン（ 131） ：インデックス画面 ：ジャンプ
AM / PM 00:00 yyyy.mm.dd F00 1/00000	データコード表示（ 158）

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、再生操作ボタンで行います。

機能	操作	ボタン	説明
早送り* ¹	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。* ²
早戻し* ¹	再生中に	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	⏮▶	押すたびに1コマ進む。
コマ戻し	一時停止中に	◀⏭	押すたびに1コマ戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶▶	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	◀◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に2回押す	◀◀◀	前のクリップの先頭から再生。
スロー再生* ¹	再生中に	▶	押すたびに再生速度が1/4倍→1/8倍に切り換わる。
逆スロー再生* ¹	再生中に	◀	

*¹ 操作中、画面が乱れることがあります。

*² 画面に出る倍速表示は目安です。

MEMO

- さまざまな再生中は音声は聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶ ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く

音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー（モノラル）で聞くことができます。

音量を調整する

- ① 再生中に画面をタッチ ▶ 「🔊/🔊」をタッチする。
 - ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
- ② 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する。
- ③ 🔄 をタッチする。



MEMO

- モニターするチャンネルの選択については「音声出力チャンネルを選ぶ」(📖 146)をご覧ください。

静止画再生時の操作

画面上をタッチすると操作ボタンが表示され、次の操作が可能です。

ボタン	内容
📄 (インデックス画面)	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
📌 (ジャンプ)	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。🔄を選んで終了。

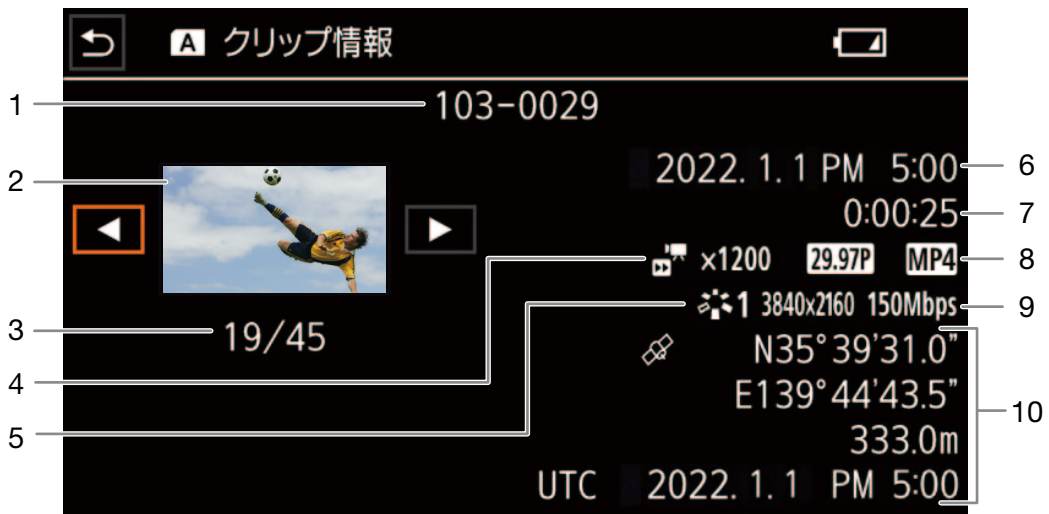
クリップの詳細情報を表示する

クリップのインデックス画面で **i** を選ぶと、クリップの詳細情報が表示されます。

① **i** を選ぶ ▶ 詳細情報を表示したいクリップを選ぶ。

- 「クリップ情報」画面が表示される。
- ◀ / ▶ を押すと前後のクリップに移動できる。

② ◀ を2回選ぶ。



- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1 ファイル番号／クリップファイル名 | 6 撮影開始日時 |
| 2 選択しているクリップのサムネイル（縮小画） | 7 撮影時間 |
| 3 クリップ数／総クリップ数 | 8 フレームレート／動画形式 |
| 4 スロー & ファストモーション | 9 ビットレート |
| 5 ルック／カスタムピクチャー／解像度 | 10 GPS情報（別売のGP-E2を装着して撮影した場合） |

ご注意

- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

MEMO

- 再生画面の日时表示を消すときは、メニューの「データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもできます（[P.158](#)）。
- 撮影条件によってはクリップが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのよう再生されます。

クリップを操作する

CAMERA MEDIA

動画形式 MP4 XF-AVC

クリップや静止画を消去する

不要なクリップや静止画を複数選んでまとめて消去できます。日付を指定して一括消去*したり、表示しているカード内のすべてのクリップや静止画を消したりすることもできます。

* MP4クリップまたは静止画のみ。

クリップや静止画を選んで消す

	1 消去するクリップまたは静止画を含むインデックス画面に切り換える (□ 126)
	特定の日に撮ったMP4クリップまたは静止画を消すとき 左右にドラッグして、消去するクリップ／静止画の日付を画面に出す。
FUNC	2 消去を選ぶ FUNC ▶ 「消去」を選ぶ。
	3 いずれかの消去方法を選ぶ ● MP4クリップまたは静止画のインデックス画面の場合、「101_0501」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。 特定の日に撮ったMP4クリップまたは静止画を消すとき (操作5へ) クリップまたは静止画を選んで消すとき すべてのMP4クリップ／XF-AVCクリップ／静止画を消すとき (操作5へ)
実行	4 クリップまたは静止画を選んで消すとき ① 消すクリップまたは静止画を選ぶ。 ● クリップまたは静止画が選択され、✓が付く。 ● もう一度選ぶと選択が解除される。 ② ①の操作を繰り返して、消すクリップまたは静止画をすべて選ぶ。 選択をすべて解除するとき 「全解除」▶ 「はい」を選ぶ。 ③ 実行を選ぶ。

5 クリップまたは静止画を消す

① 「はい」 ▶ 「OK」を選ぶ。

中止するとき 「中止」を選ぶ。一部のクリップまたは静止画は消去される。

再生一時停止中のクリップを消去する



1 クリップ再生中 画面をタッチ ▶ Ⅱを選ぶ。

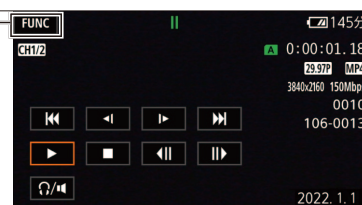
● 再生が一時停止する。

FUNC

2 消去する

① FUNC ▶ 「消去」 ▶ 「はい」を選ぶ。

② 「OK」を選ぶ。



再生中の静止画を消す

1 静止画再生中 画面をタッチする

● 操作ボタンが出る。

FUNC



2 消去を選ぶ

① FUNC ▶ 「消去」を選ぶ。

● 消去画面が出る。

● 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

② 「実行」 ▶ 「はい」を選ぶ。



3 Xを選ぶ

ご注意

- 一度消したクリップまたは静止画は元に戻りませんので、消す前に必ず確認してください。
- 大切なデータは、あらかじめバックアップしてください (150)。

MEMO

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。
- カードに記録されているすべてのクリップを消して容量を元に戻す場合は、カードを初期化します (37)。

■ MP4クリップを切り取る

指定した位置より前または後ろの部分が消去できます。

動画形式 **MP4** XF-AVC

	1 MP4クリップを再生する (📖 126)
⏸	2 再生一時停止にする 画面上をタッチする ▶ ⏸を押す。
FUNC	3 トリミングを選ぶ FUNC ▶ 「トリミング」を選ぶ。
▶	4 切り取る位置を決める ① 位置を探す ● ▶を押すと再生する。もう一度押すと一時停止になる。 再生中 ◀◀ / ▶▶ 早戻し / 早送り 一時停止中 ◀◀ / ▶▶ コマ戻し / コマ送り ② 切り取る位置で一時停止にする。
	5 クリップを切りとる ① 「トリミング」を選ぶ。 ② 「前部を削除」または「後部を削除」を選ぶ。 ③ 「新規保存」または「上書き保存」を選ぶ。 「新規保存」を中止するとき 「中止」▶「OK」を選ぶ。



MEMO

- 「前部を削除」でトリミングしたクリップは、インデックス画面ではサムネイルに▶が表示されます。
- トリミングのコマ送りの間隔はフレーム単位、トリミングできる位置はGOP単位（約0.5秒）です。
- トリミングを指定した位置がGOPの境界でない場合は、指定しているフレームが含まれるようにGOPの境界でトリミングします。

クリップや静止画をコピーする

カードに記録されたクリップや静止画を、もう一方のカードへコピーできます。選んだクリップや静止画、すべてのクリップや静止画をまとめてコピーします。日付ごとに作成されたフォルダーごとコピーすることもできます*。

* MP4クリップまたは静止画のみ。

クリップや静止画をまとめてコピーする

	1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる
2	コピー元となるカードのインデックス画面を出す (126)
特定の日に撮ったMP4クリップまたは静止画をコピーするとき 左右にドラッグして、コピーするクリップまたは静止画の日付を画面に出す。	
 A → B B → A	3 コピーを選ぶ ① FUNC ▶ 「コピー [A → B]」または「コピー [B → A]」を選ぶ。
4	特定の日に撮ったMP4クリップまたは静止画をコピーするとき* クリップまたは静止画を選んでコピーするとき すべてのMP4クリップ / XF-AVCクリップ / 静止画をコピーするとき * 「101_0501」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。
(実行)	5 クリップまたは静止画を選んでコピーするとき クリップまたは静止画を選ぶ ① コピーするクリップまたは静止画をすべて選ぶ。 ● ✓が付く。もう一度選ぶと選択が解除される。 選択をすべて解除するとき 「全解除」▶ 「はい」を選ぶ。 ② (実行) を選ぶ。

6 カードにコピーする

① 「はい」を選ぶ。

中止するとき

「中止」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。



再生中の静止画をコピーする

1 静止画再生中 画面をタッチする

● 操作ボタンが出る。

FUNC

A → B

B → A

実行

×

2 コピーする

① **FUNC** ▶ 「コピー [A → B]」 または 「コピー [B → A]」を選ぶ。

● コピー画面が出る。

● 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

② 「実行」 ▶ 「はい」を選ぶ。

③ ×を選ぶ。



MEMO

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき (159)。
- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。
- 4GB以上の映像ファイル (ストリーム) はSDHCメモリーカードにはコピーできません。

6 接 続

出力信号形式	140
外部モニターを接続する	142
音声出力を選択する	146

出力信号形式

CAMERA MEDIA

SDI OUT端子 (XA75) やHDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。また、SDI OUT端子 (XA75) とHDMI OUT端子は、どちらか一方のみ出力されます。

* HDMI OUT端子の場合は、接続した外部モニターの能力によって変わります。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

撮影時の出力信号形式

記録信号形式		スキャンモード*1	最大解像度*2	SDI OUT端子の出力信号形式		HDMI OUT端子の出力信号形式		カラーサンプリング
解像度	フレームレート			解像度	フレームレート	解像度	フレームレート	
3840×2160	29.97P/23.98P	P	1920×1080	1920×1080	29.97P/23.98P	1920×1080	29.97P/23.98P	YCbCr 4:2:2 8 bit
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	29.97PsF/59.94i	1920×1080	59.94i	
1920×1080	59.94P	P	1920×1080	1920×1080	59.94P	1920×1080	720×480*3	YCbCr 4:2:2 10 bit
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	59.94i	1920×1080	59.94i	
	29.97P/23.98P	P	1920×1080	1920×1080	29.97P/23.98P	1920×1080	29.97P/23.98P	
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	29.97PsF/59.94i	1920×1080	59.94i	
	59.94i*4	—	1920×1080	1920×1080	59.94i	1920×1080	59.94i	
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
1280×720*5	59.94P	—	—	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	

*1 ☒ 表示設定メニュー ▶ 「SDI/HDMIスキャンモード」 (XA75)、 「HDMIスキャンモード」 (XA70) の設定 (□ 145)。

*2 ☒ 表示設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」 (HDMI OUT端子時) または 「SDI出力」 (SDI OUT端子時 XA75) の設定 (□ 144、143)。

*3 モニターの能力に応じて自動的に選択される。

*4 動画形式が「XF-AVC」のときのみ。

*5 動画形式が「MP4」のときのみ。

再生時の出力信号形式

再生信号形式		スキャン モード*1	最大解像度 *2	XA75 SDI OUT端子の 出力信号形式		HDMI OUT端子の 出力信号形式		カラー サンプリング
解像度	フレーム レート			解像度	フレーム レート	解像度	フレーム レート	
3840×2160	29.97P/23.98P	P	3840×2160	—	—	3840×2160	29.97P/23.98P	YCbCr 4:2:2 8 bit*3
			1920×1080	1920×1080	29.97P/23.98P	1920×1080	29.97P/23.98P	
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	29.97PsF/59.94i	1920×1080	59.94i	
1920×1080	59.94P/29.97P/ 23.98P	P	3840×2160	—	—	1920×1080	59.94P/29.97P/ 23.98P	
			1920×1080	1920×1080	59.94P/29.97P/ 23.98P	1920×1080	59.94P/29.97P/ 23.98P	
			1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
		PsF	—	1920×1080	59.94i/29.97PsF/ 59.94i	1920×1080	59.94i	
			3840x2160	—	—	1920x1080	59.94i	
			1920x1080	1920x1080	59.94i	1920x1080	59.94i	
	59.94i*4	—	1280×720 (59.94P)	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
			—	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	
1280×720*5	59.94P	—	—	1280×720	59.94P	1280×720	59.94P	

*1 表示設定メニュー ▶ 「SDI/HDMIスキャンモード」(**XA75**)、「HDMIスキャンモード」(**XA70**)の設定 (□ 145)。

*2 表示設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」(HDMI OUT端子時)または「SDI出力」(SDI OUT端子時**XA75**)の設定 (□ 144、143)。

*3 カードにYCbCr 4:2:0形式で記録した映像を、YCbCr 4:2:2形式で出力する。

*4 動画形式が「XF-AVC」のときのみ。

*5 動画形式が「MP4」のときのみ。

外部モニターを接続する

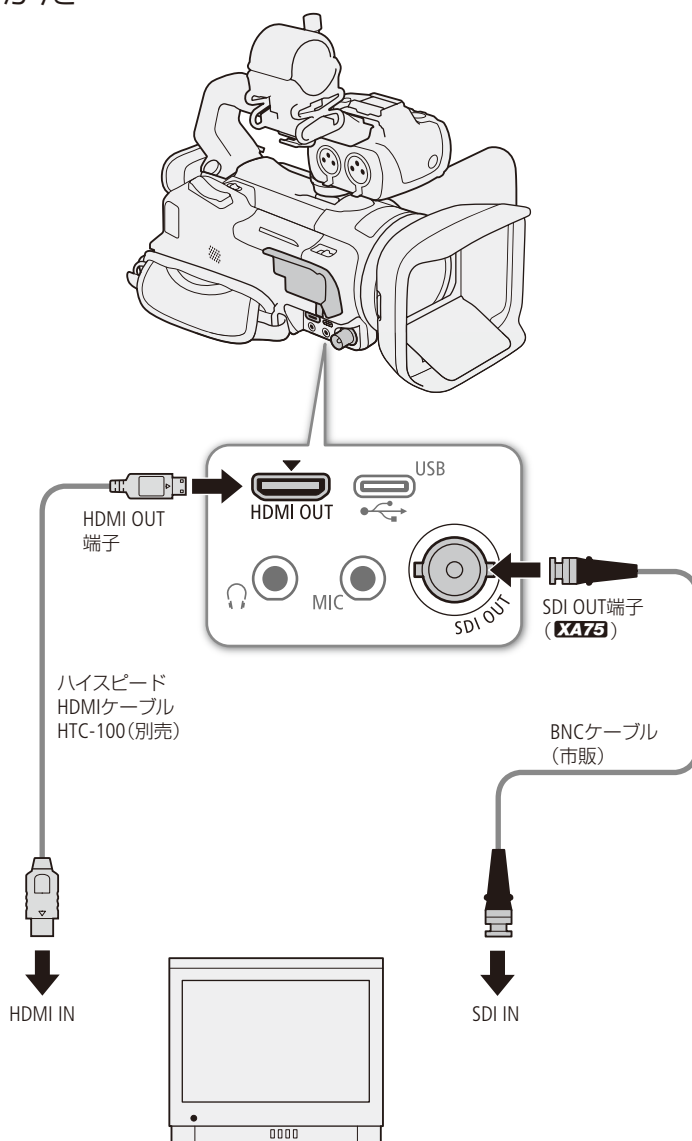
CAMERA MEDIA

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考▶「出力信号形式」(P.140)）。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

■ 接続のしかた

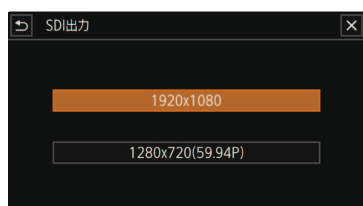


MEMO

- USB電源アダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

■ XA75 SDI OUT端子を使用する

SDI OUT端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（最大4チャンネル）とタイムコード信号、記録コマンドが重畳されます。画面表示を重畳することもできます。



1 SDI OUT端子の出力モードを選ぶ

- ① ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「出力端子」を選ぶ。
- ② 「SDI」SDI ▶ を選ぶ。
- ③ ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「SDI出力」を選ぶ。
- ④ いずれかを選ぶ ▶ を選ぶ。



2 SDI OUT端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ

- ① ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「3G-SDIマッピング」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。
 - SMPTE ST 425-1規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。

3 を選ぶ

MEMO

- スロー & ファストモーション記録時、SDI OUT端子にタイムコードは重畳されません。
- 記録設定メニューの「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をSDI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／記録停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。
- フレームレートが23.98Pでかつ、以下のいずれかの場合は、タイムコードのフレームカウントを「0 ～ 23」から「0 ～ 29」に変換して出力します。
 - 「SDI/HDMIスキャンモード」がPsFのとき。
 - 出力解像度が1280×720のとき。

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。出力にタイムコード(86)や画面表示(47)を重畳できます。音声は2チャンネル、リニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。4チャンネル記録時は、出力チャンネルはメニューで選択できます(146)。



1 HDMI OUT端子の出力モードを選ぶ

- ① ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「出力端子」を選ぶ。
- ② 「HDMI HDMI」 ▶ **入**を選ぶ。
- ③ ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」を選ぶ。
- ④ いずれかを選ぶ ▶ **入**を選ぶ。



2 カメラモードのとき 必要に応じて、タイムコードの重畳を有効にする

- ① **入** 3 記録設定メニュー ▶ 「HDMIタイムコード」を選ぶ。
- ② **ON** (入) ▶ **入**を選ぶ。

3 **入**を選ぶ

MEMO

- SDI OUT端子 (**XA75**)とHDMI OUT端子は同時に出力できません。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、SDI OUT端子 (**XA75**)を使って接続してください。
- 設定した出力信号形式にモニターが対応していない場合、HDMI出力は停止します。
- **入** 記録設定メニューの「記録コマンド」と「HDMI タイムコード」を「入」にして、本機のHDMI OUT端子にHDMIの記録コマンド対応機器をつなぐと、本機の撮影／撮影停止操作 (RECボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。
- 次の場合、HDMI OUT端子にタイムコードは重畳されません。
 - メディアモードのとき。
 - 出力が720×480 / 59.94Pのとき。
 - スロー & ファストモーション記録時。
- フレームレートが23.98Pでかつ、いずれかの場合は、タイムコードのフレームカウントを「0～23」から「0～29」に変換して出力します。
 - 「SDI/HDMIスキャンモード」(**XA75**)または「HDMIスキャンモード」(**XA70**)がPsFのとき。
 - 出力解像度が1280×720のとき。

■ 出力信号の走査方式を設定する

SDI OUT端子 (XA75) またはHDMI OUT端子から出力する映像信号の走査方式を設定します。



1 走査方式を選ぶ

- ① ☒ 1 表示設定メニュー ▶ 「SDI/HDMIスキャンモード」(XA75) または「HDMIスキャンモード」(XA70) を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ Xを選ぶ。

音声出力を選択する

CAMERA MEDIA

SDI OUT端子 (XA75)やHDMI OUT端子、 Ω (ヘッドホン)端子、内蔵スピーカー (モノラル。メディアモードのみ)から音声を出力できます。記録／再生する4チャンネルの音声のうち、 Ω (ヘッドホン)端子や内蔵スピーカー、HDMI OUT端子から出力される2チャンネルの音声は、メニューで選択します。

動画形式 MP4 XF-AVC

カメラモード AUTO M

音声の出力信号形式

記録信号形式		撮影／再生時	
記録方式	量子化ビット数／ビットレート (動画形式)	XA75 SDI OUT端子	HDMI OUT端子*
4ch リニアPCM	16 bit (MP4) 24 bit (XF-AVC)	4ch リニアPCM 24 bit	2ch リニアPCM 16 bit
2ch MPEG-2 AAC-LC	256 kbps (MP4)		

* 4chの記録音声から出力するチャンネルを選択可能 (147)。

Ω (ヘッドホン)端子やスピーカーの出力チャンネルを選ぶ

Ω (ヘッドホン)端子 (100)やスピーカーから出力する2チャンネルの音声を選択することができます。



- ① Ω 3 オーディオ設定メニュー ▶ 「モニターチャンネル」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ $\times$ を選ぶ。

設定値	出力音声	
	L	R
CH1/CH2	CH1	CH2
CH1/CH1	CH1	CH1
CH2/CH2	CH2	CH2
CH1+2/CH1+2	CH1 + CH2(ミックス)	CH1 + CH2(ミックス)
CH3/CH4*	CH3	CH4
CH3/CH3*	CH3	CH3
CH4/CH4*	CH4	CH4
CH3+4/CH3+4*	CH3 + CH4(ミックス)	CH3 + CH4(ミックス)
CH1/CH3*	CH1	CH3
CH2/CH4*	CH2	CH4
CH1+3/CH2+4*	CH1 + CH3(ミックス)	CH2 + CH4(ミックス)

* カメラモードでは、4チャンネルの音声を記録するときのみ。

MEMO

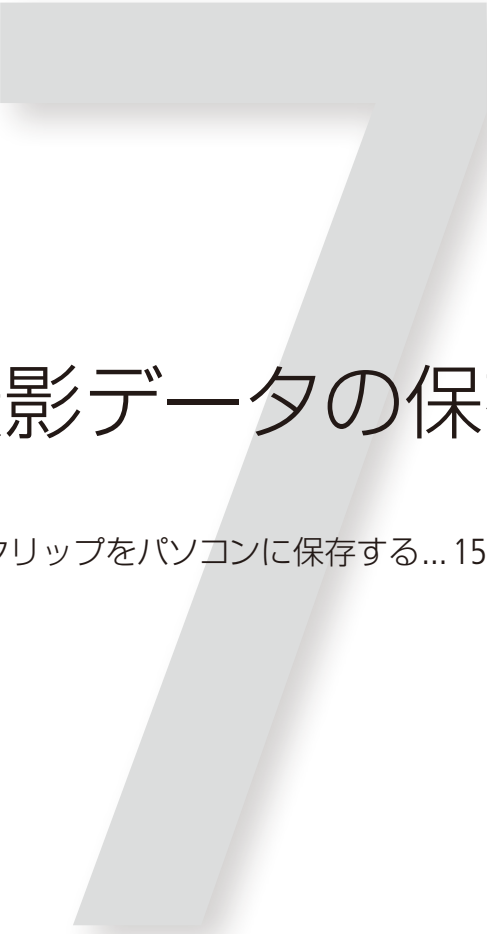
- アサインボタンに「モニターチャンネル」を割り当てると、アサインボタンを押してヘッドホンやスピーカーの出力チャンネルを切り換えられます (111)。

■ HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ

HDMI OUT端子からは、2chのリニアPCM形式（16bit）の音声出力します。記録／再生する4チャンネルの音声のうち、出力する2チャンネルを選択できます。



- ① 🎧3 オーディオ設定メニュー ▶ 「HDMIチャンネル」を選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ✕を選ぶ。



撮影データの保存

クリップをパソコンに保存する... 150

クリップをパソコンに保存する

CAMERA MEDIA

■ MP4クリップをパソコンに保存する

本機でカードに記録したMP4クリップは、パソコンまたはパソコンに接続したカードリーダー／ライターのスロットを使って、パソコンに取り込みます。カード内のファイルの取り込み方については、パソコンまたはOSの説明書をご覧ください。

また、本機で分割して記録されたMP4クリップは、ソフトウェアMP4 Join Toolを使って結合することができます。

動画形式 MP4 XF-AVC

クリップをパソコンに取り込む

- 1 MP4クリップが記録されたカードを、パソコンまたはパソコンに接続したカードリーダー／ライターに入れる
- 2 パソコンのOSの案内に従って操作する
- 3 カード内の撮影データをパソコンにコピーする

「DCIM¥100_mmdd」*という名称のフォルダーに撮影データ（MP4クリップ、静止画）が保存されている。

*「100」は100～999の番号、「mmdd」は撮影した月日を表わす。

分割されたMP4クリップを結合する

クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が約4GBに達したり、リレー記録が発生したりすると、クリップが分割して記録されます。分割して記録されたMP4クリップは、ソフトウェアMP4 Join Tool（Windows / macOS）を使って結合することができます。

MP4 Join Toolは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）*をご覧ください。

* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

■ XF-AVCクリップをパソコンに保存する

記録したXF-AVCクリップをパソコンに保存するときはCanon XF Utilityを、ノンリニア編集ソフトウェアに読み込むときはCanon XF Pluginを使用します。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報、市販のノンリニア編集ソフトウェアへの最新の対応状況については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）*をご覧ください。

* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

動画形式 MP4 XF-AVC

Canon XF Utility(Windows用／ macOS用)

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理、静止画の切り出しを行うソフトウェア。

Canon XF Plugin for Avid Media Access(Windows用／ macOS用)

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows / macOS) から、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

MEMO

メニュー

FUNCメニューの紹介	154
メニューの紹介	156

FUNCメニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNCメニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。初期設定は太字で記載しています。各機能の詳細は、📖欄のページをご覧ください。他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

■ 撮影時に使うFUNCメニュー

設定項目	内容・設定値	📖
IRIS(絞り)	F2.8 ～ F11 ゼブラパターン：📊切、📊70%、📊100%	76
SHTR(シャッタースピード)	1/6 ～ 1/2000 ゼブラパターン：📊切、📊70%、📊100%	76
GAIN (ゲイン)	0.0dB ～ 39.0dB ゼブラパターン：📊切、📊70%、📊100%	76
AGC AGCリミット	M マニュアル：入、切 0.0 dB ～ 38.0 dB	73
☑️ 露出補正	タッチ露出：📊ノーマル、📊ハイライト ゼブラパターン：📊切、📊70%、📊100% ✳️ AEロック	76
ホワイトバランス*	AWB オート、🌞 太陽光、💡 電球、 K 色温度、📊セット1、📊セット2	83
強制逆光補正*	📊切、📊入	80
🔍 フォーカス	A オート、 M マニュアル タッチフォーカス PEAK (ピーキング)：入、切 ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー フォーカス位置のプリセット／キャンセル PRESET プリセット位置へのフォーカス移動	53 54
	MAGN 拡大表示 実行	58
ZOOM ズーム	画面でのズーム操作 RECボタン／STOPボタンによるクリップの撮影／停止 PHOTOボタンによる静止画撮影 📊 (デジタルテレコン)：入、切 📊Off (追尾解除) / 📊 (選択)	70 71 62
カスタムピクチャー *	CP1 ～ CP6 📊 (設定変更)、 i (設定表示)	114
ルック*	🌟1スタンダード、🌟2ニュートラル、🌟3 Wide DR、🌟4 モノクロ	85
🎧 オーディオ	録音レベル：📊A オート、📊M マニュアル (0 ～ 100)	94

* 選んだ設定値のアイコンが画面に表示される。

■ 再生時に使うFUNCメニュー

1クリップごと、選んだクリップ、全クリップ、特定の日に撮ったクリップなど、表示している画面によって、操作できるクリップ／静止画の数が異なります。

内容	 インデックス画面	インデックス画面からの再生一時停止中	
コピー [A ♦ B] [B ♦ A]	撮影日付、選択、全クリップ	—	136
消去	撮影日付、選択、全クリップ	1クリップ	133
トリミング	—	●	135

内容	 インデックス画面	再生中	
コピー [A ♦ B] [B ♦ A]	撮影日付、選択、すべての静止画	1枚	137
消去	撮影日付、選択、すべての静止画	1枚	134

メニューの紹介

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

📷 カメラ設定メニュー

設定項目	内容・設定値	📖
デジタルズーム	OFF 切、 300x 300x、 600x 600x、 120x デジタルテレコン デジタルズームの倍率（最高倍率）を選ぶ。 ・カメラモードが AUTO （オート）のときと、メニューの「コンバージョンレンズ」が「WA-U58」のときは設定できない。 ・デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになる。 ・デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなる。	— 71
ズームスピードレベル	ハイ 、 ミドル 、 ロー	67
グリップズーム操作	Enable 有効、 Disable 無効	65
グリップズームスピード	VAR (可変速)、 CONST (固定速) 1 ~ 16(8)	67
ハンドルズーム操作	Enable 有効、 Disable 無効	65
ハンドルズームスピード	固定速：1 ~ 16(8)	69
ハイスピードズーム	ON 入、 OFF 切	68
AFモード	BOOST AFブーストMF、 CONT 連続	59
AF枠サイズ	A オート、 L 大、 S 小	60
AFスピード	ハイ 、 ミドル 、 ロー オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	—
AFレスポンス	ハイ 、 ミドル 、 ロー オートフォーカスの応答性を選ぶ。	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、 OFF 切	62
フォーカスガイド	ON 入、 OFF 切	56
フォーカスPスピード	ハイ 、 ミドル 、 ロー	—
自動逆光補正	ON 入、 OFF 切	80
オートスローシャッター	ON 入、 OFF 切 明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録する。 ・フレームレートが59.94Pのときは1/30秒まで、29.97Pのときは1/15秒まで、23.98Pのときは1/12秒までのスローシャッターにそれぞれ設定される。 ・ AUTO （オート）モードや赤外線撮影のとき、または撮影モードが P のときに設定できます。 ・動きのある被写体を撮る場合、尾を引いたような残像が出るときは、「切」を選びます。 ・AGCリミットが有効の場合、オートスローシャッターは動きません。	—
フリッカー低減	OFF 切、 A オート 蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することができます。 ・蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制されることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。	—

設定項目	内容・設定値	📖
コンバージョンレンズ	Tele TL-U58、 Wide WA-U58、 OFF 切 別売のテレコンバーター TL-U58やワイドアタッチメントWA-U58を取り付けるときに設定すると、それぞれのアクセサリーに合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わる。最至近撮影距離は、テレコンバーターの使用時においてズーム全域で約130cm、ワイドアタッチメントの使用時において約60cm。 ・テレコンバーター TL-U58を取り付けると約1.5倍の望遠撮影が、ワイドアタッチメントWA-U58を取り付けると約0.8倍までの広角撮影ができる。 ・設定に応じて、画面に表示される距離情報が変更される。コンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にする。 ・「切」以外に設定すると、 カメラ設定メニュー の「AFモード」は使用できない。	—
手ブレ補正	切 、 スタンダード 、 ダイナミック	72
パワードISボタン	ON 押し続け、 OFF ON/OFF切り換え POWERED ISボタンの操作のしかたを選ぶ。 押し続け：ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。 ON/OFF切り換え：ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。	—
優先WB登録	AWB オート、 太陽光 、 電球 、 K 色温度、 セット1 、 セット2 ホワイトバランスの良く使う調整方法を登録する。アサインボタンの「 ★WB 優先WB」を押したときに、現在のホワイトバランスの設定と「優先WB登録」で選んだ設定を切り換えることができます。	—
フォーカス／ズームリング操作	Enable 有効、 Disable 無効 フォーカス／ズームリングによる操作の有効／無効を切り換える。	—
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、 REV リバース フォーカス調整時、フォーカス／ズームリングの操作方向を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効。	—
フォーカスリング敏感度	ハイ 、 ミドル 、 ロー フォーカス調整時、フォーカス／ズームリングの敏感度を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効。	—
ズームリング操作方向	NORM ノーマル、 REV リバース ズーム調整時、フォーカス／ズームリングの操作方向を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがZOOMのときに有効。	—
赤外ライト	ON 入、 OFF 切 「入」にすると、Infraredモード中に赤外ライトが点灯する。赤外ライトを使用するときは、ハンドルユニットを取り付ける。	—
赤外撮影色	WHITE 白、 GREEN 緑	103
CP 機能	ON 入、 OFF 切	114

再生設定メニュー

設定項目	内容・設定値	
MP4 データコード表示	OFF 切、 日付	—
XF-AVC データコード表示／ カメラ データコード表示	OFF 切、 日付 、 時刻 、 日付&時刻 、 カメラデータ ／ カメラデータ XF-AVC動画／静止画のときに日付や時刻、カメラデータを表示する。	—

記録設定メニュー

設定項目	内容・設定値	
動画形式	MP4 MP4、 XF-AVC XF-AVC	50
MP4 解像度	3840x2160 (150 Mbps)、1920x1080 (35 Mbps)、1920x1080 (17 Mbps)、1280x720 (8 Mbps)	50
XF-AVC 解像度	3840x2160 (160 Mbps)、1920x1080 (45 Mbps)	50
MP4 フレームレート	59.94P 59.94P、 29.97P 29.97P、 23.98P 23.98P	50
XF-AVC フレームレート	59.94P 59.94P、 59.94i 59.94i、 29.97P 29.97P、 23.98P 23.98P	50
MP4 オーディオ形式	2CH AAC 16bit 2CH、 4CH LPCM 16bit 4CH	90
記録先	動画記録先 カードA 、 カードB 静止画記録先 カードA 、 カードB	37
同時記録／リレー記録	通常記録 、 同時記録 、 リレー記録	38
Slow & Fastモーション	OFF、x0.4、x0.5、x0.8、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200	52
メモリー残量表示	カードの総容量、SDスピードクラス、残量、動画の記録可能時間*、静止画の記録可能枚数*を表示する。 * 現在設定している「解像度」を元に算出。	—
メモリー使用量表示	カードの総容量、SDスピードクラス、使用量を表示する。	—
初期化	カードA 、 カードB	37
記録コマンド	ON 入、 OFF 切	143
HDMIタイムコード	ON 入、 OFF 切 「入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳する（カメラモードのみ）。	—
タイムコードモード	PRESET Preset、 REGEN Regen.	86
タイムコードラン	REC RUN Rec Run、 FREE RUN Free Run	86
DF/NDF	DF DF、 NDF NDF	87
タイムコードスタート値	00:00:00.00 ~ 23:59:59.29	86
ユーザービットタイプ	SET 設定、 TIME 時刻、 DATE 日付 「設定」選択時：8桁の16進数 (00 00 00 00)	88

設定項目	内容・設定値	📖
カメラインデックス	A ~ Z	45
リール番号	001 ~ 999	
クリップ番号	001 ~ 999	
クリップ番号方式	🔄 オートリセット、➡️ 通し番号	
ユーザー定義	A ~ Z、0 ~ 9からなる5文字の文字列 (CANON)	
CP ファイル付加	ON 入、OFF 切	118
カラーバー	OFF 切、SMPTE SMPTE、ARIB ARIB	101
1 kHz トーン	-12dB -12 dB、-18dB -18 dB、-20dB -20 dB、OFF 切	101
MP4クリップ／静止画番号方式	🔄 オートリセット、➡️ 通し番号 MP4クリップや静止画に付けられる番号 (ファイル番号)の付け方を選ぶ。撮影したMP4クリップや静止画には連続した番号が自動的に付けられ、カード内のフォルダーに保存される。 🔄 オートリセット：初期化されたカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。カード内にすでにMP4クリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。 ➡️ 通し番号：最後に記録したMP4クリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、カード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。 フォルダー名 ・フォルダー名の上3桁は100 ~ 999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表す。 ・1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成される。 ファイル名 ファイル名の上4文字はMP4クリップのときは「MVI_」、静止画のときは「IMG_」の固定文字列、下4桁は固有の番号 (0001 ~ 9999)。 ファイル番号 ・ファイル番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁 (100 ~ 999)、下4桁はMP4クリップ／静止画固有の番号 (0001 ~ 9999)に対応。 ・ファイル番号は、パソコンで見るときのカード内のファイルの場所も表す。12月10日に記録したファイル番号が「100-0006」のMP4クリップ／静止画は、「DCIM ¥100_1210」というフォルダーの中に「MVI_0006.MP4」「IMG_0006.JPG」というファイル名で表示される。	—
表示文字記録	TC DATE TIME タイムコード/日付/時刻、DATE TIME 日付/時刻、TC タイムコード、TIME 時刻、DATE 日付、OFF 切	87
表示文字記録位置	📺 左上、📺 右上、📺 左下、📺 右下	87
記録日時表示	ON 入、OFF 切 映像に重畳して記録中の日付と時刻を画面に表示する。	87

■ ♪ オーディオ設定メニュー

設定項目	内容・設定値	📖
CH2入力	INPUT2 INPUT 2、 INPUT1 INPUT 1	93
CH3/CH4入力	INPUT INPUT端子、 INT/MIC 内蔵マイク/MIC端子	94
INPUT 1 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB +6 dB、 0dB 0 dB、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	97
INPUT 1 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	97
INPUT 2 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB +6 dB、 0dB 0 dB、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	97
INPUT 2 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	97
INPUT 1/2 リミッター	ON 入、 OFF 切	96
INPUT 1/2 ALCリンク	LINK 連動、 SEP. 独立	95
内蔵マイク感度	NORM ノーマル、 HIGH ハイ	97
内蔵マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	98
内蔵マイクロカット	ON 入、 OFF 切	98
MICアッテネーター	ON 入、 OFF 切	98
MICローカット	ON 入、 OFF 切	99
MIC ALCリンク	LINK 連動、 SEP. 独立	95
ヘッドホン音量	🔊 [0 ~ 15(8)]、🔊 Off	100
スピーカー音量	🔊 [0 ~ 15(8)] メディアモード時、スピーカーの音量を調整する。	131
モニターチャンネル	CH1/2 CH1/CH2、 CH1/1 CH1/CH1、 CH2/2 CH2/CH2、 CH1+2/1+2 CH1+2/CH1+2、 CH3/4 CH3/CH4、 CH3/3 CH3/CH3、 CH4/4 CH4/CH4、 CH3+4/3+4 CH3+4/CH3+4、 CH1/3 CH1/CH3、 CH2/4 CH2/CH4、 CH1+3/2+4 CH1+3/CH2+4	146
HDMIチャンネル	CH1/2 CH1/CH2、 CH3/4 CH3/CH4	147
おしらせ音	🔊 大、🔊 小、 OFF 切 「大」または「小」を選ぶと、本機の実作に依じて音が鳴る。 ・プレ記録 (📄 102)を設定していると、おしらせ音は鳴らない。	—
CH2 スイッチ&ダイヤルアサイン	CH2 CH2、 CH3 CH3 録音レベル切り換えスイッチCH2と録音レベル調整つまみCH2で調整するチャンネルを選ぶ。	96

表示設定メニュー

設定項目	内容・設定値	📖
XA75 出力端子	SDI SDI、 HDMI HDMI	142
HDMI最大解像度	3840x2160*、1920x1080、1280x720(59.94P) * メディアモードのみ	144
XA75 SDI出力	1920x1080、1280x720 (59.94P)	143
XA75 3G-SDIマッピング	LevelA Level A、 LevelB Level B	143
XA75 SDI/HDMIスキャンモード XA70 HDMIスキャンモード	P P、 PsF PsF(強制1080i)	145
出力状態	現在のHDMI出力端子やSDI OUT端子の出力状態を確認できる。	—
液晶明るさ調整	※または※を押して、液晶モニターの明るさを調整する。 ・記録される映像やテレビで再生する映像の明るさは変わらない。	—
液晶バックライト	■■■■ 最高輝度、■■■■ 高輝度、■■■■ 通常、■■■■ 低輝度 バックライトの輝度を4段階で切り換える。 ・記録される映像やテレビで再生する映像の明るさは変わらない。	—
VF輝度	■■■ 高輝度、■■■ 通常 ビューファインダーのバックライトの輝度を2段階で切り換える。 ・記録される映像やテレビで再生する映像の明るさは変わらない。	—
液晶／VFビューアシスト	ON 入、 OFF 切 カスタムピクチャーのガンマがCanon Log 3のときに「入」にすると、撮影中、画面の映像をWide DRガンマ相当に疑似変換する。	49
液晶対面ミラー	ON 入、 OFF 切 「入」にすると、液晶モニターの画面をレンズ側に向けたとき左右が反転し、被写体に鏡を見ているような映像（鏡像）を見せながら撮ることができる。 ・鏡像の表示中に、画面のタッチ、ボタンやスイッチの操作、リモコン操作を行うと、一時的に鏡像表示を解除できる。約4秒後に鏡像表示に戻る。	—
オンスクリーン表示	ON 入、 OFF 切 「入」にすると、画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示する。	—
マーカー表示	OFF 切、 EW 水平（グレー）、 EW 水平（白）、 EW グリッド（グレー）、 EW グリッド（白）、 4:3 4:3（グレー）、 4:3 4:3（白） 画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示する。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できる。 ・水平線やグリッドは、撮影したクリップ／静止画には表示されない。 ・4:3マーカーを表示すると、アスペクト比が4:3のときの出力領域を確認できる。	—
距離単位	m メートル、 ft フィート 以下のときに表示される単位を選ぶ。 ・マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたときの被写体までの距離。 ・GPSレシーバー GP-E2(別売)使用時の標高表示。	—

システム設定メニュー

設定項目	内容・設定値	
言語 	日本語、English 表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	—
エリア/サマータイム	エリア：🏠(自宅)、✈️(旅行先) ＊サマータイム：ON、OFF 住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できる。 ・🏠または✈️を選んだあと、◀または▶をタッチして地域を選ぶ。 ・選んだ地域がサマータイムを導入しているときは＊(サマータイム)をタッチする。	—
日付/時刻	日付時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	30
POWER LED	 入、  切	28
タリーランプ	 入、  切	167
ACCESS LED	 入、  切	36
REMOTE端子	 RC-V100 RC-V100 (REMOTE A)、  スタンダード	104
アサインボタン1～アサインボタン5	 デジタルテレコン、  AF/MF、  AF枠サイズ、  フェイスオンリー AF、  拡大表示、  ピーキング、  プッシュオートアイリス、  ゼブラ 70%、  ゼブラ 100%、  フォーカスガイド、  強制逆光補正、  パワードIS、  WB ホワイトバランス、  WB 白取り込み、  優先WB、  赤外ライト、  プレREC、  Slow & Fastモーション、  レックレビュー、  Photo、  モニターチャンネル、  マーカー、  メニュー、  Custom Picture、  REC REC*、  OFF切 初期設定： アサインボタン1  AF/MF アサインボタン2  パワードIS アサインボタン3  プレREC アサインボタン4  レックレビュー アサインボタン5  拡大表示	111
タッチアサインボタン	初期設定：  Photo	111
CUSTOMダイヤル&ボタン	 IRIS / SHTR / GAIN、  AGCリミット、  露出補正、  OFF切	110
バッテリー情報	バッテリーの残量 (%)と撮影／再生可能時間 (分単位まで)を確認できる。 ・バッテリーが消耗していると表示されないことがある。	—
メニュー／  設定保存 	保存、読み込み メニュー設定とカスタムピクチャーファイルを、本機とSDカードBとの間で、保存／読み込みする。	124
USBモード	 映像出力(UVC)、  GPS GP-E2	105

* タッチアサインボタンのみに割り当て可能。

設定項目	内容・設定値	
GPS自動時刻設定	ON 自動更新、 OFF 切 GPSレシーバー GP-E2(別売)の装着時に、GPSから得られる時刻情報を本機に設定できる。機能の詳細については、GP-E2の使用説明書も合わせてご確認ください。	—
GPS情報表示	機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」のページも合わせてご確認ください。	—
認証情報表示	本機が対応している認証マークの一部を表示する。	—
Firmware	ビデオカメラの現在のバージョンを確認できる。 ・ 通常は灰色で表示される。	—
設定初期化	本機の設定を初期状態に戻す。	—

その他

トラブルシューティング	166	アクセサリ紹介	179
メッセージが出たら?	171	主な仕様	181
安全上のご注意	173	索引	186
取り扱い上のご注意／ 日常のお手入れ	175		

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（☎ 191）またはご購入になった販売店にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。 ● USB電源アダプターをUSB端子に接続している。USB電源アダプターをDC IN端子に接続する。	20
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約5℃～35℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約5℃～35℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 ● USB電源アダプターをUSB端子に接続している。USB電源アダプターをDC IN端子に接続する。	20 191
USB電源アダプターから音がする。	● USB電源アダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
RECボタンを 押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● カードに空き容量がない。不要なクリップや静止画を消すか、初期化する。 ● MP4クリップや静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。📁 記録設定メニュー ▶ 「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」に設定して新しいカードを入れる。 ● ハンドルユニットのRECボタンのロックレバーが🔒側になっている。ロックを解除する。	— 133 159 44
RECボタンを押した時点と、 記録されたクリップの始め と終わりの時点が異なる。	● RECボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
記録設定が変更できない。	● 映像出力（UVC）が有効になっている。USB端子からインターフェースケーブルを抜く。	105
グリップズームレバーが利 かない。	● 📷カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズーム操作」が「無効」になっている。「有効」にする。	156
ハンドルズームレバーが利か ない。	● 📷カメラ設定メニュー ▶ 「ハンドルズーム操作」が「無効」になっている。「有効」にする。	156
フォーカス／ズームリング が利かない。	● 📷カメラ設定メニュー ▶ 「フォーカス／ズームリング操作」が「無効」になっている。「有効」にする。	157

こんなときは	どうするの？	📖
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近（AFブーストMF枠が白色に変わる）まで手動で調整する。 ● ビューファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているので手入れする。	53 26 178
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／■撮影停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のカードと入れ換えるか、クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	37 150
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	37 150
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	191

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップや静止画が消去できない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。 ● 他機で記録・編集したクリップは消去できないことがある。	—
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	37 150
クリップまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したクリップや静止画はコピーできないことがある。 ● コピー先となるカードの空き容量が足りないか、または記録可能なXF-AVCクリップ数（999個）を超えた。カードの不要なクリップを消すか、別のカードと入れ換える。	—
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全クリップ」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で🔋が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に🔋が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● ⚙️システム設定メニュー ▶ 「タリーランプ」を「入」にする。	162

こんなときは	どうするの？	📖
タリーランプが速く点滅する。	 (1秒に4回の点滅) ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	20 133
ⒶまたはⒷが赤く点灯する。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	36 133
ⒹまたはⒺが赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	133 134
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	● バッテリーの温度が使用温度 (約5℃～35℃) の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約5℃～35℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● USB電源アダプターまたはバッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	191
画面で🔌が点滅し続ける。	● メディアモードでGPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する。	—

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面が暗い。	● 「液晶明るさ調整」または「液晶バックライト」で明るさを調整する。	161
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	21
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。❶カメラ設定メニュー ➤ 「フリッカー低減」を「Ⓐ オート」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがある。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を設定する。	74
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	26
ビューファインダーに映像が出ない。	● 液晶モニターを閉じて、ビューファインダーを引き出す。	26

こんなときは	どうするの？	📖
音声記録されない	● AUDIO IN切り換えスイッチが正しく切り換えられていない。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT1 / INPUT2端子切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。 ● 録音レベルが正しく設定されていない。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	94
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「0」(OFF)になっているので、音量を調整する。 ● カメラモードのときと、ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音声を出力しない。	131

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	36
カードに記録できない。	● 対応しているカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	35 37 36 133 134
リモートコントローラーRC-V100（別売）または市販のリモコンが動作しない。	● ④システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100 (REMOTE A)」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。 ● ⑤カメラ設定メニュー ▶ 「📷機能」が「切」、または選択しているカスタムピクチャーファイルがプロテクトされていると、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「📷機能」を「入」にしてプロテクトを解除する。	— 114

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからUSB電源アダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	—
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブルユニット（別売）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● 接続したモニターが、設定した出力信号形式に対応していない。対応する出力信号形式に設定。	142
パソコンに映像が出ない。	● USBケーブルをDC IN端子に接続している。USBケーブルをUSB端子に接続する。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 静止画インデックス画面を表示中に、USB接続を行う。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
MP4クリップや静止画をパソコンに取り込めない。	● カードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。総数が以下になるように消して、カードリーダーなどを使って取り込む（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。	—

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。なお、メッセージの冒頭に、「**A**」、「**B**」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーが閉じています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	36
カードがありません	● カードを本機に入れる。	36
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	36 133 134
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込みできない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	—
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。解像度が3840×2160のときや、スロー & ファストモーション記録のときは、UHSスピードクラス3のカードを使用する。それ以外のときは、以下のカードを使用する。 ・ 動画形式がMP4のとき：SDスピードクラス6、10、UHSスピードクラス1または3のカード。 ・ 動画形式がXF-AVCのとき：SDスピードクラス10、UHSスピードクラス1または3のカード。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。	35 37
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えてAまたはBが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。AまたはBが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、クリップと静止画をバックアップして初期化する。	36 — 35 36 37 150
画像がありません	● 静止画を撮影する。	42
記録を中止しました	● 管理情報が壊れた ^{*1} か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、クリップを記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
クリップがありません	● 動画を撮影していないならば、撮影する。	42
クリップ数がいっぱいです	● 記録中のカードがXF-AVCクリップ数の上限（999個）に達した。もう一方のスロットに切り換えるか、別のカードと入れ換える。 ● 同時記録時に、両方のカードのXF-AVCクリップ数がいっぱいで記録できない。	37 36
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたは推奨していないスピードクラスのカードを入れた。MP4のときはSDスピードクラス6、10、UHSスピードクラス1、3のカードを、XF-AVCのときはSDスピードクラス10、UHSスピードクラス1、3のカードを使用する。 ● 解像度が3840x2160のときやSlow & Fastモーション記録のときは、UHSスピードクラス3のSDカードを使用する。	35
このカードは記録できません	● 512 MB以下のカードは動画の記録ができない。推奨のカードを入れる。	35
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 512 MB以下のカードは動画の再生ができない。推奨のカードを入れる。	35

^{*1} 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやXF-AVCクリップを、ソフトウェア（Canon XF Utility）で読み込むことはできません。

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、再生できない。 ● カードを初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	37
再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	37
修復が必要なクリップがあります	● 記録中に停電したり、記録中にカードを取り外したりしたことにより、XF-AVCクリップに異常が発生した。クリップを修復する。	38
消去ができないクリップがありました	● 他機でプロテクトや編集したクリップは消去できない。	—
処理が正常に終了しませんでした	● SDカードの初期化中にカードカバーを開けた。 ● カードの初期化中にカードにエラーが発生した。カードを再度初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	37
処理中です 電源をはささないでください	● カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
静止画とMP4動画の総数が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● カードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることもある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	—
テレビ方式が異なります 認識できません	● テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない	—
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。クリップと静止画をバックアップして、カードを初期化する。 ● カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	37 150 133 134
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	150
トリミングできません	● 他機で記録したり、コピーしたりしたMP4クリップはトリミングできない。	135
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	179
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	20
非対応バッテリーです 電源を切ります	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。4秒後に自動的に電源が切れる。	—
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4クリップと静止画をバックアップしてから、 記録設定メニュー ▶ 「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」に設定して、カードを初期化するか、MP4クリップと静止画をすべて消す。	37 133 134
本機で初期化してお使いください	● カードを本機で初期化する。	37

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。ぬらさない。
感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 液漏れしたものは使わない。

液漏れて身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。

- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
感電、破裂、火災の原因となります。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやUSB電源アダプターを使うときは、次のことに注意する。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。
気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

製品および製品に使用する電池を乳幼児の手の届くところに置かない。また、乳幼児の見ている場所で電池の交換を行わない。

電池を飲み込むと、化学反応により体内が冒されるため危険です。飲み込んだときは、すぐ医師に相談してください。



禁止



強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。



注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



禁止

製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。



強制

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

長い時間、ファインダーや画面を見続けない

乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、ビデオカメラ本体の日常のお手入れについて説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンなどにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声がかれたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

ビデオカメラやビューファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズバリアを閉じてください。

液晶モニターを...

つかんでもちあげない

→ 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

→ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなど、とがったものでタッチしない

→ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

→ タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

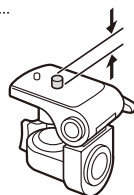
保護シートなどを貼らない

→ タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.3 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

6.3mm 以下



■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□ 180）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

海外で使用するときは

海外でも付属のUSB電源アダプターを使用できます（AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応）。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- USB電源アダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② 本機にUSB電源アダプターをつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの初期化（[37](#)）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですると故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶モニターについて

- ・ 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- ・ 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

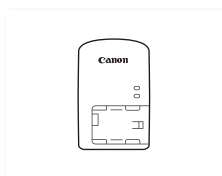
アクセサリ紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。別売品については、各アクセサリの説明書や「XF/XAシステム拡張ユーザーガイド」(PDFファイル) *も併せてご覧ください。

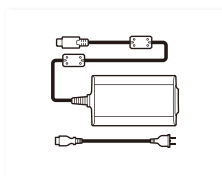
* キヤノンのホームページからダウンロード可能。



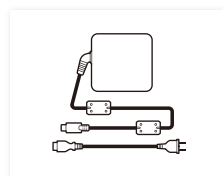
バッテリーパック
BP-820*¹ / BP-828



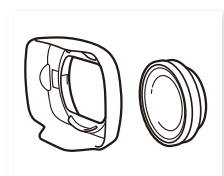
バッテリー
チャージャー *²
CG-800D



USB電源アダプター
PD-E1*¹



USB電源アダプター
PD-E2



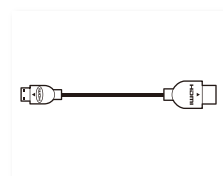
ワイドアタッチメント
WA-U58*³



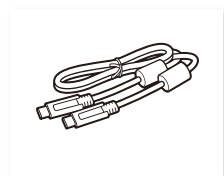
テレコンバーター
TL-U58*³, *⁴



PROTECTフィルター 58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm



ハイスピード
HDMIケーブル
HTC-100



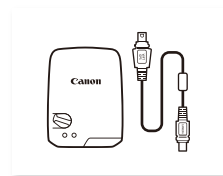
インターフェースケーブル
IFC-100U / IFC-400U



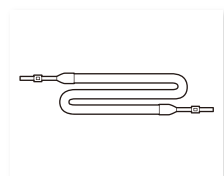
インターフェースケーブル
IFC-40AB III / IFC-150AB III



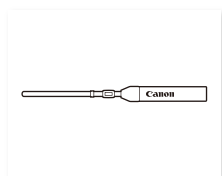
リモートコントローラー
RC-V100



GPSレシーバー
GP-E2*⁵



ショルダーストラップ
SS-600



リストストラップ
WS-20

その他

*¹ 本機の付属品です。

*² 改正電気用品安全法の要求により、これ以外のバッテリーチャージャーは本機で使用できません。

*³ 本機に付属のレンズフードと同時に使用できません。

*⁴ 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。

*⁵ 本機とケーブルで接続するときは、別売のインターフェースケーブル IFC-40AB IIIまたはIFC-150AB IIIが必要です。

MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-820/BP-828(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-800D(別売)でのみ使用／充電できます。

バッテリーパックBP-820/BP-828を購入後に初めて充電するときや、長期間放置後に充電するときに、バッテリーチャージャー CG-800DのCHARGEランプが橙色に点滅または消灯し、充電できないことがあります。その場合は、バッテリーパックをバッテリーチャージャーから取りはずし、再度、バッテリーチャージャーに取り付けてください。

- CHARGEランプが橙色に点灯：充電開始
- FULLランプが緑色に点灯：充電完了

バッテリーチャージャーのCHARGEランプが再び橙色に点滅／消灯し、バッテリーパックの取り付け／取りはずしをくり返しても充電が始まらないときは、カメラ修理受付センターまでご相談ください。



このマークは、キャノンのビデオ関連商品の純正マークです。キャノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキャノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XA70 / XA75

システム	
記録方式	MP4動画： MP4 映像圧縮方法：MPEG-4 AVC / H.264 音声記録方式：MPEG-2 AAC-LC、16 bit、48 kHz、2 ch リニアPCM、16 bit、48 kHz、4 ch ファイルフォーマット：MP4 XF-AVC動画：映像圧縮方法：MPEG-4 AVC / H.264 音声記録方式：リニアPCM、24 bit、48kHz、4 ch ファイルフォーマット：MXF(XF-AVC) 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録信号形式	MP4動画： 解像度/ビットレート/フレームレート 3840×2160 / 150 Mbps / 29.97P、23.98P 1920×1080 / 35 Mbps、17 Mbps / 59.94P、29.97P、23.98P 1280×720 / 8 Mbps / 59.94P カラーサンプリング：YCbCr 4:2:0 8 bit XF-AVC動画：解像度/ビットレート/フレームレート 3840×2160 / 160 Mbps / 29.97P、23.98P 1920×1080 / 45 Mbps / 59.94P、59.94i、29.97P、23.98P カラーサンプリング：YCbCr 4:2:0 8 bit
記録メディア	SD/SDHC/SDXCメモリーカード*(2スロット) * カスタムピクチャーファイル、設定データの保存/読み込みにも使用。
撮像素子	1.0型、CMOS(単板) 有効画素数：約829万画素 (3840 x 2160)
液晶モニター	3.5型ワイドカラー液晶(約276万ドット、視野率100%)、静電容量式タッチパネル
ビューファインダー	0.36型ワイドカラー有機EL(約177万ドット、視野率100%)
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=8.3 - 124.5 mm F2.8 - 4.5 光学15倍ズーム 9枚羽根虹彩絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離：約28.3 - 424.6 mm (手ブレ補正、ダイナミック設定時) 約25.5 - 382.5 mm (手ブレ補正、ダイナミック設定時以外)
レンズ構成	14群18 枚 (非球面2 枚)
フィルター径	58 mm
フォーカス	調整方法：マニュアル、AFプーストMF、連続AF AF方式：デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域60 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、電球、色温度、セット1 / セット2(白取り込み)
最低被写体照度 (Typical)	約0.1ルクス (ローライト(撮影モード)、シャッタースピード1/2秒時) 約1.7ルクス (P(プログラムAE)モード、59.94P、シャッタースピード1/30秒、 オートスローシャッター ON時)
手ブレ補正機能	光学式+電子補正 (スタンダードIS、ダイナミックIS、パワードIS)
静止画サイズ	3840×2160(約3080 KB)、1920×1080(約880 KB)、1280×720(約420 KB) 括弧内は、1枚あたりのファイルサイズ(目安)

入・出力端子

XA75 SDI OUT端子	BNCジャック (出力のみ)、0.8 Vp-p、不平衡 3G-SDI (SMPTE 424、425、ST 299-2準拠) HD-SDI (SMPTE 292、ST 299-1準拠) エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC / LTC)
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ
USB端子	USB Type-C™ Hi-Speed USB(USB2.0)相当
MIC端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック (不平衡、プラグインパワー対応)、 −65 dBV(ボリュームオート、フルスケール−12 dB) Att : 20 dB 供給電圧 : DC2.4 V
ハンドルユニット	INPUT端子 : INPUT(3ピンジャック) (①シールド、②ホット、③コールド)、2系統、平衡 感度 (MIC時) : −60 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB) Att : 20dB 感度 (LINE時) : +4 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB)
ヘッドホン端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック −17 dBV(32 Ω負荷、ボリューム最大)
REMOTE端子	Φ2.5mm ステレオミニミニジャック (入力のみ)

電源その他

電源電圧	DC7.4 V(バッテリーパック)、DC9.0 V(DC IN)
消費電力	MP4動画 : XA75 約5.5 W、 XA70 約5.4 W 液晶モニターを使用し、解像度 : 3840x2160(150 Mbps)、フレームレート29.97P、AF合焦、明るさ「通常」のとき XF-AVC動画 : XA75 約5.5 W、 XA70 約5.4 W 液晶モニターを使用し、解像度 : 3840x2160(160 Mbps)、フレームレート29.97P、AF合焦、明るさ「通常」のとき
動作温度	約0℃ ~ +40℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約110×91×214 mm (本体のみ) 約140×216×265 mm (レンズフード、ハンドルユニット装着時) いずれもグリップベルトを含まない
撮影時総質量	XA75 約1165 g、 XA70 約1160 g XA75 約1465 g、 XA70 約1460 g (ハンドルユニット、マイクホルダー装着時) いずれも、レンズフード、BP-820、メモリーカード (2枚)を含む
本体質量	XA75 約990 g、 XA70 約985 g (グリップベルト、ケーブルクランプを含む)

付属品

USB電源アダプター PD-E1	
定格入力	AC 100 V－240 V、50 / 60 Hz
定格出力	DC5.0 V / 3.0 A、DC9.0 V / 3.0 A
使用温度	約0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約58.6×33.5×101.9 mm
本体質量	約200 g

バッテリーパック BP-820	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	約0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1780 mAh
定格（最小）容量	13 Wh / 1700 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×39.4×40.2 mm
質量	約85g

動画の記録可能時間の目安

1回の記録でカードの空き容量がなくなるまで記録したときの、記録時間の目安は、次のとおりです。

MP4動画

MP4 オーディオ形式	解像度	容量				
		8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
AAC 16bit 2CH	3840x2160 (150 Mbps)	約5分	約10分	約25分	約55分	約1時間50分
	1920x1080 (35 Mbps)	約25分	約55分	約1時間55分	約4時間	約8時間5分
	1920x1080 (17 Mbps)	約55分	約2時間	約4時間5分	約8時間15分	約16時間35分
	1280x720 (8 Mbps)	約2時間	約4時間15分	約8時間40分	約17時間35分	約35時間20分
LPCM 16bit 4CH	3840x2160 (150 Mbps)	約5分	約10分	約25分	約55分	約1時間50分
	1920x1080 (35 Mbps)	約25分	約50分	約1時間50分	約3時間40分	約7時間25分
	1920x1080 (17 Mbps)	約45分	約1時間40分	約3時間25分	約7時間	約14時間5分

XF-AVC動画

解像度	容量				
	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
3840x2160 (160 Mbps)	約5分	約10分	約25分	約50分	約1時間45分
1920x1080 (45 Mbps)	約20分	約45分	約1時間30分	約3時間5分	約6時間15分

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

バッテリーパック	充電時間	
	USB電源アダプター PD-E1 (付属)	バッテリーチャージャー CG-800D (別売) *
BP-820	約3時間30分	約3時間10分
BP-828	約5時間	約4時間20分

* バッテリーチャージャー CG-800Dで充電する場合、10℃～30℃(推奨充電温度)の場所で充電することをおすすめします。推奨充電温度を超えると、安全のため充電時間が大幅に長くなることがあります。バッテリーや周囲の温度が約5℃～35℃(使用温度)の範囲外の場合は、充電できません。

■ バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーパックBP-820と別売のBP-828をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

XA75 MP4動画

解像度	フレームレート	使用時間	BP-820	BP-828
3840x2160 (150 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間10分	3時間20分
		実撮影時間	1時間10分	1時間50分
		再生時間	2時間50分	4時間15分
1920x1080 (35 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間30分	3時間45分
		実撮影時間	1時間20分	2時間5分
		再生時間	3時間35分	5時間20分
1920x1080 (17 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間30分	3時間45分
		実撮影時間	1時間20分	2時間5分
		再生時間	3時間15分	4時間55分
1280x720 (8 Mbps)	59.94P	連続撮影時間	2時間10分	3時間15分
		実撮影時間	1時間10分	1時間50分
		再生時間	3時間20分	5時間5分

XA75 XF-AVC動画

解像度	フレームレート	使用時間	BP-820	BP-828
3840x2160 (160 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間10分	3時間15分
		実撮影時間	1時間10分	1時間50分
		再生時間	2時間50分	4時間15分
1920x1080 (45 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間30分	3時間45分
		実撮影時間	1時間20分	2時間5分
		再生時間	3時間15分	4時間50分

XA70 MP4動画

解像度	フレームレート	使用時間	BP-820	BP-828
3840x2160 (150 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間15分	3時間20分
		実撮影時間	1時間15分	1時間50分
		再生時間	3時間	4時間25分
1920x1080 (35 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間35分	3時間50分
		実撮影時間	1時間25分	2時間5分
		再生時間	3時間50分	5時間40分
1920x1080 (17 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間35分	3時間50分
		実撮影時間	1時間25分	2時間10分
		再生時間	3時間30分	5時間10分
1280x720 (8 Mbps)	59.94P	連続撮影時間	2時間10分	3時間15分
		実撮影時間	1時間10分	1時間50分
		再生時間	3時間35分	5時間20分

XA70 XF-AVC動画

解像度	フレームレート	使用時間	BP-820	BP-828
3840x2160 (160 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間15分	3時間20分
		実撮影時間	1時間10分	1時間50分
		再生時間	3時間	4時間25分
1920x1080 (45 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	2時間35分	3時間50分
		実撮影時間	1時間25分	2時間5分
		再生時間	3時間25分	5時間5分

* 液晶モニターを使用した場合の目安です。

* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

索引

ア

アクセサリ	179
アサインボタン	111
安全上のご注意	173
インデックス画面	126
打上げ花火 (撮影モード)	75
液晶モニター	25
オートスローシャッター	156
オートモード	42
音声出力チャンネル	146
音量	
: 再生時	131
: 撮影時	94

カ

カード	36
解像度	50
外部マイク	92
拡大表示	58
カスタムピクチャー	114
カメラモード切り換えスイッチ	14, 29
カラーバー & テストトーン	101
強制逆光補正	80
記録先	37
記録信号形式	50
クリップ	
: クリップ情報	132
: コピー	136
: 再生する	126
: 修復する	38
: 消去する	133
グリップズーム	66
クリップ番号	45
クリップファイル名	45
グリップベルト	27
ゲイン	76
結露	178
コピー	
: 静止画	137
: 動画	136
コンティニュアスAF	60
コンバージョンレンズ	157

サ

再生する	
: 静止画	126
: 動画	127
撮影する	
: 静止画	43
: 動画	42
撮影モード	74
三脚	175
自動逆光補正	156
視度調整	26
絞り	76
シャッタースピード	76
充電	20
修復	38
修理対応	191
出力信号形式	140
ジョイスティック	31
仕様	181
消去する	
: 静止画	133
: 動画	133
初期化する	37
ショルダーストラップ	27
ズーム	65
ズームスピードレベル	67, 69
スキャンモード	140
ストラップ	27
スノー (撮影モード)	75
スピーカー	131
スポーツ (撮影モード)	75
スポットライト (撮影モード)	75
スロー & ファストモーション記録	52
静止画	
: コピーする	136
: 再生	126
: 消去する	133
赤外撮影	103
赤外撮影色	103
ゼブラパターン	81

タ

タイムコード	86
タッチアサインボタン	111
タッチ露出	78
タリーランプ	16
デジタルテレコン	71
テストトーン	101
手ブレ補正	72
デュアルピクセルフォーカスガイド	56
同時記録	38
トラブルシューティング	166
取り扱い上のご注意	175
トリミング	135

ナ

内蔵マイク	14
内蔵マイクアッテネーター	98
内蔵マイクロカット	98

ハ

ハイスピードズーム	68
バッテリー	
: 残量表示	21
: 充電時間	184
: 使用時間	184
パワードIS	72
ハンドルズーム	68
ハンドルユニット	16, 23
ピーキング	58
ピーチ (撮影モード)	75
日付・時刻	30
ビューアシスト	49
ビューファインダー	26
ファイル番号	159
ファンタム電源	93
フェイスオンリー AF	64
フェイスキャッチ&追尾	62
フォーカス/ズームリング	11, 53, 65
フォーカス (ピント合わせ)	53
フォーカスプリセット	54
プッシュオートアイリス	77

フリッカー低減	156
フレームレート	50
ブレ記録	102
ヘッドホン	100
ポートレート (撮影モード)	75
ホワイトバランス	83

マ

マーカー	161
マニュアルフォーカス	53
メッセージ	171
メニュー一覧	156
モニターチャンネル	146

ヤ

夜景 (撮影モード)	75
ユーザービット	88
優先WB登録	157
夕焼け (撮影モード)	75

ラ

リール番号	45
リレー記録	38
ルック	85
レックレビュー	44
レンズフード	24
ローライト (撮影モード)	75
録音レベル	94
露出	76

その他

AFブーストMF	59
AGCリミット	73
AUTO (オート) モード	29
Av (絞り優先AE)	78
CAMERAモード	28
Canon Log 3	114
CUSTOMダイヤル&ボタン	110
DC IN端子	12
FUNC.メニュー	154

FUNCメニュー／メニュー設定する	31
HDMI OUT端子	142
INPUT端子	16
MEDIAモード	28
MENU(メニュー)ボタン	31
MIC(マイク)端子	89
MP4 Join Tool	150
MP4オーディオ形式	90
M(マニュアル)モード	29
M (マニュアル露出)	76
NDフィルター	82
PsF	140
XA75 SDI OUT端子	12
SD / SDHC / SDXCメモリーカード	
: カードを入れる／出す	36
: 記録先を選ぶ	37
: 初期化する	37
Tv (シャッター優先AE)	77
USB端子	12
USB電源アダプター	20
Wide DR(ルック)	85
XF Utility	151
Ω(ヘッドホン)端子	100

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- USB Type-C™ およびUSB-C™ はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

本機は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

アクセサリは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

- 1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
- 2 本製品の修理対応期間は、製造打ち切り後7年です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種と交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 3 修理品をご送付の場合は、見本となる撮影データを記録した記録メディアを同梱するなど、修理箇所を明確にご指示の上、お送りください。

修理のお問い合わせ

- 修理・メンテナンスのご相談・お申し込み
<https://canon.jp/support/repair-index>



- 電話でのお申し込み

カメラ修理受付センター

0570-07-0070

平日・土 9:00～17:00

- ・ 12月31日から1月3日は休ませていただきます。
- ・ 上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-5704 におかけください。

■本書の記載内容は2024年11月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。
最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6